

第 45 回 河内長野市民意識調査

<子育てしやすいまちづくり> について



平成 30 年度
河内長野市

目 次

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1

II. 回答者の属性

1. 性別	2
2. 年齢	2
3. 家族構成	3
4. 子どもの状況	3
5. 結婚	4
6. 職業	4
7. 通算居住年数	5
8. 以前の居住地	5
9. 居住地区	6

III. 調査結果の分析

1. 子育てしやすいまちづくりについて	7
2. 市政全般について	31

IV. まとめ

1. 子育てしやすいまちづくりについて	56
2. 市政全般について	58
3. 経年比較	59

V. 資料（調査票） 65

I. 調査の概要

1. 調査の目的

＜子育てしやすいまちづくり＞及び市政全般（経年比較）について、それぞれの市民意識を把握し、今後の施策推進のための参考資料とする。

2. 調査の設計

(1) 調査対象

住民基本台帳（基準日：平成30年6月30日）から無作為に抽出した満18歳以上90歳未満の市民2,000人

(2) 調査方法

郵送による配布及び回収

(3) 調査期間

平成30年8月11日から8月27日

(4) 調査内容

- ・子育てしやすいまちづくりについて
- ・市政全般について

3. 回収結果

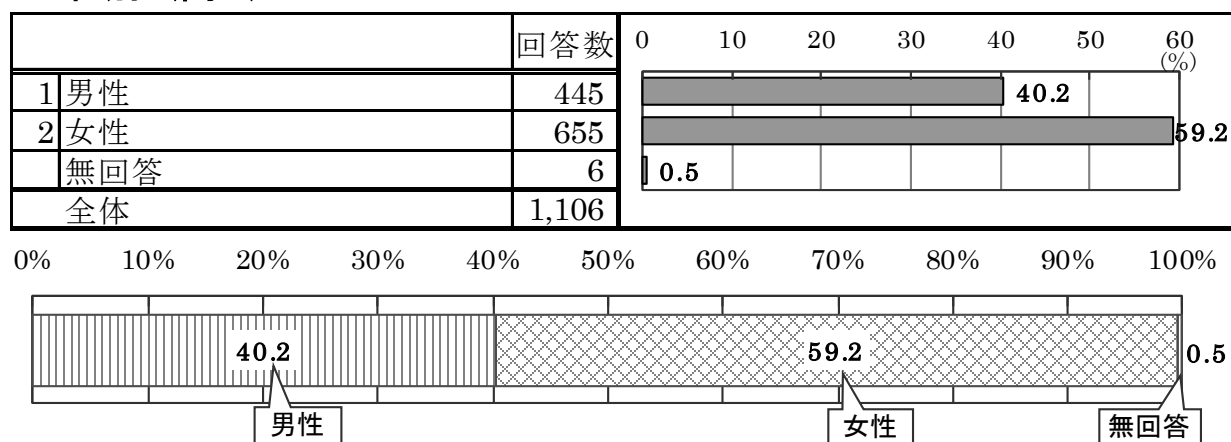
配布数	回収数		有効回収数			有効回答率
2,000 票	1,106 票	うち無効票	1,106 票			55.3%
			男性	女性	不明	
		0 票	445 票	655 票	6 票	
			40.2%	59.2%	0.5%	

4. 報告書の見方

- (1) 回答比率は(%)、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数(回答者数)を100%として算出し、小数点第2位以下を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問(「複数回答」と表記)では、回答比率(MA%)の合計は100.0%を超える。
- (2) 設問によっては、長文の項目が含まれるため、文字数を少なくして表記している場合がある。
- (3) クロス集計の結果を示す「全体」等には、該当者の少ない分類項目、性別や年齢不明、無回答などを含んでいる。
- (4) 無回答に不明を含む。

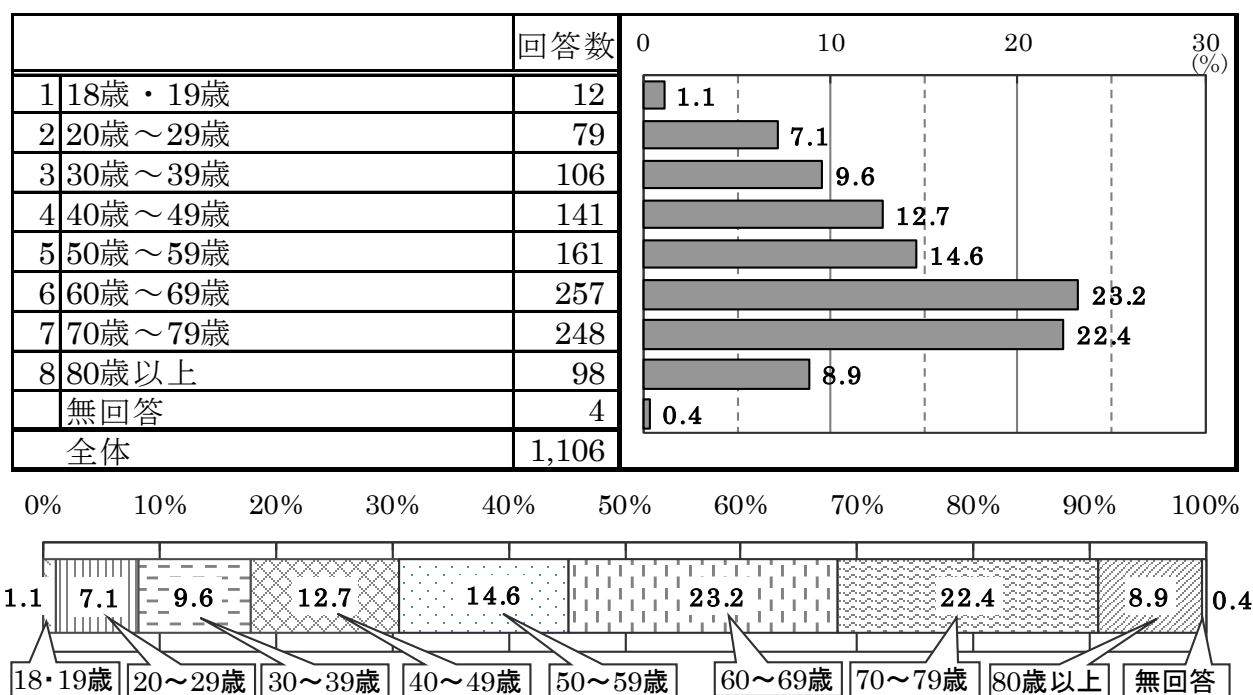
Ⅱ. 回答者の属性

1. 性別（問 1）



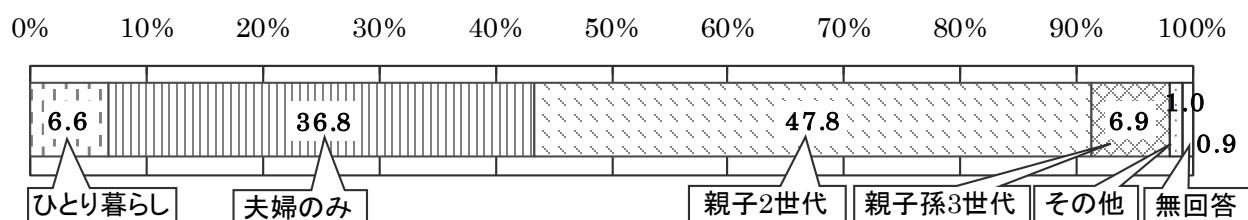
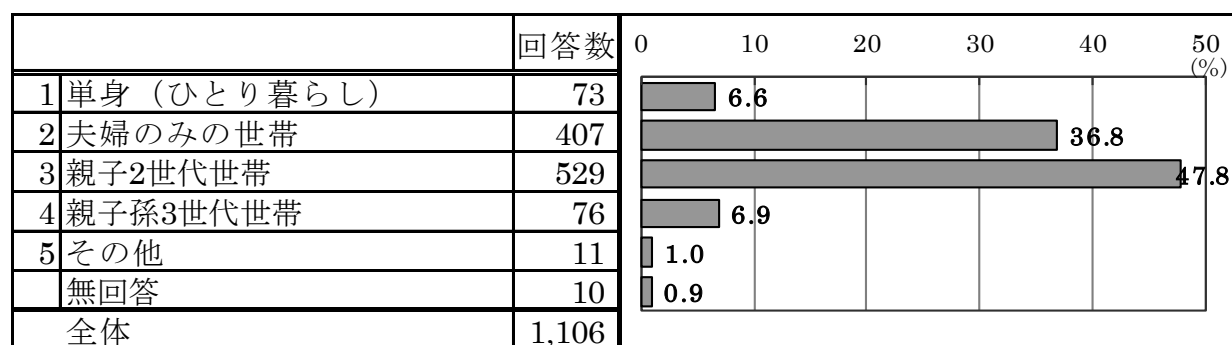
回答者の性別は、「男性」が 40.2%、「女性」が 59.2%となっている。

2. 年齢（問 2）



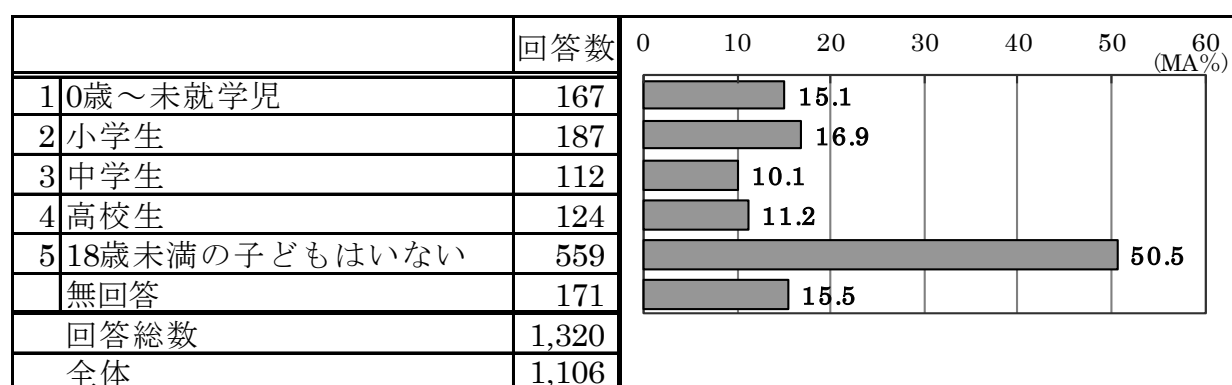
回答者の年齢は、「60歳～69歳」が 23.2%と最も高く、次いで「70歳～79歳」が 22.4%、「50歳～59歳」が 14.6%となっている。60歳以上で全体の 54.5%を占めている。

3. 家族構成（問 3）



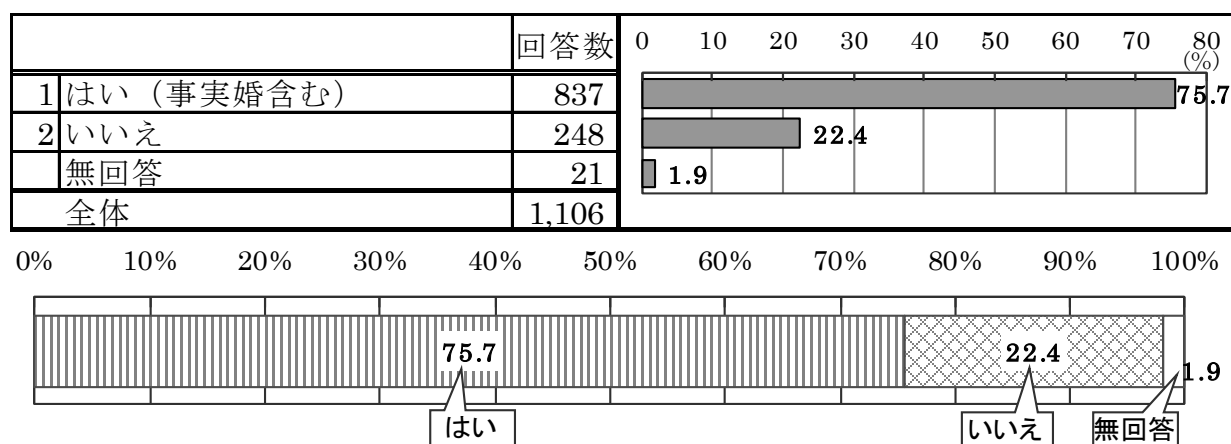
回答者の家族構成は、「親子 2 世代世帯」が 47.8%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が 36.8%、「親子孫 3 世代世帯」が 6.9%となっている。

4. 子どもの状況（問 4）



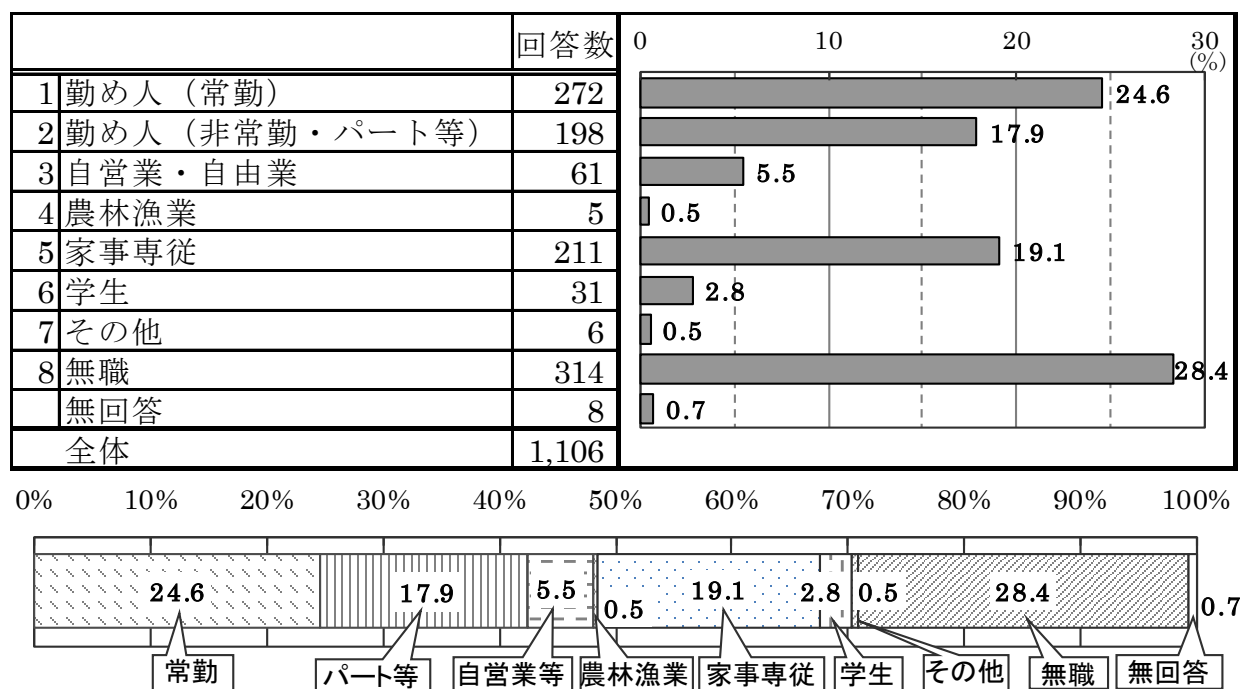
同居・別居に関わらず、家族の子どもについては、「18 歳未満の子どもはいない」が 50.5%と最も多く、「小学生」が 16.9%、「0 歳～未就学児」が 15.1%となっている。

5. 結婚（問 5）



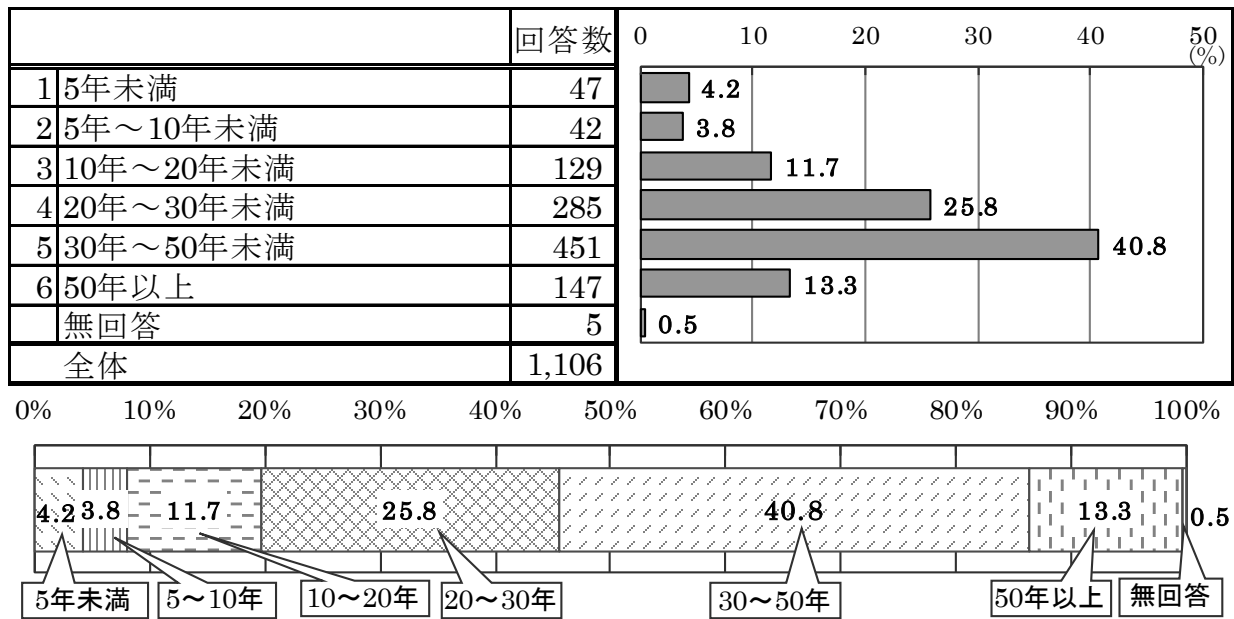
回答者の結婚の状況については、「はい（事実婚含む）」が 75.7%、「いいえ」が 22.4%となっている。

6. 職業（問 6）



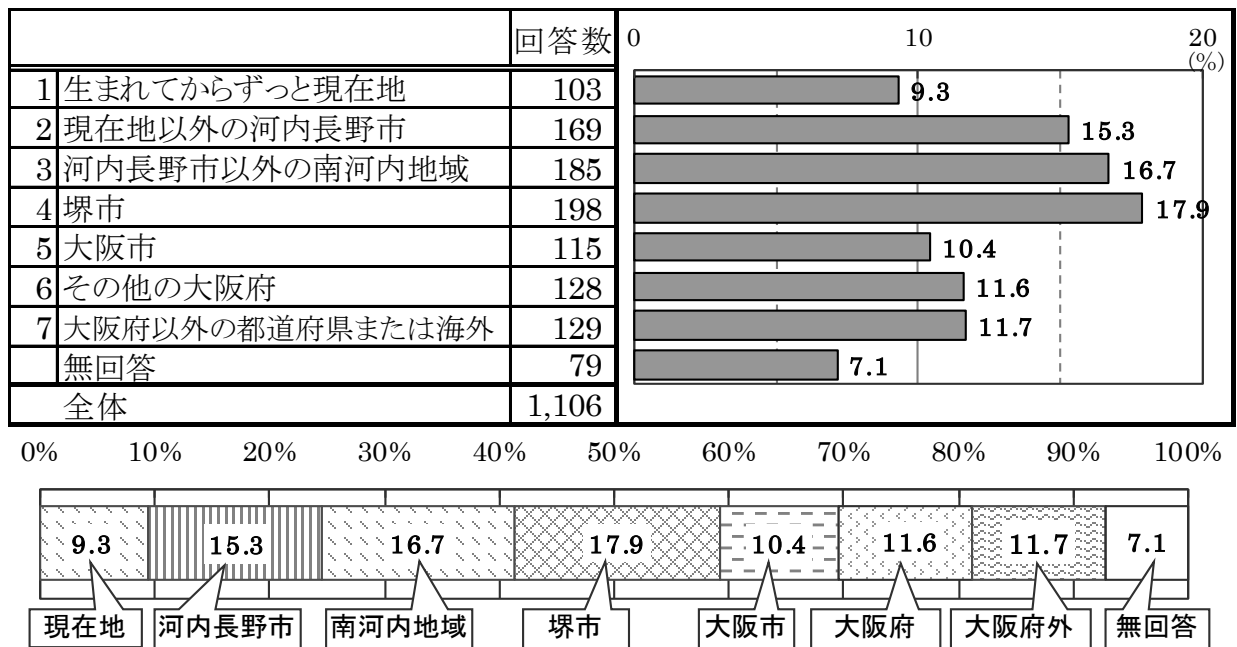
回答者の職業は、「無職」が 28.4%と最も多く、次いで「勤め人（常勤）」が 24.6%、「家事専従」が 19.1%となっている。

7. 通算居住年数（問 7）



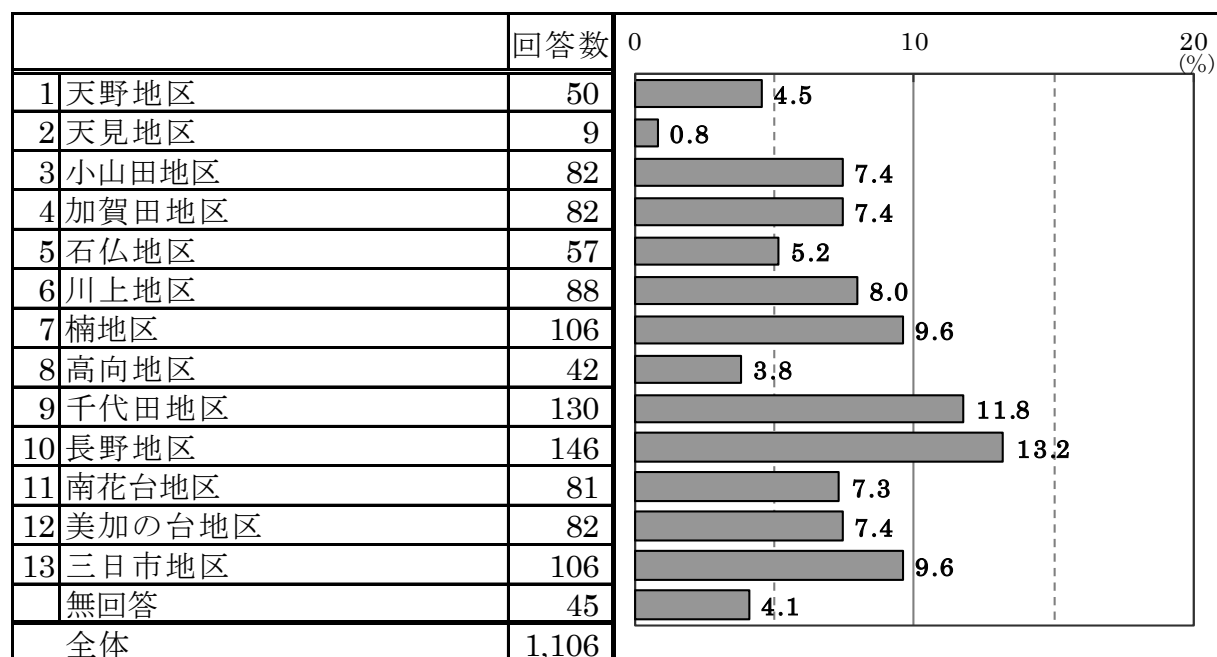
回答者の河内長野市での通算居住年数は、「30年～50年未満」が40.8%と最も多く、次いで「20年～30年未満」が25.8%、「50年以上」が13.3%となっている。

8. 以前の居住地（問 8）



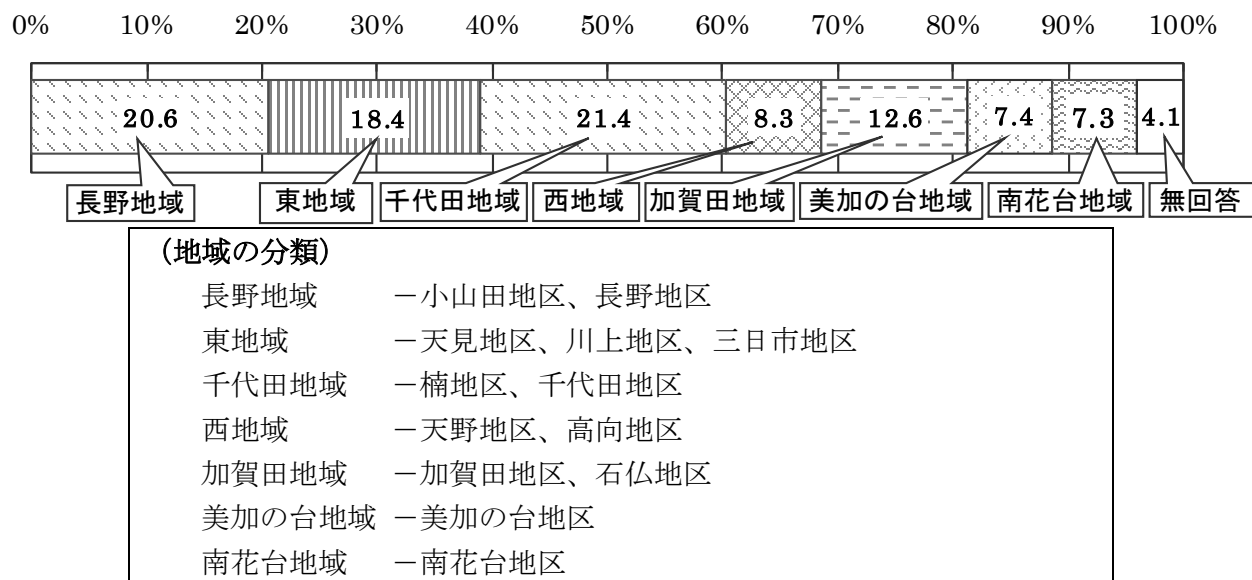
回答者の以前の居住地は、「堺市」が17.9%と最も多く、次いで「河内長野市以外の南河内地域」が16.7%、「現在地以外の河内長野市」が15.3%となっている。

9. 居住地区（問 9）



小学校区を基本とした居住地区では、「長野地区」が 13.2%と最も多く、次いで「千代田地区」が 11.8%、「楠地区」と「三日市地区」がともに 9.6%となっている。

【地域別】



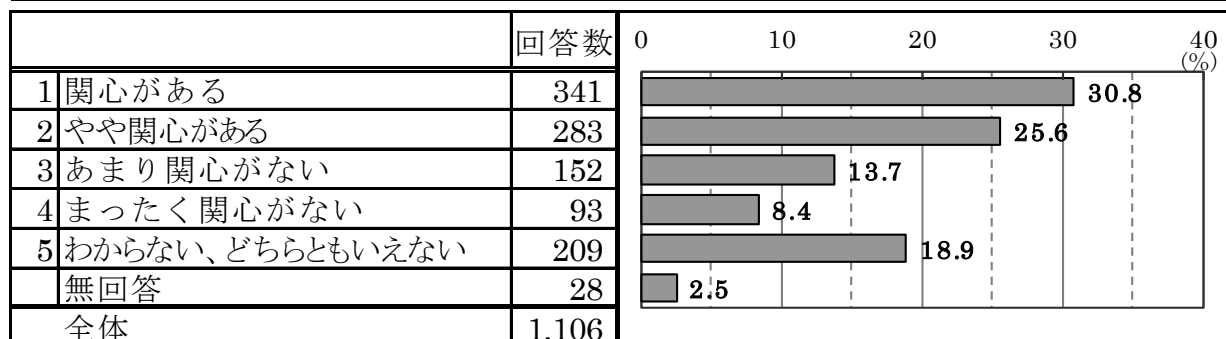
中学校区を基本とした地域別でみると、「千代田地域」が 21.4%と最も多く、次いで「長野地域」が 20.6%、「東地域」が 18.4%となっている。

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 子育てしやすいまちづくりについて

(1) 子育ての関心度

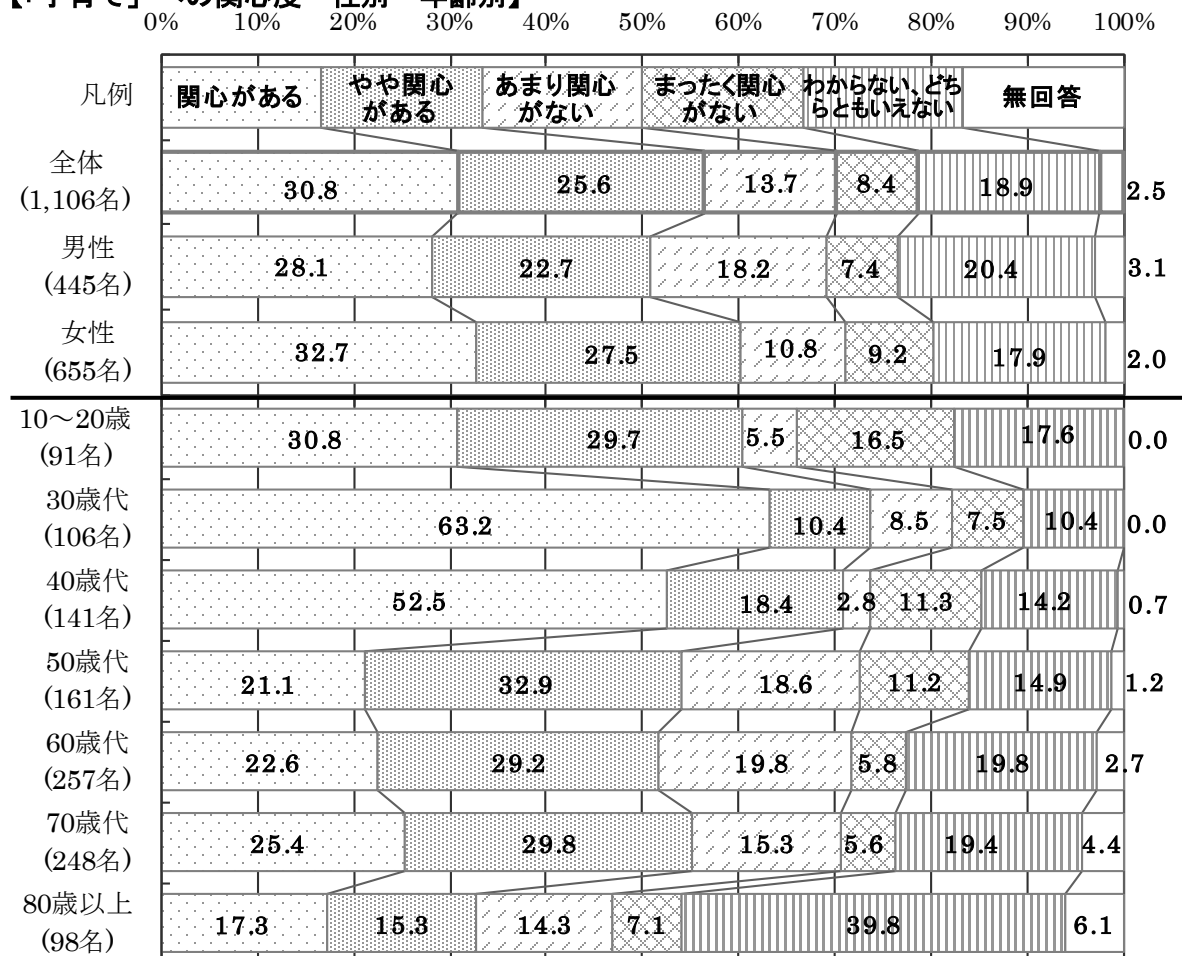
問 13 あなたは、現在、「子育て」に関心がありますか。（〇は1つ）



「子育て」への関心は、「関心がある」が30.8%と最も多く、次いで「やや関心がある」が25.6%、「わからない、どちらともいえない」が18.9%となっている。

「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた『関心あり』は、56.4%となっている。

【「子育て」への関心度 性別・年齢別】

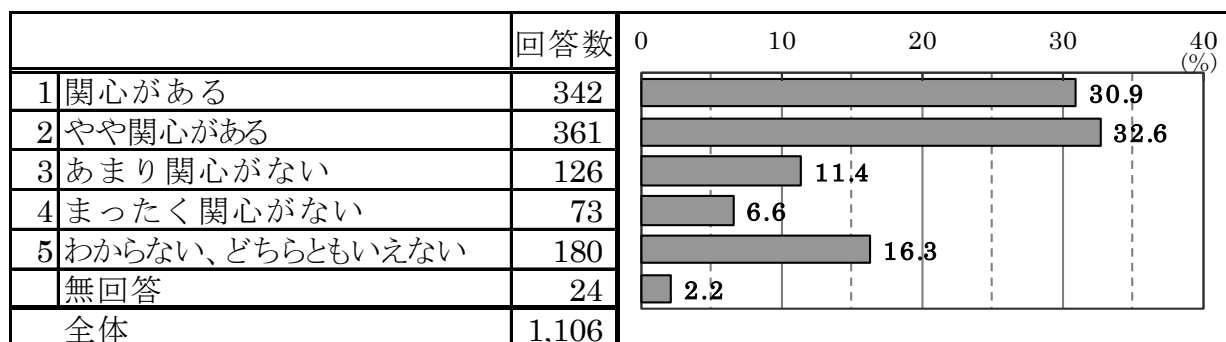


性別にみると、『関心あり』は、男性が50.8%、女性が60.2%となっている。

年齢別にみると、『関心あり』は、30歳代が73.6%と多く、次いで40歳代が70.9%、10～20歳代が60.5%となっている。

(2) 学校教育の関心度

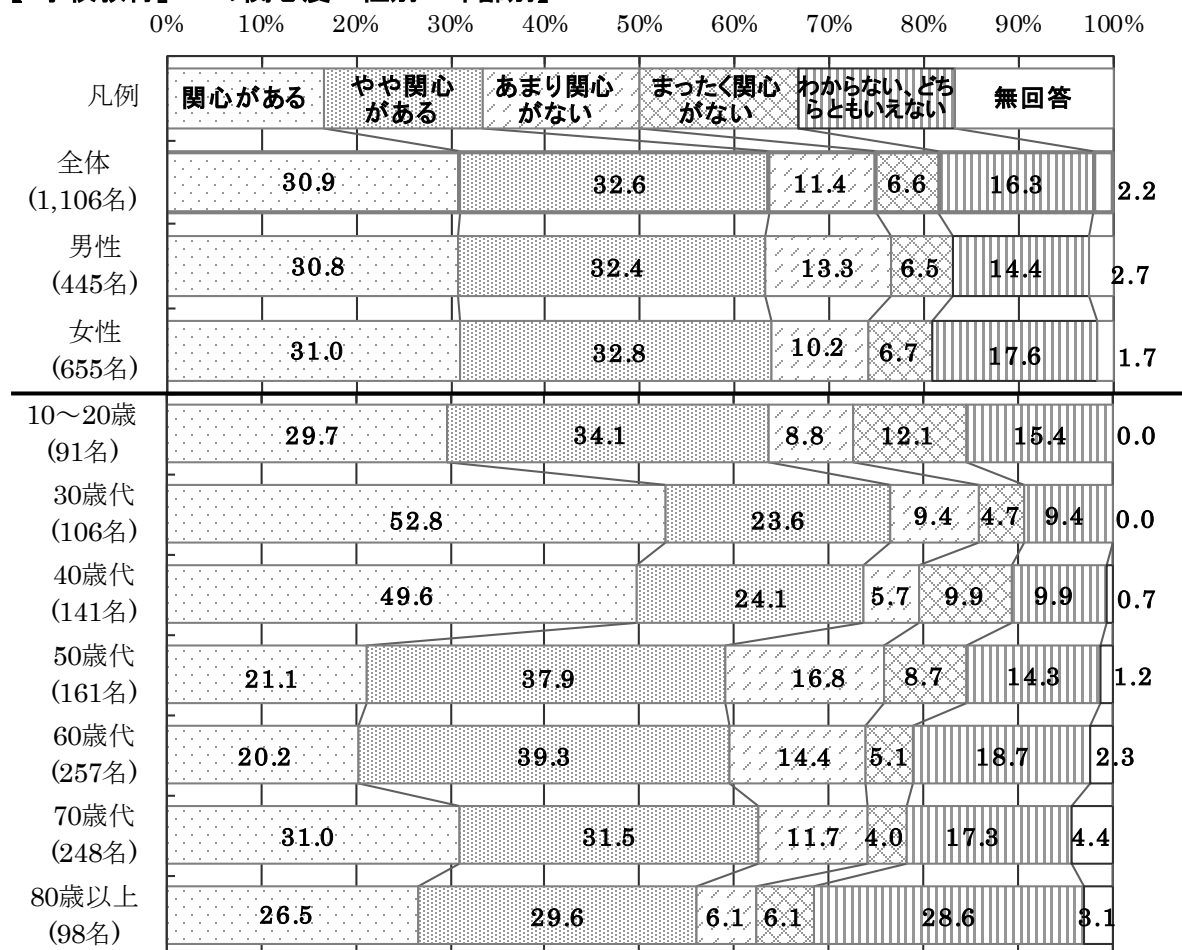
問 14 あなたは、「学校教育」に関心がありますか。（○は1つ）



「学校教育」への関心は、「やや関心がある」が32.6%と最も多く、次いで「関心がある」が30.9%、「わからない、どちらともいえない」が16.3%となっている。

「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた『関心あり』は、63.5%となっている。

【「学校教育」への関心度 性別・年齢別】

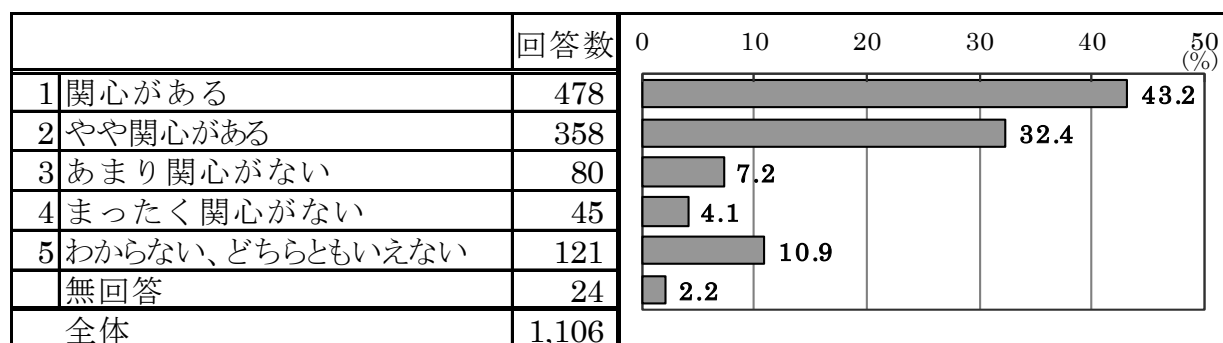


性別にみると、『関心あり』は、男性が63.2%、女性が63.8%となっている。

年齢別にみると、『関心あり』は、30歳代が76.4%と多く、次いで40歳代が73.7%、10～20歳代が63.8%となっている。

(3) 家庭教育の関心度

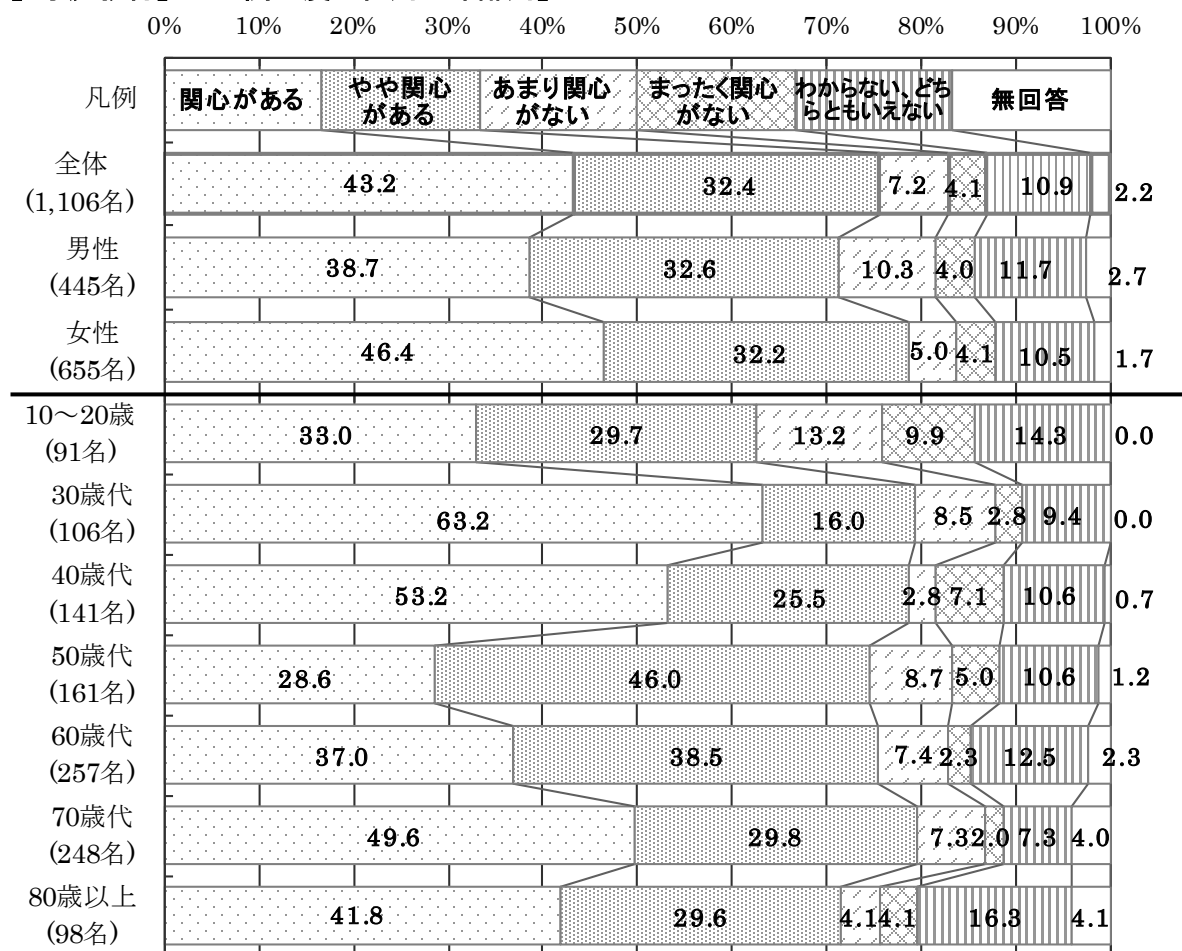
問 15 あなたは、「家庭教育（しつけや生活習慣）」に関心がありますか。（○は1つ）



「家庭教育（しつけや生活習慣）」への関心は、「関心がある」が43.2%と最も多く、次いで「やや関心がある」が32.4%、「わからない、どちらともいえない」が10.9%となっている。

「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた『関心あり』は、75.6%となっている。

【「家庭教育」への関心度 性別・年齢別】

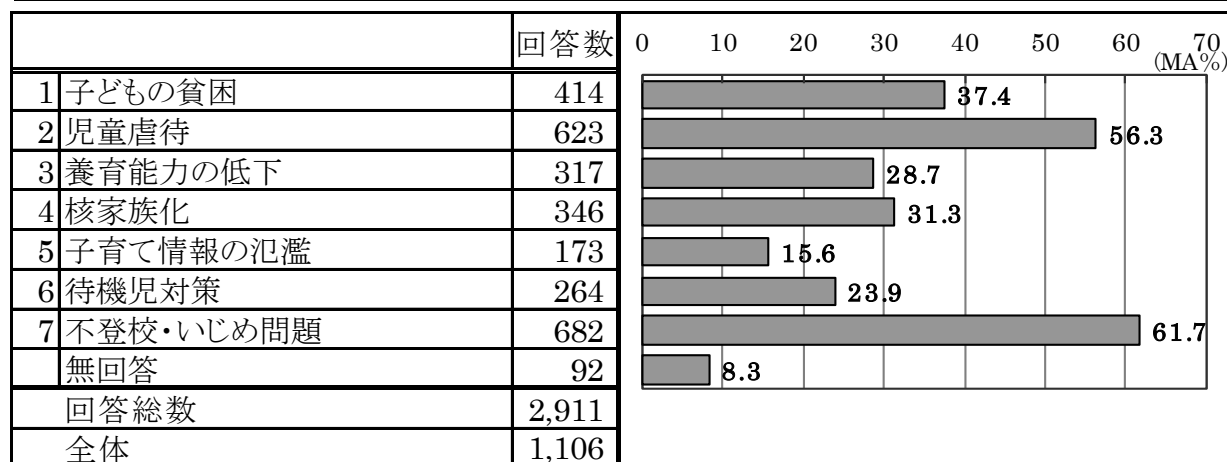


性別にみると、『関心あり』は、男性が71.3%、女性が78.6%となっている。

年齢別にみると、『関心あり』は、70歳代が79.4%と多く、次いで30歳代が79.2%、40歳代が78.7%となっている。

(4) 関心のある、気になっている「子育て」に関する問題や課題

問 16 「子育て」に関する次のような問題や課題で、あなたが関心がある、気になっているものはどれですか。(〇はいくつでも)



【参考】選択肢の詳細

1. 子どもの貧困 ……経済的な問題だけでなく、様々な要因により「人とのつながり」「教育や体験の機会」など、一人だけ他の子どもと違う状況に置かれていること
2. 児童虐待 ……子どもに対する心理的または身体的虐待や性的虐待、育児放棄などのこと
3. 養育能力の低下 ……子どもが健全に育つために必要な関わりができないこと
4. 核家族化 ……夫婦と未婚の子どもから成る世帯のことで、夫婦のみ世帯や一人暮らしも含まれ、子育てなどをサポートする人が少ないこと
5. 子育て情報の氾濫 ……育児や子育てなどに関して、正しい情報や誤った情報があふれており、必要な情報を得るのに苦労すること
6. 待機児対策 ……子育て世帯が希望し申請しているものの、認可保育所に入所できず、やむなく無認可保育園などに通わせている状態
7. 不登校・いじめ問題 ……学校などで体罰（身体的暴力）やいじめ（精神的な暴力）などが原因で、子どもが不登校や自殺などにいたること

関心がある、気になっている『子育て』に関する問題や課題（複数回答）は、「不登校・いじめ問題」が61.7%と最も多く、次いで「児童虐待」が56.3%、「子どもの貧困」が37.4%となっている。

【関心のある、気になっている「子育て」に関する問題や課題 性別・年齢別】

	子どもの 貧困	児童 虐待	養育能力 の低下	核家族化	子育て情 報の氾濫	待機児 対策	不登校・い じめ問題	無回答
全体 (1,106名)	414 37.4%	623 56.3%	317 28.7%	346 31.3%	173 15.6%	264 23.9%	682 61.7%	92 8.3%
男性 (445名)	160 36.0%	252 56.6%	128 28.8%	139 31.2%	52 11.7%	101 22.7%	268 60.2%	42 9.4%
女性 (655名)	251 38.3%	369 56.3%	188 28.7%	206 31.5%	120 18.3%	162 24.7%	411 62.7%	49 7.5%
10～20歳代 (91名)	38 41.8%	47 51.6%	30 33.0%	23 25.3%	17 18.7%	32 35.2%	58 63.7%	4 4.4%
30歳代 (106名)	41 38.7%	53 50.0%	35 33.0%	26 24.5%	31 29.2%	40 37.7%	66 62.3%	3 2.8%
40歳代 (141名)	61 43.3%	82 58.2%	47 33.3%	30 21.3%	26 18.4%	20 14.2%	87 61.7%	10 7.1%
50歳代 (161名)	60 37.3%	96 59.6%	46 28.6%	46 28.6%	31 19.3%	36 22.4%	104 64.6%	9 5.6%
60歳代 (257名)	102 39.7%	165 64.2%	66 25.7%	82 31.9%	30 11.7%	70 27.2%	175 68.1%	18 7.0%
70歳代 (248名)	82 33.1%	135 54.4%	73 29.4%	100 40.3%	32 12.9%	55 22.2%	144 58.1%	25 10.1%
80歳以上 (98名)	27 27.6%	42 42.9%	19 19.4%	38 38.8%	6 6.1%	11 11.2%	45 45.9%	22 22.4%

※表の様子は第1位 第2位 第3位を表している。

関心がある、気になっている『子育て』に関する問題や課題（複数回答）を性別にみると、男女とも「不登校・いじめ問題」が6割を超えており、次いで「児童虐待」が半数を、「子どもの貧困」が3割を超えている。

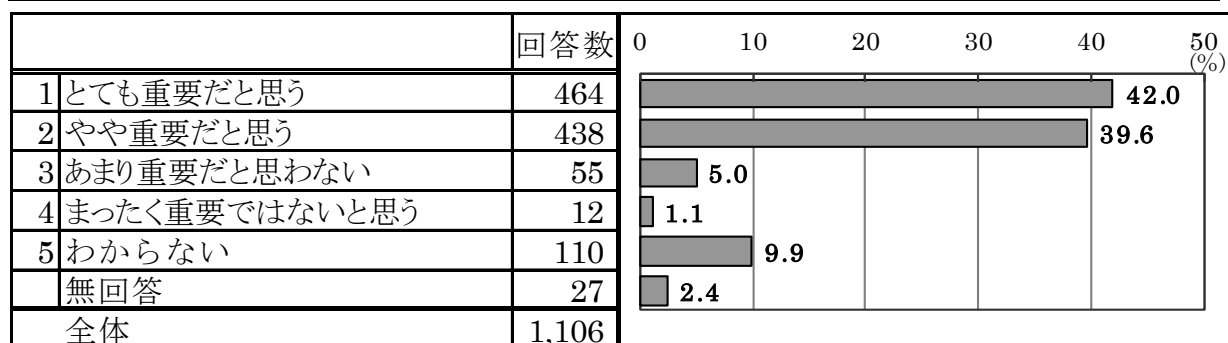
年齢別にみると、すべての年齢とも「不登校・いじめ問題」が最も多く、60歳代は68.1%、50歳代は64.6%、10～20歳代は63.7%となっている。

第2位は、すべての年代とも「児童虐待」であり、60歳代が64.2%、50歳代が59.6%、40歳代が58.2%となっている。

第3位は、70歳代と80歳以上は「核家族化」であり、その他の年齢は「子どもの貧困」が3割を超えている。

(5) 地域で子育て世帯を支えることの重要性

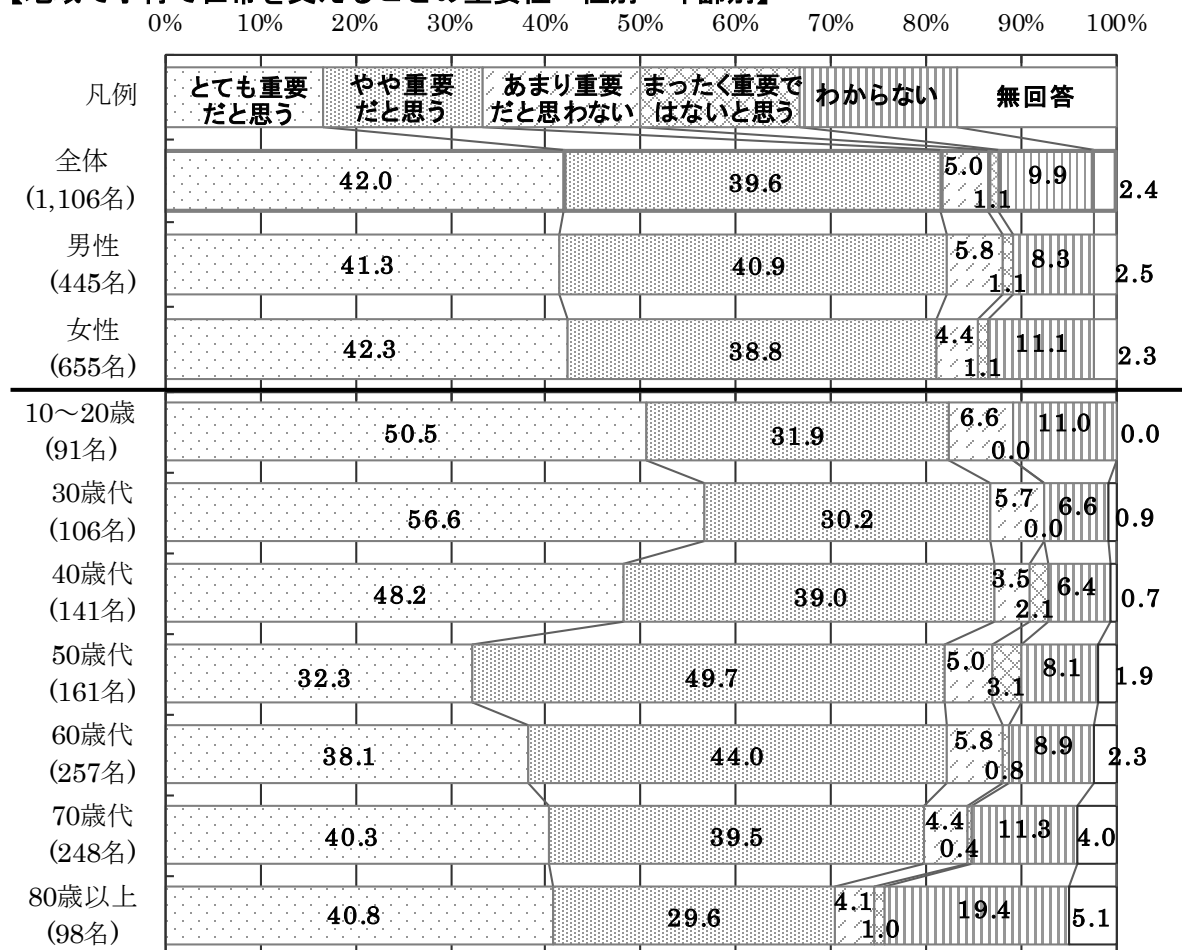
問 17 あなたは、地域で子育て世帯を支えることが重要だと思いますか。（○は1つ）



地域で子育て世帯を支えることについては、「とても重要だと思う」が42.0%と最も多く、次いで「やや重要だと思う」が39.6%、「わからない」が9.9%となっている。

「とても重要だと思う」と「やや重要だと思う」を合わせた『重要と思う』は、81.6%となっている。

【地域で子育て世帯を支えることの重要性 性別・年齢別】

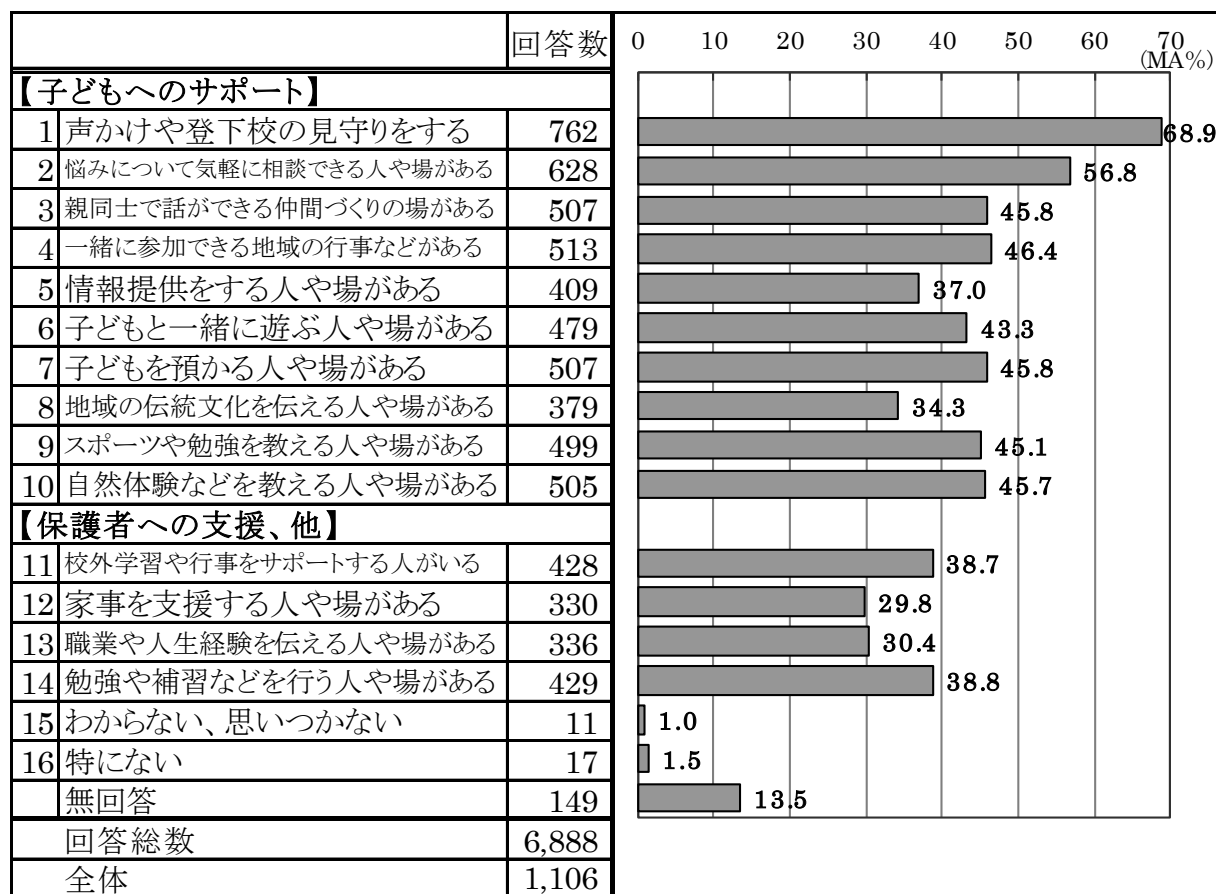


性別にみると、『重要と思う』は、男性が82.2%、女性が81.1%となっている。

年齢別にみると、『重要と思う』は、40歳代が87.2%と多く、次いで30歳代が86.8%、10～20歳代が82.4%となっている。

(6) 地域が子育て世帯を支えるために重要だと思うこと

問 18 あなたは、地域が子育て世帯を支えるために何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)



地域が子育て世帯を支えるために重要だと思うこと（複数回答）は、「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする（人がいること）」が 68.9%と最も多く、次いで「(子育てに関する) 悩みについて気軽に相談できる人や場がある（こと）」が 56.8%、「(子どもと大人が) 一緒に参加できる地域の行事（やお祭り）などがある（こと）」が 46.4%となっている。

【地域が子育てを支えるために重要だと思うこと（上位5位まで） 性別・年齢別】

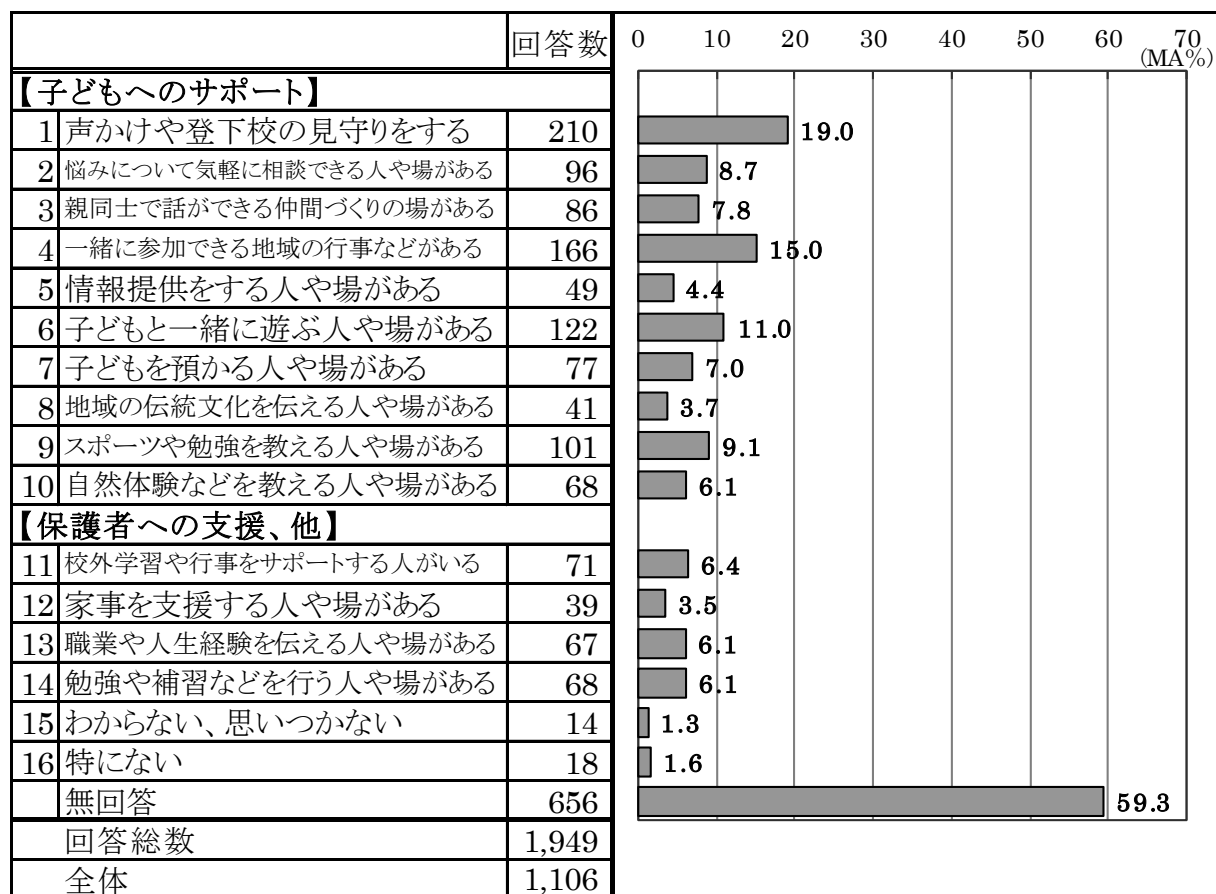
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	参考
全体 (1,106名)	声かけや登下校の見守りをする	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	一緒に参加できる地域の行事などがある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある／子どもを預かる人や場がある		無回答 (149)
	68.9%	56.8%	46.4%	45.8%		13.5%
男性 (445名)	同上	同上	一緒に参加できる地域の行事などがある／自然体験などを教える人や場がある	スポーツや勉強を教える人や場がある		無回答 (68)
	64.0%	50.8%	44.9%	44.3%		15.3%
女性 (655名)	同上	同上	子どもを預かる人や場がある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	一緒に参加できる地域の行事などがある	無回答 (79)
	72.4%	60.9%	52.4%	49.8%	47.6%	12.1%
10～20歳代 (91名)	同上	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	同上	無回答 (5)
	76.9%	70.3%	69.2%	65.9%	63.7%	5.5%
30歳代 (106名)	同上	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	自然体験などを教える人や場がある	校外学習や行事をサポートする人がいる／勉強や補習などを行う人や場がある	無回答 (11)
	75.5%	67.0%	63.2%	61.3%	59.4%	10.4%
40歳代 (141名)	同上	同上	スポーツや勉強を教える人や場がある／自然体験などを教える人や場がある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある		無回答 (12)
	76.6%	67.4%	55.3%	52.5%		8.5%
50歳代 (161名)	同上	同上	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	スポーツや勉強を教える人や場がある	自然体験などを教える人や場がある	無回答 (14)
	71.4%	60.9%	50.9%	46.6%	45.3%	8.7%
60歳代 (257名)	同上	同上	子どもを預かる人や場がある	自然体験などを教える人や場がある	スポーツや勉強を教える人や場がある	無回答 (29)
	69.3%	55.6%	48.6%	42.4%	41.6%	11.3%
70歳代 (248名)	同上	同上	一緒に参加できる地域の行事などがある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	子どもを預かる人や場がある	無回答 (49)
	59.3%	46.8%	43.5%	41.5%	40.7%	19.8%
80歳以上 (98名)	同上	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	同上	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	同上	無回答 (28)
	62.2%	45.9%	44.9%	40.8%	37.8%	28.6%

地域が子育て世帯を支えるために重要だと思うこと（複数回答）について、性別にみると、男女とも「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする（人がいること）」が最も多く、次いで「(子育てに関する) 悩みについて気軽に相談できる人や場がある（こと）」が半数を超えている。第3位は、男性は「(子どもと大人が) 一緒に参加できる地域の行事（やお祭り）などがある（こと）」と「(子どもに) 自然体験などを教える人や場がある（こと）」であり、女性は「(不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに) 子どもを預かる人や場がある（こと）」となっている。

年齢別にみると、すべての年齢とも「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする（人がいること）」が最も多く、第2位は、10～20歳代は「子どもと一緒に遊ぶ人や場がある（こと）」、80歳以上は「(子育てをする) 親同士で話ができる仲間づくりの場がある（こと）」であり、その他の年齢は「(子育てに関する) 悩みについて気軽に相談できる人や場がある（こと）」となっている。

(7) 子育て世帯を支えるために参加・協力できること

問 18 地域が子育て世帯を支えるために、あなたが参加・協力できる活動はどれですか。
(〇はいくつでも)



地域が子育て世帯を支えるために、参加・協力できる活動（複数回答）は、「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする（人がいること）」が 19.0%、「(子どもと大人が) 一緒に参加できる地域の行事（やお祭り）などがある（こと）」が 15.0% 「子どもと一緒に遊ぶ人や場がある（こと）」が 11.0% となっている。なお、無回答が 59.3% と半数を超えている。

【地域が子育てを支えるために参加・協力できること（上位5位まで） 性別・年齢別】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	参考
全体 (1,106名)	声かけや登下校の見守りをする	一緒に参加できる地域の行事などがある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	スポーツや勉強を教える人や場がある	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	無回答 (656)
	19.0%	15.0%	11.0%	9.1%	8.7%	59.3%
男性 (445名)	同上	同上	スポーツや勉強を教える人や場がある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	自然体験などを教える人や場がある	無回答 (276)
	16.4%	15.1%	11.0%	10.6%	8.1%	62.0%
女性 (655名)	同上	同上	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	無回答 (376)
	20.8%	15.1%	11.5%	11.3%	10.4%	57.4%
10～20歳代 (91名)	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある／スポーツや勉強を教える人や場がある	一緒に参加できる地域の行事などがある	勉強や補習などを行う人や場がある	声かけや登下校の見守りをする		無回答 (43)
	19.8%	17.6%	16.5%	15.4%		47.3%
30歳代 (106名)	声かけや登下校の見守りをする	一緒に参加できる地域の行事などがある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	無回答 (47)
	32.1%	29.2%	27.4%	25.5%	14.2%	44.3%
40歳代 (141名)	一緒に参加できる地域の行事などがある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	悩みについて気軽に相談できる人や場がある／親同士で話ができる仲間づくりの場がある	声かけや登下校の見守りをする／スポーツや勉強を教える人や場がある		無回答 (70)
	27.7%	19.9%	17.0%	15.6%		49.6%
50歳代 (161名)	声かけや登下校の見守りをする	一緒に参加できる地域の行事などがある	スポーツや勉強を教える人や場がある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	悩みについて気軽に相談できる人や場がある／子どもを預かる人や場がある／勉強や補習などを行う人や場がある	無回答 (99)
	16.1%	10.6%	8.7%	7.5%	5.6%	61.5%
60歳代 (257名)	同上	同上	子どもを預かる人や場がある／スポーツや勉強を教える人や場がある	悩みについて気軽に相談できる人や場がある／校外学習や行事をサポートする人がいる		無回答 (155)
	20.6%	12.8%	5.8%	5.4%		60.3%
70歳代 (248名)	同上	同上	子どもを預かる人や場がある	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	無回答 (162)
	19.0%	10.9%	9.3%	8.9%	7.7%	65.3%
80歳以上 (98名)	同上	校外学習や行事をサポートする人がいる	子どもを預かる人や場がある／悩みについて気軽に相談できる人や場がある	一緒に参加できる地域の行事などがある／子どもと一緒に遊ぶ人や場がある／地域の伝統文化を伝える人や場がある		無回答 (77)
	13.3%	5.1%	4.1%	3.1%		78.6%

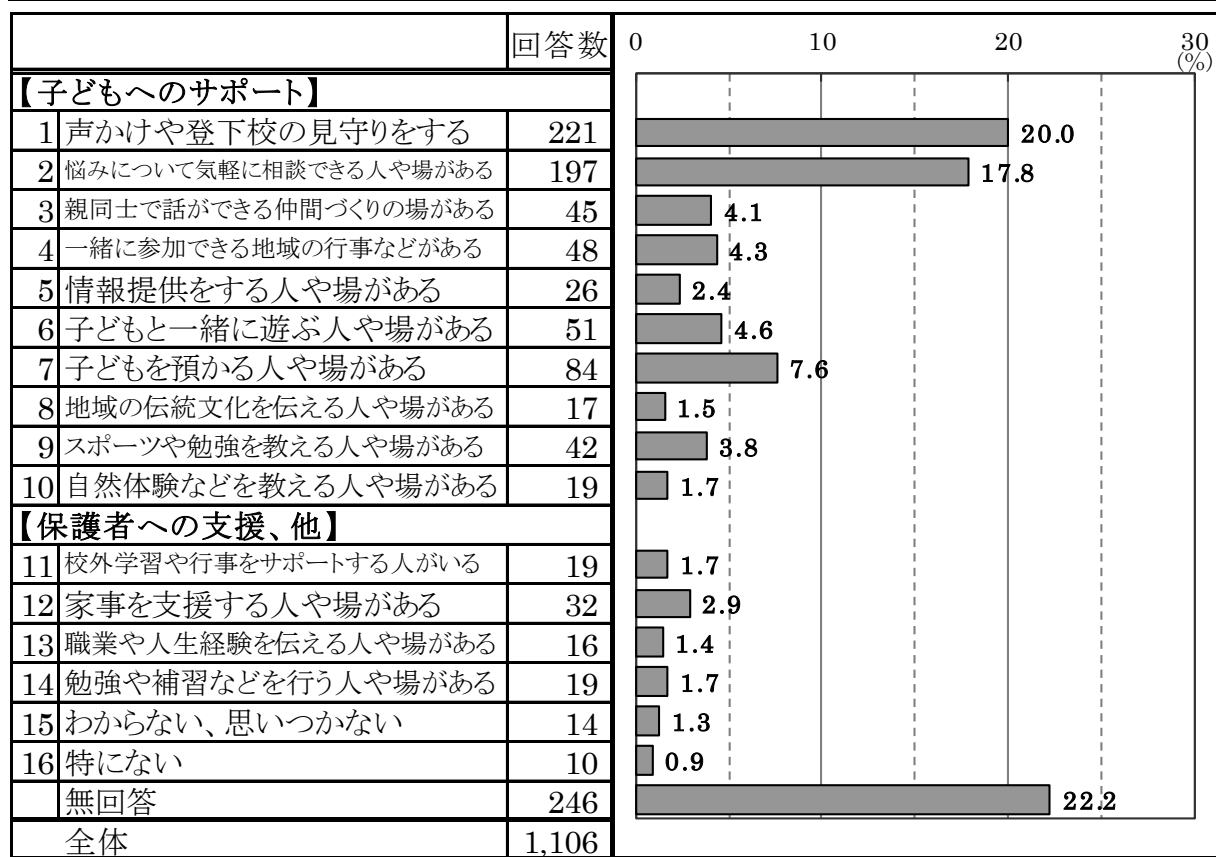
地域が子育て世帯を支えるために参加・協力できること（複数回答）について、性別にみると、男女とも無回答が半数を超えているものの、第1位は「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする（人がいること）」が最も多く、次いで「(子どもと大人が) 一緒に参加できる

地域の行事（やお祭り）などがある（こと）」となっている。第3位は、男性は「(子どもに) スポーツや勉強を教える人や場がある（こと）」であり、女性は「子どもと一緒に遊ぶ人や場がある（こと）」となっている。

年齢別にみると、すべての年齢とも無回答が多いものの、10～20 歳代は「子どもと一緒に遊ぶ人や場がある（こと）」と「(子どもに) スポーツや勉強を教える人や場がある（こと）」であり、40 歳代は「(子どもと大人が) 一緒に参加できる地域の行事（やお祭り）などがある（こと）」であり、その他の年齢は「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする（人がいること）」が最も多くなっており、年齢別にできることが特色ある回答となっている。

(8) 地域が子育て世帯を支えるために最も重要だと思うこと

問 19 問 18 で最も重要だと思うことは何ですか。(○は 1 つだけ)



地域が子育て世帯を支えるために最も重要だと思うことは、「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする (人がいること)」が 20.0%と最も多く、次いで「(子育てに関する) 悩みについて気軽に相談できる人や場がある (こと)」が 17.8%、「(不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに) 子どもを預かる人や場がある (こと)」が 7.6%となっている。

【地域が子育てを支えるために最も重要だと思うこと（上位5位まで） 性別・年齢別】

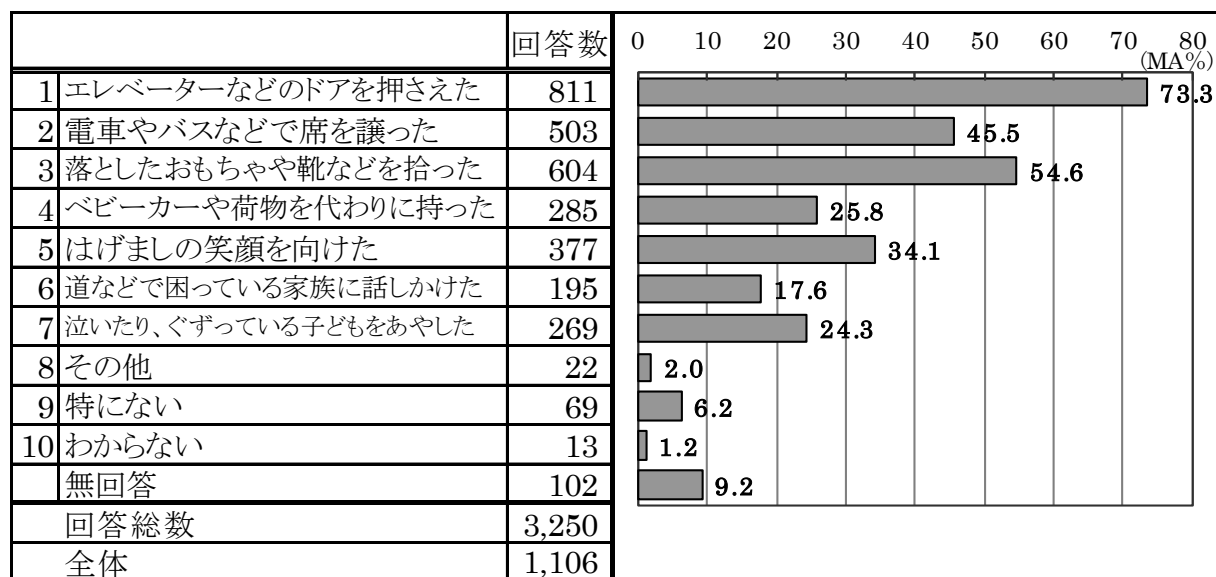
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	参考
全体 (1,106名)	声かけや登下校の見守りをする	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	子どもを預かる人や場がある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	一緒に参加できる地域の行事などがある	無回答 (246)
	20.0%	17.8%	7.6%	4.6%	4.3%	22.2%
男性 (445名)	同上	同上	一緒に参加できる地域の行事などがある／子どもを預かる人や場がある		スポーツや勉強を教える人や場がある	無回答 (103)
	18.0%	15.1%	5.8%		5.6%	23.1%
女性 (655名)	同上	同上	子どもを預かる人や場がある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	無回答 (139)
	21.4%	19.7%	8.9%	4.6%	4.4%	21.2%
10～20歳代 (91名)	同上	同上	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある／家事を支援する人や場がある		スポーツや勉強を教える人や場がある	無回答 (11)
	16.5%	11.0%	9.9%		8.8%	12.1%
30歳代 (106名)	同上	同上	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	子どもを預かる人や場がある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	無回答 (20)
	24.5%	14.2%	9.4%	8.5%	4.7%	18.9%
40歳代 (141名)	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	声かけや登下校の見守りをする	一緒に参加できる地域の行事などがある	子どもと一緒に遊ぶ人や場がある	スポーツや勉強を教える人や場がある	無回答 (19)
	24.1%	23.4%	7.1%	6.4%	4.3%	13.5%
50歳代 (161名)	声かけや登下校の見守りをする	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	子どもを預かる人や場がある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある／子どもと一緒に遊ぶ人や場がある／スポーツや勉強を教える人や場がある		無回答 (30)
	23.6%	16.8%	11.2%	4.3%		18.6%
60歳代 (257名)	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	声かけや登下校の見守りをする	同上	親同士で話ができる仲間づくりの場がある	一緒に参加できる地域の行事などがある	無回答 (50)
	22.6%	21.4%	7.0%	5.1%	4.7%	19.5%
70歳代 (248名)	同上	同上	同上	一緒に参加できる地域の行事などがある	親同士で話ができる仲間づくりの場がある／スポーツや勉強を教える人や場がある	無回答 (79)
	16.9%	13.3%	8.9%	5.2%	3.6%	31.9%
80歳以上 (98名)	声かけや登下校の見守りをする	悩みについて気軽に相談できる人や場がある	同上	スポーツや勉強を教える人や場がある／特にな		無回答 (36)
	20.4%	10.2%	7.1%		4.1%	36.7%

地域が子育て世帯を支えるために最も重要だと思うことについて、性別にみると、男女とも、「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする (人がいること)」が最も多く、次いで「(子育てに関する) 悩みについて気軽に相談できる人や場がある (こと)」となっている。

年齢別にみると、40歳代と60歳代、70歳代は、「(子育てに関する) 悩みについて気軽に相談できる人や場がある (こと)」が最も多く、その他の年齢は「(防犯のための) 声かけや登下校の見守りをする (人がいること)」が最も多くなっている。

(9) 子ども連れの家族へのサポート

問 20 あなたは、駅やスーパーなどで子ども連れの家族に対して、次のようなことをしたことがありますか。（〇はいくつでも）



子ども連れの家族に対してサポートしたこと（複数回答）は、「エレベーターなどのドアを（開けて）押さえた（ことがある）」が73.3%と最も多く、次いで「(子どもが) 落としたおもちゃや靴などを拾った（ことがある）」が54.6%、「電車やバスなどで（子ども連れの方に）席を譲った（ことがある）」が45.5%となっている。

【子ども連れの家族へのサポート 性別・年齢別】

	エレベーターなどのドアを押さえた	電車やバスなどで席を譲った	落としたおもちゃや靴などを拾った	ベビーカーや荷物を代わりに持った	はげましの笑顔を向けた	道などで困っている家族に話しかけた	泣いたり、ぐずっている子どもをあやした	その他	特にない	わからない	無回答
全体 (1,106名)	811 73.3%	503 45.5%	604 54.6%	285 25.8%	377 34.1%	195 17.6%	269 24.3%	22 2.0%	69 6.2%	13 1.2%	102 9.2%
男性 (445名)	299 67.2%	184 41.3%	193 43.4%	95 21.3%	100 22.5%	61 13.7%	61 13.7%	6 1.3%	40 9.0%	6 1.3%	46 10.3%
女性 (655名)	509 77.7%	316 48.2%	409 62.4%	188 28.7%	276 42.1%	134 20.5%	208 31.8%	16 2.4%	29 4.4%	7 1.1%	54 8.2%
10～20歳代 (91名)	70 76.9%	44 48.4%	52 57.1%	18 19.8%	24 26.4%	12 13.2%	19 20.9%	1 1.1%	5 5.5%	2 2.2%	5 5.5%
30歳代 (106名)	87 82.1%	47 44.3%	67 63.2%	24 22.6%	29 27.4%	17 16.0%	29 27.4%	0 0.0%	4 3.8%	1 0.9%	12 11.3%
40歳代 (141名)	118 83.7%	72 51.1%	89 63.1%	40 28.4%	46 32.6%	25 17.7%	41 29.1%	1 0.7%	6 4.3%	3 2.1%	10 7.1%
50歳代 (161名)	134 83.2%	93 57.8%	104 64.6%	54 33.5%	50 31.1%	35 21.7%	40 24.8%	5 3.1%	6 3.7%	2 1.2%	12 7.5%
60歳代 (257名)	191 74.3%	112 43.6%	135 52.5%	68 26.5%	83 32.3%	37 14.4%	46 17.9%	6 2.3%	17 6.6%	1 0.4%	21 8.2%
70歳代 (248名)	159 64.1%	104 41.9%	117 47.2%	62 25.0%	108 43.5%	50 20.2%	70 28.2%	4 1.6%	20 8.1%	2 0.8%	25 10.1%
80歳以上 (98名)	49 50.0%	30 30.6%	38 38.8%	18 18.4%	37 37.8%	19 19.4%	23 23.5%	5 5.1%	11 11.2%	2 2.0%	16 16.3%

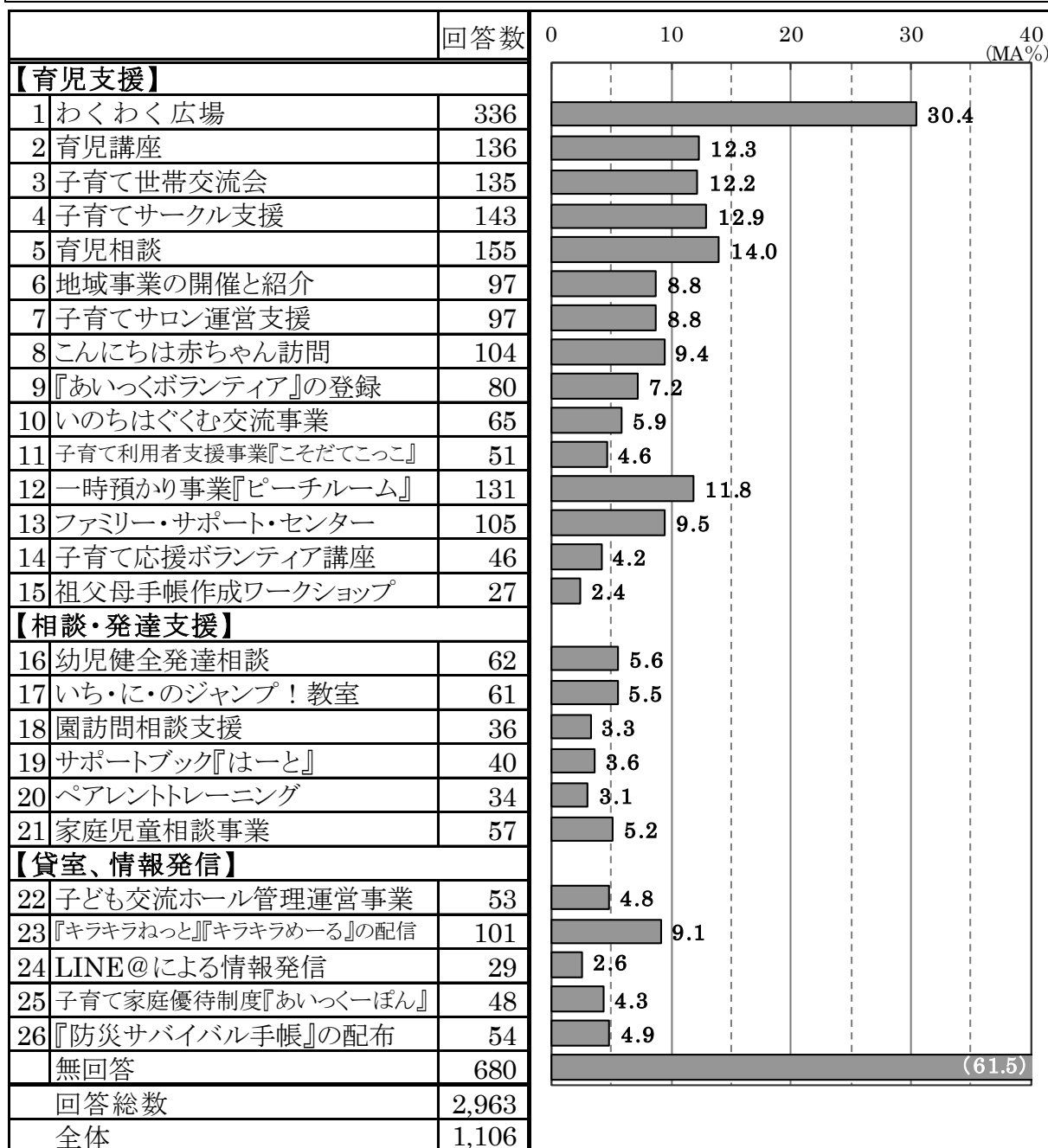
※表の様子は第1位 第2位 第3位を表している。

子ども連れの家族に対してサポートしたこと（複数回答）について、性別にみると、男女とも「エレベーターなどのドアを（開けて）押さえた（ことがある）」が最も多く、次いで「(子どもが) 落としたおもちゃや靴などを拾った（ことがある）」、第3位は「電車やバスなどで（子ども連れの方に）席を譲った（ことがある）」となっている。

年齢別にみると、すべての年齢とも第1位は「エレベーターなどのドアを（開けて）押さえた（ことがある）」、第2位は「(子どもが) 落としたおもちゃや靴などを拾った（ことがある）」であり、第3位は70歳代と80歳以上は「(子どもや保護者に) はげましの笑顔を向けた（ことがある）」であり、その他の年齢は「電車やバスなどで（子ども連れの方に）席を譲った（ことがある）」となっている。

(10)「あいく」の事業の認知度

問 21 あなたは、河内長野駅前 ノバティながの北館 5 階にある「子ども・子育て総合センター あいく」で次のような事業を行っていることをご存じですか。(〇はいくつでも)



知っている『あいく』の事業（複数回答）は、「わくわく広場」が30.4%と最も多く、次いで「育児相談」が14.0%、「子育てサークル支援」が12.9%となっている。なお、無回答が61.5%となっている。

【知っている「あいっく」の事業（上位5位まで） 性別・年齢別】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	参考
全体 (1,106名)	わくわく広場 30.4%	育児相談 14.0%	子育てサークル 支援 12.9%	育児講座 12.3%	子育て世帯交流 会 12.2%	無回答 (680) 61.5%
男性 (445名)	同上 20.7%	同上 9.7%	育児講座 7.9%	子育てサークル 支援 7.6%	一時預かり事業 『ピーチルーム』 6.5%	無回答 (324) 72.8%
女性 (655名)	同上 36.9%	同上 16.9%	子育てサークル 支援 16.6%	子育て世帯 交流会 16.2%	同上 15.4%	無回答 (352) 53.7%
10～20歳代 (91名)	同上 30.8%	子育てサークル 支援 17.6%	育児相談 16.5%	子育て世帯交流会／ こんにちは赤ちゃん訪問／ ファミリー・サポート・センター 12.1%		無回答 (55) 60.4%
30歳代 (106名)	同上 54.7%	育児相談／ 一時預かり事業『ピーチルーム』 39.6%		子育て世帯交流会／ 『キラキラねっと』『キラキラめーる』 の配信 38.7%		無回答 (35) 33.0%
40歳代 (141名)	同上 46.8%	育児相談 25.5%	育児講座／ 子育て世帯交流会 24.1%		ファミリー・サポ ート・センター 22.0%	無回答 (63) 44.7%
50歳代 (161名)	同上 23.6%	子育てサークル支援／ 育児相談 13.0%		ファミリー・サポ ート・センター 11.2%	育児講座 9.9%	無回答 (106) 65.8%
60歳代 (257名)	同上 31.5%	一時預かり事業 『ピーチルーム』 10.5%	育児講座 9.7%	子育てサークル 支援 8.9%	子育て世帯交流 会 7.8%	無回答 (158) 61.5%
70歳代 (248名)	同上 20.2%	育児相談 7.7%	子育てサークル 支援 6.9%	育児講座／ 一時預かり事業『ピーチルーム』 6.5%		無回答 (178) 71.8%
80歳以上 (98名)	同上 14.3%	子育てサークル支援／ 育児相談 5.1%		育児講座／ 子育て世帯交流会／ 子育てサロン運営支援／ 『あいっくボランティア登録』／ 一時預かり事業『ピーチルーム』／ 家庭児童相談事業／ 『キラキラねっと』『キラキラめーる』の 配信 2.0%		無回答 (82) 83.7%

知っている『あいっく』の事業（複数回答）について、性別にみると、男女とも無回答が5割を超えており、第1位は「わくわく広場」であり、女性の方が男性よりも16.2ポイント多くなっている。第2位は男女とも「育児相談」であり、第3位は、男性が「育児講座」、女性が「子育てサークル支援」となっている。

年齢別にみると、すべての年齢とも「わくわく広場」が最も多くなっている。第2位は、10～20歳代は「子育てサークル支援」が、40歳代と70歳代は「育児相談」、30歳代は「育児相談」と「一時預かり事業『ピーチルーム』」、50歳代は「子育てサークル支援」と「育児相談」が、60歳代は「一時預かり事業『ピーチルーム』」、80歳以上は「子育てサークル支援」と「育児相談」となっている。なお、50歳以上は無回答が6割を超えている。

(12)「あいく」の事業の利用経験

問 21 あなたは、河内長野駅前 ノバティながの北館 5 階にある「子ども・子育て総合センター あいく」で次のような事業を利用したことはありますか。（〇はいくつでも）

	回答数	0	10	20	30	40 (MA%)
【育児支援】						
1 わくわく広場	101		9.1			
2 育児講座	23	2.1				
3 子育て世帯交流会	29	2.6				
4 子育てサークル支援	29	2.6				
5 育児相談	15	1.4				
6 地域事業の開催と紹介	20	1.8				
7 子育てサロン運営支援	11	1.0				
8 こんにちは赤ちゃん訪問	39	3.5				
9 『あいくボランティア』の登録	7	0.6				
10 いのちはぐくむ交流事業	10	0.9				
11 子育て利用者支援事業『こそだてっこ』	4	0.4				
12 一時預かり事業『ピーチルーム』	12	1.1				
13 ファミリー・サポート・センター	6	0.5				
14 子育て応援ボランティア講座	3	0.3				
15 祖父母手帳作成ワークショップ	3	0.3				
【相談・発達支援】						
16 幼児健全発達相談	8	0.7				
17 いち・に・のジャンプ！教室	10	0.9				
18 園訪問相談支援	4	0.4				
19 サポートブック『はーと』	7	0.6				
20 ペアレントトレーニング	3	0.3				
21 家庭児童相談事業	5	0.5				
【貸室、情報発信】						
22 子ども交流ホール管理運営事業	8	0.7				
23 『キラキラねっと』『キラキラめーる』の配信	36	3.3				
24 LINE@による情報発信	7	0.6				
25 子育て家庭優待制度『あいくーぼん』	14	1.3				
26 『防災サバイバル手帳』の配布	18	1.6				
無回答	965	(87.3)				
回答総数	1,397					
全体	1,106					

利用したことがある『あいく』の事業（複数回答）は、未就学の子どもに関わる年齢層に限りがあるため無回答（87.3%）が8割を超えており、利用した事業はわずかとなっている。

利用した事業をみると「わくわく広場」が9.1%と最も多く、次いで「こんにちは赤ちゃん訪問」が3.5%、『キラキラねっと』『キラキラめーる』の配信が3.3%となっている。

【利用したことがある「あいっく」の事業（上位 5 位まで） 性別・年齢別】

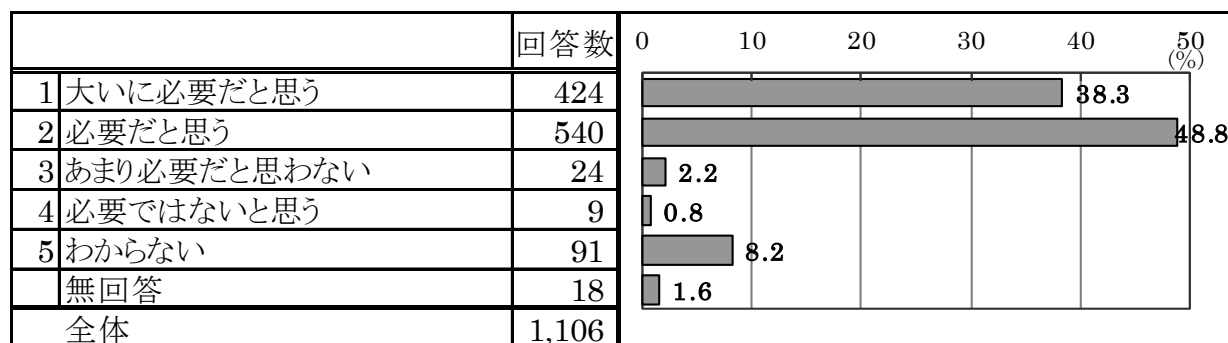
	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	参考
全体 (1,106 名)	わくわく広場 9.1%	こんにちは 赤ちゃん訪問 3.5%	『キラキラねっ と』『キラキラめ ーる』の配信 3.3%	子育て世帯交流会／ 子育てサークル支援 2.6%		無回答 (965) 87.3%
男性 (445 名)	同上 7.0%	育児講座／ こんにちは赤ちゃん訪問 1.8%	1.6%	子育て世帯 交流会	子育てサークル 支援 1.3%	無回答 (406) 91.2%
女性 (655 名)	同上 10.7%	こんにちは赤ちゃん訪問／ 『キラキラねっ と』『キラキラめ ーる』の配信 4.7%	3.5%	子育てサークル 支援	子育て世帯 交流会 3.4%	無回答 (553) 84.4%
10～20 歳代 (91 名)	わくわく広場／ 『キラキラねっ と』『キラキラめ ーる』の配信 8.8%	『防災サバイバ ル手帳』の配布 5.5%	4.4%	子育て世帯交流会／ 子育て家庭優待制度『あいっくー ぽん』		無回答 (79) 86.8%
30 歳代 (106 名)	わくわく広場 30.2%	こんにちは 赤ちゃん訪問 22.6%	『キラキラねっ と』『キラキラめ ーる』の配信 15.1%	子育て世帯 交流会 14.2%	子育てサークル 支援 12.3%	無回答 (64) 60.4%
40 歳代 (141 名)	同上 18.4%	子育てサークル支援／ こんにちは赤ちゃん訪問／ 『キラキラねっ と』『キラキラめ ーる』の配信 7.1%	6.4%	育児講座／ 地域事業の開 催と紹介		無回答 (102) 72.3%
50 歳代 (161 名)	同上 2.5%	育児講座／ 『あいっくボランティア登録』／ いち・に・のジャンプ！教室／ 『キラキラねっ と』『キラキラめ ーる』の配信 0.6%	子育てサークル支援／ ファミリー・サポート・センター／ 家庭児童相談事業／ LINE@による情報発信			無回答 (149) 92.5%
60 歳代 (257 名)	同上 8.6%	育児講座 1.2%	育児相談／ 子育てサロン運営支援／ 『あいっくボランティア登録』／ 子ども交流ホール管理運営事業 0.8%			無回答 (232) 90.3%
70 歳代 (248 名)	同上 3.2%	一時預かり事 業『ピーチルー ム』 1.2%	育児講座／ 子育て世帯交流会／ 子育てサロン運営支援／ こんにちは赤ちゃん訪問／ 『あいっくボランティア登録』 0.8%			無回答 (238) 96.0%
80 歳以上 (98 名)	同上 1.0%					無回答 (97) 99.0%

利用したことがある『あいっく』の事業（複数回答）について、性別にみると、男女とも「わくわく広場」が最も多く、次いで男性は「育児講座」と「こんにちは赤ちゃん訪問」であり、女性は「こんにちは赤ちゃん訪問」と『キラキラねっ
と』『キラキラめーる』の配信となっている。

年齢別にみると、50 歳以上は無回答が 9 割を超えており、利用した人はわずかとなっている。10～20 歳代は「わくわく広場」と『キラキラねっ
と』『キラキラめーる』の配信が最も多く、30 歳代と 40 歳代は「わくわく広場」となっている。

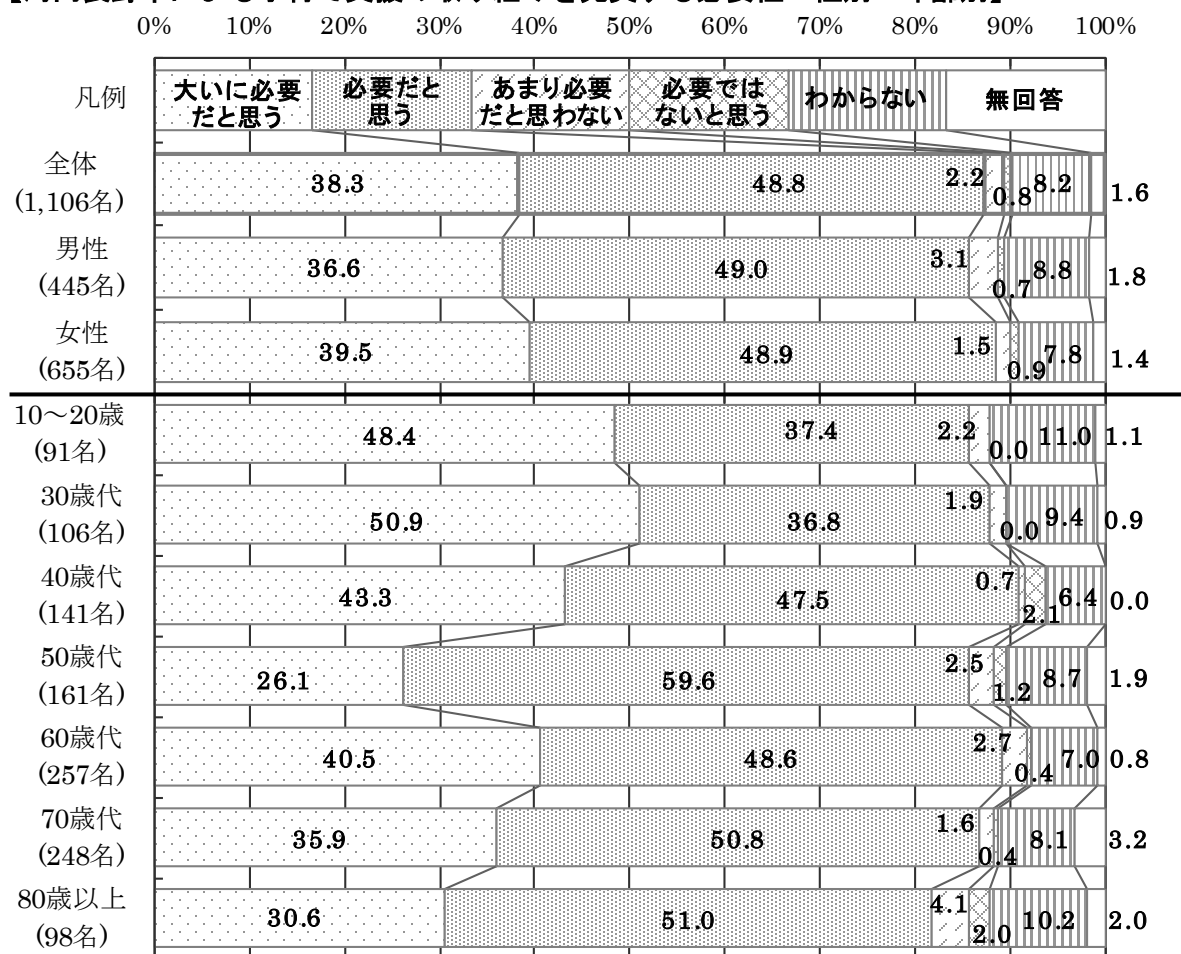
(13) 市による子育て支援の取り組みを充実する必要性

問 22 あなたは、河内長野市で子育て支援の取り組みを充実していくことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



河内長野市で子育て支援の取り組みを充実していくことについては、「必要だと思う」が48.8%と最も多く、次いで「大いに必要だと思う」が38.3%、「わからない」が8.2%となっており、「大いに必要だと思う」と「必要だと思う」を合わせた『必要である』は87.1%となっている。

【河内長野市による子育て支援の取り組みを充実する必要性 性別・年齢別】

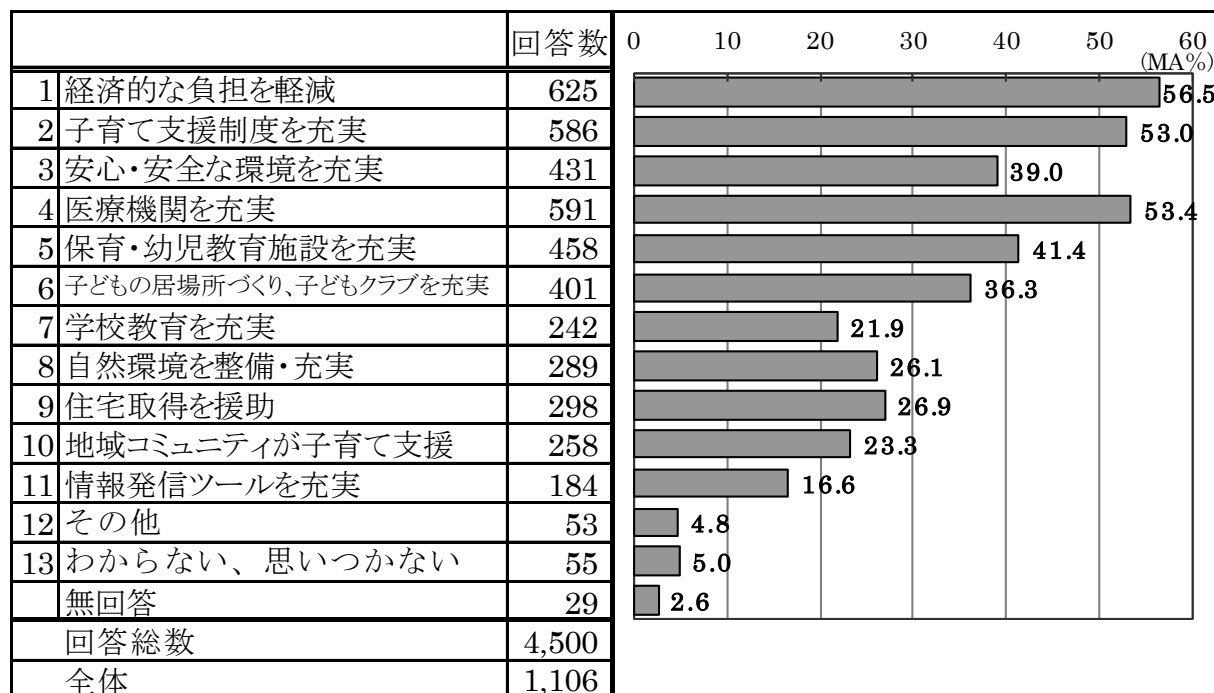


性別にみると、『必要である』は、男性が85.6%、女性が88.4%となっている。

年齢別にみると、『必要である』は、40歳代が90.8%と多く、次いで60歳代が89.1%、30歳代が87.7%となっている。

(14) 若い世代の人や子育て世帯を増加させるために必要と思うこと

問 23 あなたは、河内長野市に若い世代の人や子育て世帯を増加させるために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



若い世代の人や子育て世帯を増加させるために必要と思うこと（複数回答）は、「経済的な負担を軽減（すること）」が56.5%と最も多く、次いで「医療機関を充実（すること）」が53.4%、「子育て支援制度を充実（すること）」が53.0%となっている。

【若い世代や子育て世帯を増加させるために必要と思うこと（上位 5 位まで） 性別・年齢別】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	参考
全体 (1,106 名)	経済的な負担を軽減 56.5%	医療機関を充実 53.4%	子育て支援制度を充実 53.0%	保育・幼児教育施設を充実 41.4%	安心・安全な環境を充実 39.0%	無回答 (29) 2.6%
男性 (445 名)	同上 59.1%	同上 48.8%	同上 48.1%	同上 40.2%	同上 35.7%	無回答 (17) 3.8%
女性 (655 名)	医療機関を充実 56.8%	子育て支援制度を充実 56.5%	経済的な負担を軽減 54.8%	同上 42.1%	子どもの居場所づくり、子どもクラブを充実 41.4%	無回答 (11) 1.7%
10～20歳代 (91 名)	経済的な負担を軽減 78.0%	同上 50.5%	保育・幼児教育施設を充実 45.1%	医療機関を充実 44.0%	安心・安全な環境を充実 40.7%	無回答 (0) 0.0%
30 歳代 (106 名)	同上 76.4%	同上 57.5%	医療機関を充実 54.7%	子どもの居場所づくり、子どもクラブを充実 50.0%	保育・幼児教育施設を充実 47.2%	無回答 (3) 2.8%
40 歳代 (141 名)	同上 64.5%	医療機関を充実 55.3%	子育て支援制度を充実 53.2%	安心・安全な環境を充実 48.9%	子どもの居場所づくり、子どもクラブを充実 41.1%	無回答 (3) 2.1%
50 歳代 (161 名)	医療機関を充実 55.3%	経済的な負担を軽減 54.7%	同上 53.4%	同上 38.5%	保育・幼児教育施設を充実 35.4%	無回答 (3) 1.9%
60 歳代 (257 名)	子育て支援制度を充実／医療機関を充実 59.5%		経済的な負担を軽減 50.6%	保育・幼児教育施設を充実 46.7%	子どもの居場所づくり、子どもクラブを充実 40.1%	無回答 (6) 2.3%
70 歳代 (248 名)	医療機関を充実 51.2%	経済的な負担を軽減／子育て支援制度を充実 49.2%		同上 42.3%	安心・安全な環境を充実 37.1%	無回答 (12) 4.8%
80 歳以上 (98 名)	同上 45.9%	経済的な負担を軽減／子育て支援制度を充実 41.8%		安心・安全な環境を充実／保育・幼児教育施設を充実 39.8%		無回答 (1) 1.0%

若い世代の人や子育て世帯を増加させるために必要と思うこと（複数回答）について、性別にみると、男性は「**経済的な負担を軽減（すること）**」が最も多く、女性は「**医療機関を充実（すること）**」が最も多くなっている。第 2 位は、男性が「**医療機関を充実（すること）**」、「女性が「**子育て支援制度を充実（すること）**」となっている。

年齢別にみると、10～20 歳代と 30 歳代、40 歳代は「**経済的な負担を軽減（すること）**」が最も多く、50 歳代と 70 歳代、80 歳以上は「**医療機関を充実（すること）**」が、60 歳代は「**子育て支援制度を充実（すること）**」と「**医療機関を充実（すること）**」が最も多くなっている。

(15) 子育てしやすいまちになるために必要だと思うこと（自由記述）

問 24 最後に、「河内長野市が子育てしやすいまち」となるためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。率直なご意見をご記入ください。

「河内長野市が子育てしやすいまち」となるために必要だと思うことについて、527 名が 710 件の意見を記入されている。

主な意見は次の通りである。

【子育て支援施策】

- ・ 公立保育所や幼稚園の充実30 件
- ・ 子育て支援制度の充実28 件
- ・ 若い世代の働くことのできる場の確保22 件
- ・ 親・大人の教育（子どもの模範、親としての教育など）20 件
- ・ 放課後の子どもの居場所づくり（学童保育、延長保育、病児保育など）17 件
- ・ 身近な相談窓口の充実12 件
- ・ 子育て支援に関する情報の発信・提供11 件
- ・ 学童保育の質的向上・指導員の資質向上9 件
- ・ 保育所待機児童の解消7 件
- ・ 子育て世帯のニーズの把握と対応7 件
- ・ 「あいっく」等の室内型子育て支援施設の充実6 件
- ・ 子育て世帯への家事・生活支援5 件
- ・ 保育所の質的向上・職員の資質向上4 件 など

【安全・安心の取り組み】

- ・ 子どもが安心して遊べる公園・遊び場等の充実37 件
- ・ バス・電車・タクシーなどの公共交通機関の充実26 件
- ・ 防犯・治安対策の充実（防犯カメラ、街灯増設など）23 件
- ・ 自然環境の整備・充実13 件
- ・ 通学路の安全性の向上・充実11 件 など

【経済的な支援】

- ・ 経済的な負担の軽減（減免、子ども手当・補助金の充実 など）69 件
- ・ 子ども医療費の無料化を 18 歳までに16 件
- ・ 保育料等の低減化・無料化7 件
- ・ 妊婦健診や出産費用の補助充実5 件 など

【まちづくり全般】

- ・ 高齢者・障がい者にやさしいまち＝子育て世帯にやさしいまち23 件
- ・ 商業施設・ショッピングセンター等の整備・充実20 件
- ・ 道路・歩道の整備14 件
- ・ 河内長野市の良さのアピールの充実11 件
- ・ 駅前の整備・活性化7 件
- ・ プールや体育館・図書館の整備・充実7 件

- ・次代を担う人材の育成を 4 件
- ・公民館や空き家等の活用 3 件 など

【地域との関わり】

- ・近隣による支え合い・助け合い（見守り、あいさつ、声かけなど） 43 件
- ・多世代交流の推進（高齢者と子ども、子ども同士など） 11 件
- ・子育て世帯の交流の機会づくり 8 件
- ・子ども向けイベントの充実 5 件 など

【教育環境】

- ・学校教育の充実・質的向上 28 件
- ・小・中学校での完全給食の実施 20 件
- ・小・中学校でのエアコンの設置 10 件 など

【医療機関】

- ・医療機関の充実（小児科、子ども対応の耳鼻科・眼科など） 15 件
- ・小児の夜間・救急病院 12 件 など

【定住促進施策】

- ・住宅取得に関する補助充実 5 件
- ・家賃補助制度の充実 3 件
- ・若い世帯向け住宅の確保 3 件 など

【市政運営】

- ・市の財政状況をよくすること 9 件
- ・子育て施策よりも高齢者施策の充実を 6 件
- ・市民・市職員の意識改革 6 件
- ・定住促進策の充実 4 件
- ・長期的な視点に立ったまちづくりを 4 件
- ・支援を必要な人に情報が伝わっていない 3 件 など

【その他】

- ・その他 21 件
- ・わからない 14 件 など

2. 市政全般について

(1) 現在の満足度

問 10 あなたは、現在の河内長野市の生活環境等についてどの程度満足されていますか。

		0%	20%	40%	60%	80%	100%		
全体（1,106名）	凡 例	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない	無回答	
【安全・安心】	1. 防災	3.8	13.2	53.2		9.8	2.8	12.9	4.3
	2. 消防・救急	7.0	19.3	51.0		6.0	2.5	9.5	4.7
	3. 防犯	3.2	11.6	56.2		12.2	2.5	9.3	5.0
	4. 交通安全	3.5	10.8	54.5		14.3	4.2	7.2	5.3
	5. 消費者行政	2.0	5.5	52.5		10.8	2.4	20.8	6.0
【福祉・健康】	6. 地域の支え合い	4.1	13.7	54.3		10.4	1.9	10.8	4.9
	7. 高齢者にとっての暮らしやすさ	2.7	9.7	37.1		24.5	8.6	12.8	4.6
	8. 障がい者にとっての暮らしやすさ	1.7	3.7	34.4	18.0	5.5	29.5		7.2
	9. 社会保障制度	1.8	6.0	44.1		19.7	8.0	14.9	5.5
	10. 健康づくりを進める環境	2.4	9.3	53.4		11.4	3.3	14.3	5.9
【子育て・教育・生涯学習】	11. 児童に対する福祉	2.4	8.9	42.1		8.1	2.1	28.8	7.6
	12. 子育てのしやすさ	3.1	10.8	40.1		10.3	2.2	26.5	7.0
	13. 小中学校の教育環境	2.4	10.3	37.4		11.9	3.9	26.5	7.5
	14. 青少年の健全な育成	2.3	7.5	44.9		9.2	2.2	26.3	7.6
	15. 各種講座や施設など生涯学習の環境	2.1	11.0	45.8		9.0	1.6	23.1	7.2
	16. 文化芸術活動などの環境	1.8	11.2	47.7		9.6	1.3	21.2	7.2
	17. 歴史文化遺産の保存・活用	3.3	13.2	45.7		8.1	1.3	20.9	7.5
	18. スポーツ施設や活動などの環境	2.2	10.0	43.5		15.2	4.3	18.3	6.5
【人権】	19. 人権の尊重と平和意識の高揚	1.3	5.3	55.2		4.3	1.2	25.9	6.8
	20. 男女共同参画の推進	1.4	3.8	50.7	5.4	1.2	30.3		7.2
	21. 国際交流や多文化共生社会の推進	1.6	5.1	47.5	5.2	1.3	32.5		7.0
【環境】	22. 自然環境への配慮	3.4	17.0	52.6		7.5	2.2	11.2	6.1
	23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み	3.6	17.9	52.0		7.5	1.2	12.0	5.8
	24. 騒音・悪臭などの少なさ	7.3	27.6		42.9		8.6	2.4	5.7
	25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	9.4	29.2		42.8		6.7	1.6	4.7
	【都市基盤】	26. 市街地の整備	1.4	12.5	48.1		22.0		7.0
27. 住環境		4.2	18.6		55.8		11.4	2.4	4.7
28. 公園や緑地などの環境		3.5	18.3	48.1		17.5	4.3	3.5	4.8
29. 道路や橋などの交通網		2.2	11.3	43.5		23.8	9.6	4.1	5.6
30. バスなどの公共交通サービス		2.7	10.1	35.7		26.3	14.3	6.7	4.2
31. 上下水道		6.6	15.6		52.7		9.6	3.3	7.4
【産業】	32. 商業地などの賑わい	1.3	3.0	32.9	30.0	20.0		7.9	5.0
	33. 農林業の振興	0.7	4.4	43.9	10.8	4.0	30.7		5.4
	34. 観光事業	0.8	5.0	42.6	18.8	7.1	20.8		4.9
	35. 身近な場での働きやすさ	1.2	3.6	38.5	16.3	10.1	25.1		5.2
【協働・行政・人事】	36. 市民同士の連携や市民と行政の協働	1.7	4.2	47.1	11.4	4.0	26.7		5.0
	37. 行政改革への取り組み	1.3	3.3	39.8	17.0	6.0	27.5		5.2
	38. 適正で透明性の高い財政運営	1.3	3.9	37.1	17.8	7.7	26.9		5.4
	39. 市職員の窓口や電話等での対応	8.1	15.2		50.2		8.9	3.9	8.5
	40. 市全体として	2.6	18.6	46.0		15.4	3.9	3.7	9.8

市政に対する現在の満足度については、すべての項目において「普通」が最も多くなっている。

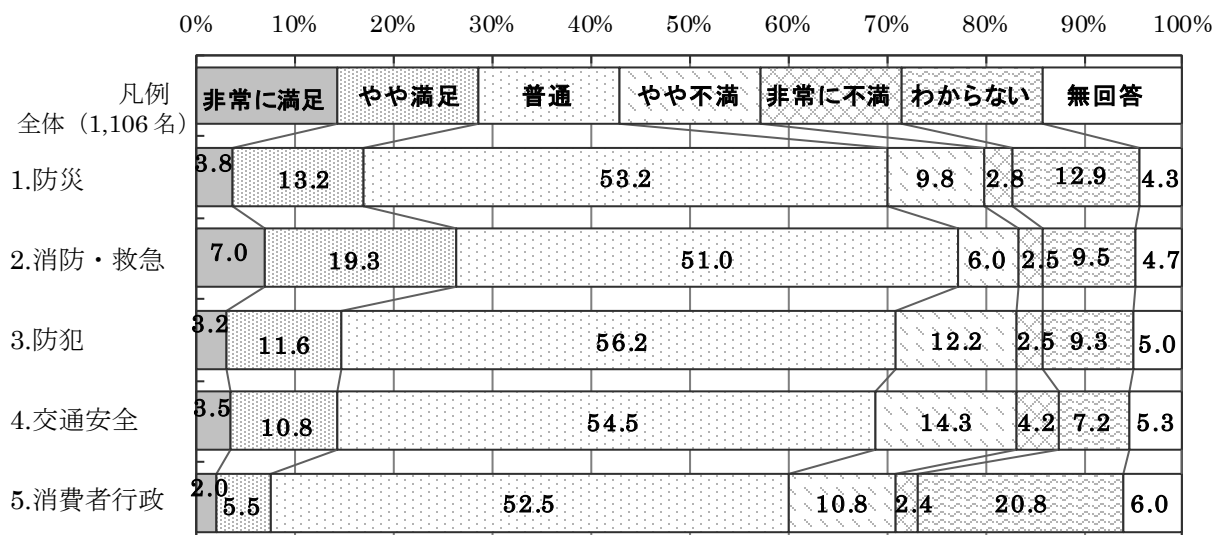
また、「非常に満足」では、“まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ”が9.4%と最も多く、次いで“市職員の窓口や電話等での対応”が8.1%、“騒音・悪臭などの少なさ”が7.3%となっている。

「非常に満足」と「やや満足」を合わせた『満足』をみると、“まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ”が38.6%と最も多く、次いで“騒音・悪臭などの少なさ”が34.9%、“消防・救急”が26.3%となっている。

一方、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は、“商業地などの賑わい”が50.0%と最も多く、次いで“バスなどの公共交通サービス”が40.6%、“道路や橋などの交通網”が33.4%となっている。

なお、「市全体として」は、「普通」が46.0%、『満足』が21.2%、『不満』が19.3%となっている。

【安全・安心】

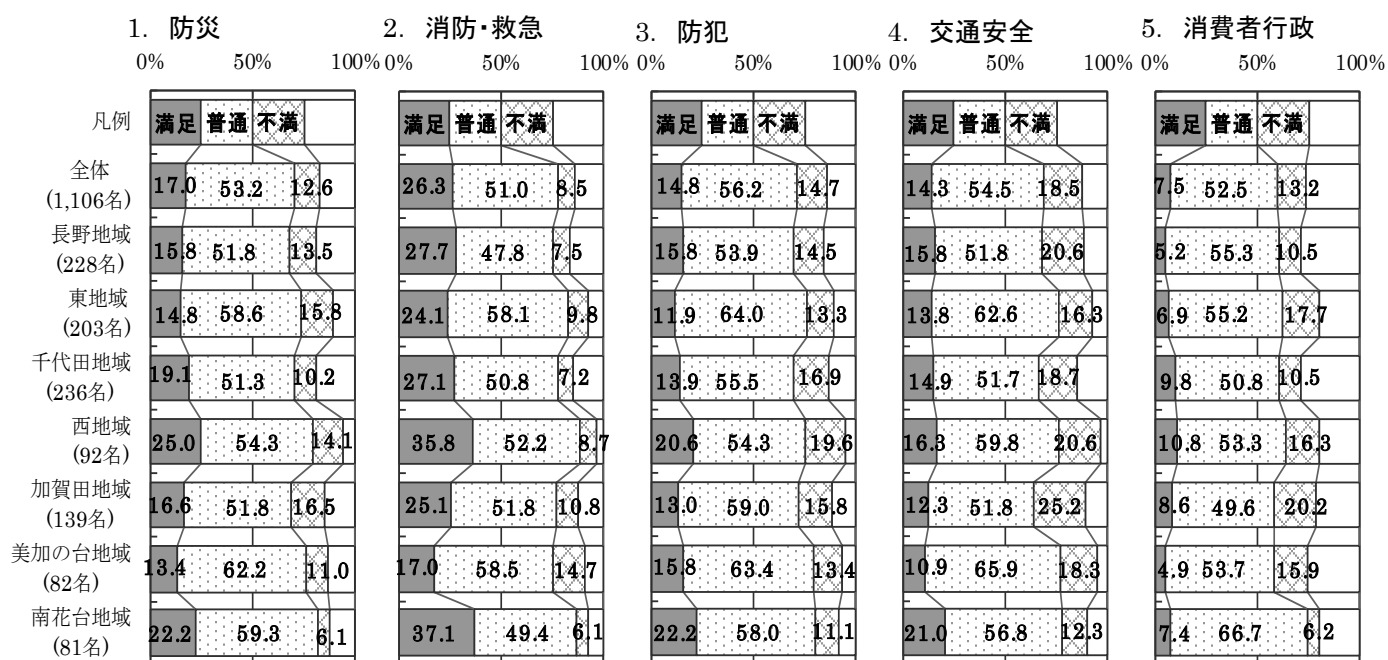


【安全・安心】の分野については、『満足』は“消防・救急”が26.3%と最も多く、『不満』は“交通安全”が18.5%と他の項目に比べて多くなっている。

《地域別》

凡例の説明 (P33～P43)

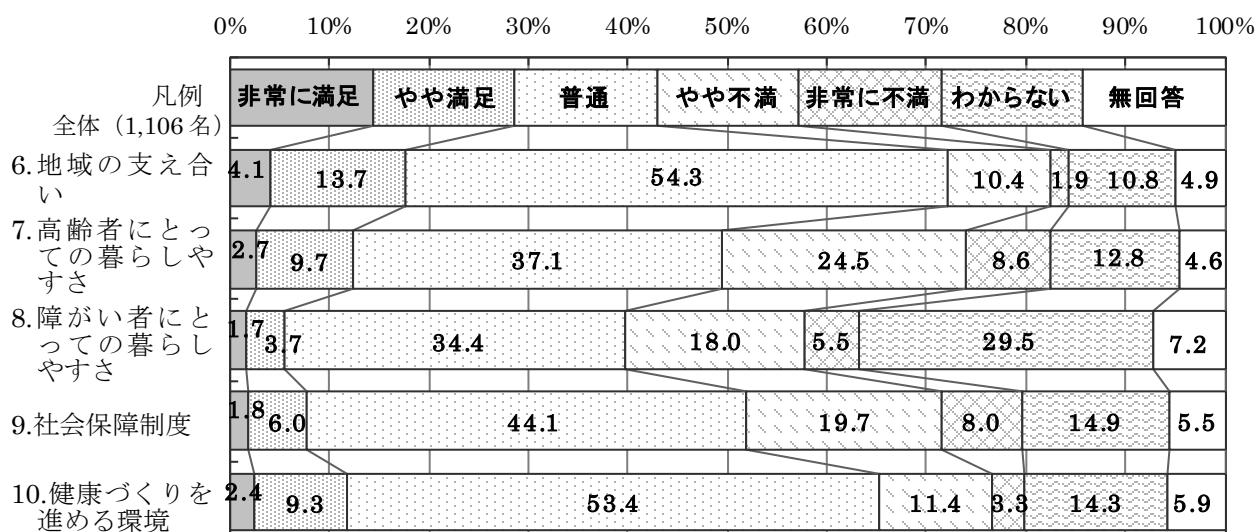
満足：非常に満足+やや満足、普通：普通、不満：非常に不満+やや不満、□：わからない+無回答(%は省略)



地域別にみると、『満足』については、“防災”と“消費者行政”は西地域（それぞれ25.0%、10.8%）が、“消防・救急”と“防犯”と“交通安全”は南花台地域（それぞれ37.1%、22.2%、21.0%）が最も多くなっている。

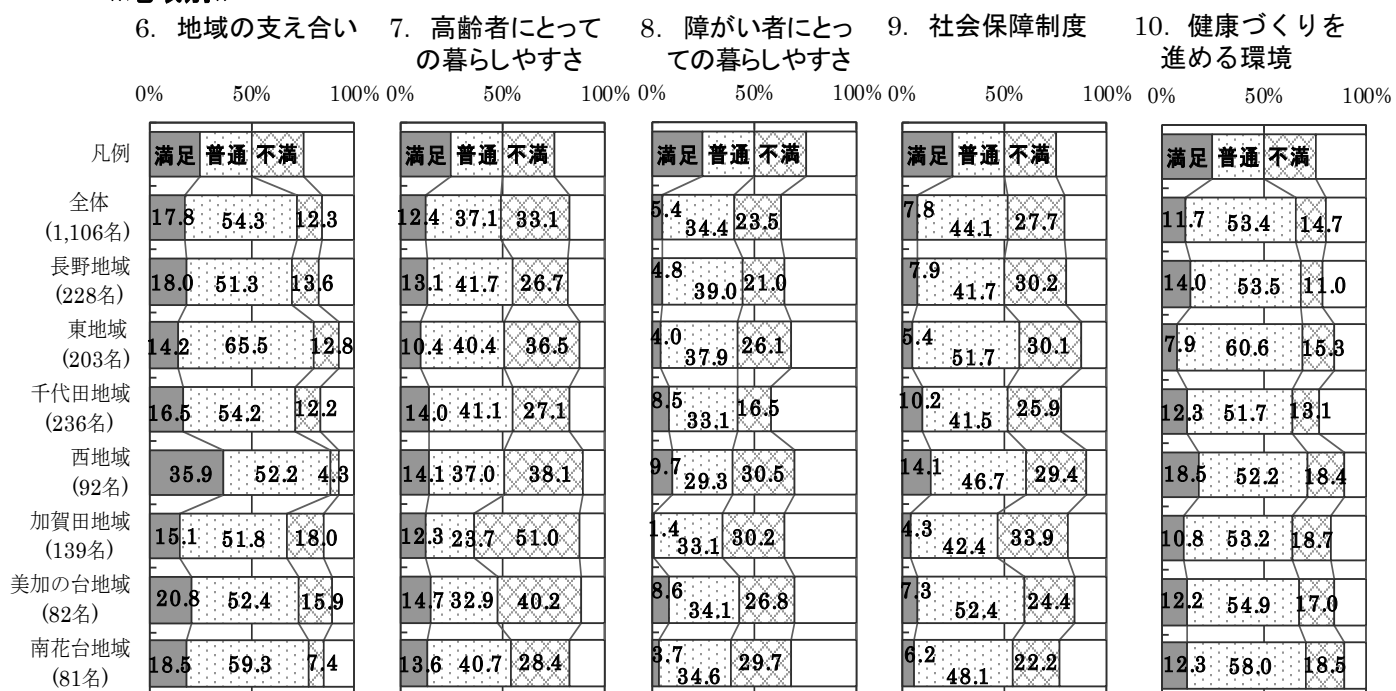
一方、『不満』は、“防災”と“交通安全”と“消費者行政”は加賀田地域（それぞれ16.5%、25.2%、20.2%）が、“消防・救急”は美加の台地域（14.7%）が、“防犯”は西地域（19.6%）が最も多くなっている。

【福祉・健康】



【福祉・健康】の分野については、『満足』は“地域の支え合い”が17.8%と最も多く、『不満』は“高齢者にとっての暮らしやすさ”が33.1%と他の項目に比べて多くなっている。

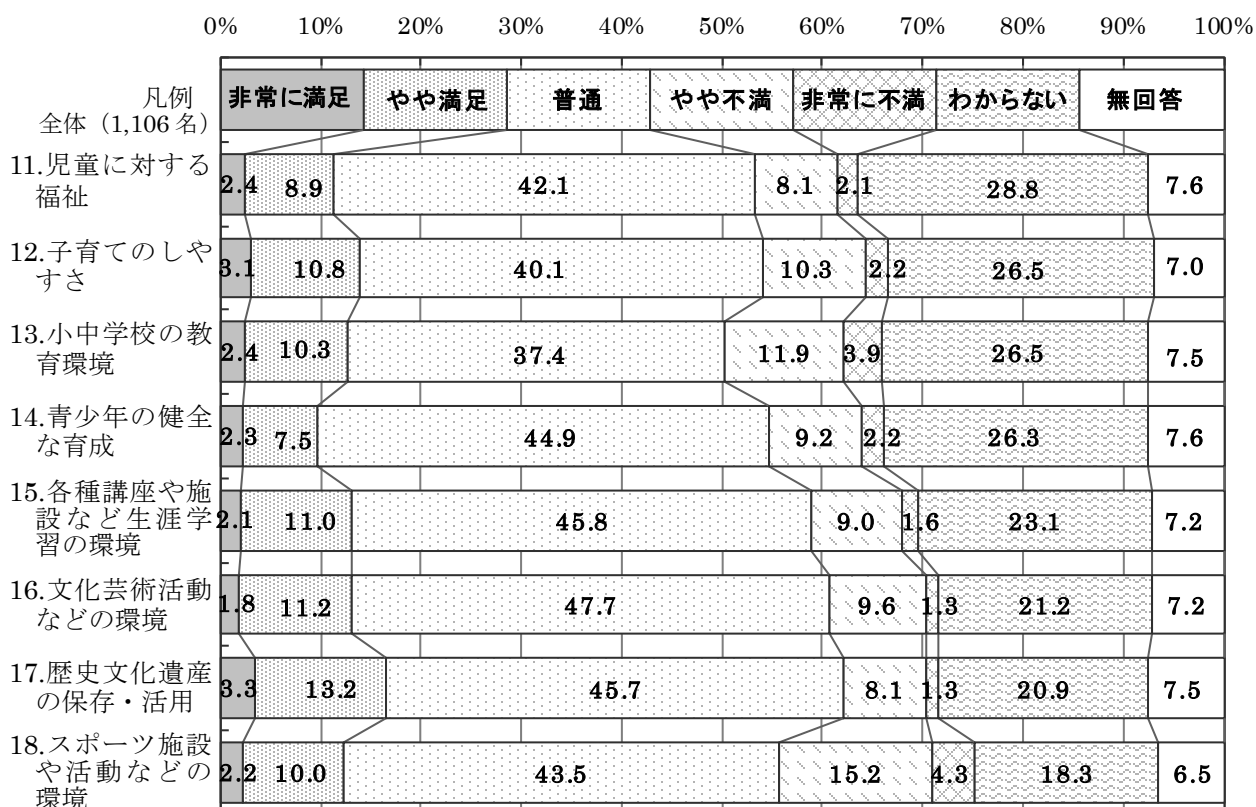
《地域別》



地域別にみると、『満足』については、“地域の支え合い”と“障がい者にとっての暮らしやすさ”“社会保障制度”“健康づくりを進める環境”は西地域(それぞれ35.9%、9.7%、14.1%、18.5%)が、“高齢者にとっての暮らしやすさ”は美加の台地域(14.7%)が最も多くなっている。

一方、『不満』は、“地域の支え合い”と“高齢者にとっての暮らしやすさ”“社会保障制度”“健康づくりを進める環境”は加賀田地域(それぞれ18.0%、51.0%、33.9%、18.7%)が、“障がい者にとっての暮らしやすさ”は西地域(30.5%)が最も多くなっている。

【子育て・教育・生涯学習】



【子育て・教育・生涯学習】の分野については、『満足』は“歴史文化遺産の保存・活用”が16.5%と最も多く、『不満』は“スポーツ施設や活動などの環境”が19.5%と他の項目に比べて多くなっている。

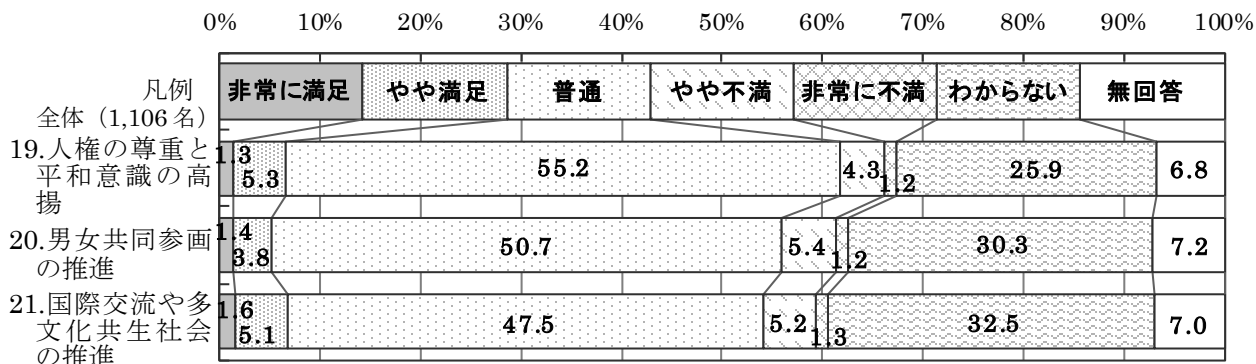
<<地域別>>



地域別にみると、『満足』については、美加の台地域が“子育てのしやすさ”（19.6%）、“小中学校の教育環境”（28.1%）、“青少年の健全な育成”（17.1%）で最も多くなっている。また、“児童に対する福祉”は東地域（12.8%）が、“各種講座や施設など生涯学習の環境”は千代田地域（16.1%）が、“文化芸術活動などの環境”と“歴史文化遺産の保存・活用”が西地域（それぞれ18.4%、25.0%）、“スポーツ施設や活動などの環境”は長野地域（15.4%）が、他の地域に比べて多くなっている。

一方、『不満』については、南花台地域が“児童に対する福祉”（16.0%）、“子育てのしやすさ”（22.2%）、“小中学校の教育環境”（28.4%）で最も多くなっており、美加の台地域が“各種講座や施設など生涯学習の環境”（14.6%）、“文化芸術活動などの環境”（19.5%）、“スポーツ施設や活動などの環境”（31.7%）で最も多くなっている。また、“青少年の健全な育成”は西地域（15.2%）が、“歴史文化遺産の保存・活用”は加賀田地域（14.4%）が、他の地域に比べて多くなっている。

【人権】



【人権】の分野については、『満足』は“国際交流や多文化共生社会の推進”が6.7%と最も多く、『不満』は“男女共同参画の推進”が6.6%と他の項目に比べて多くなっている。

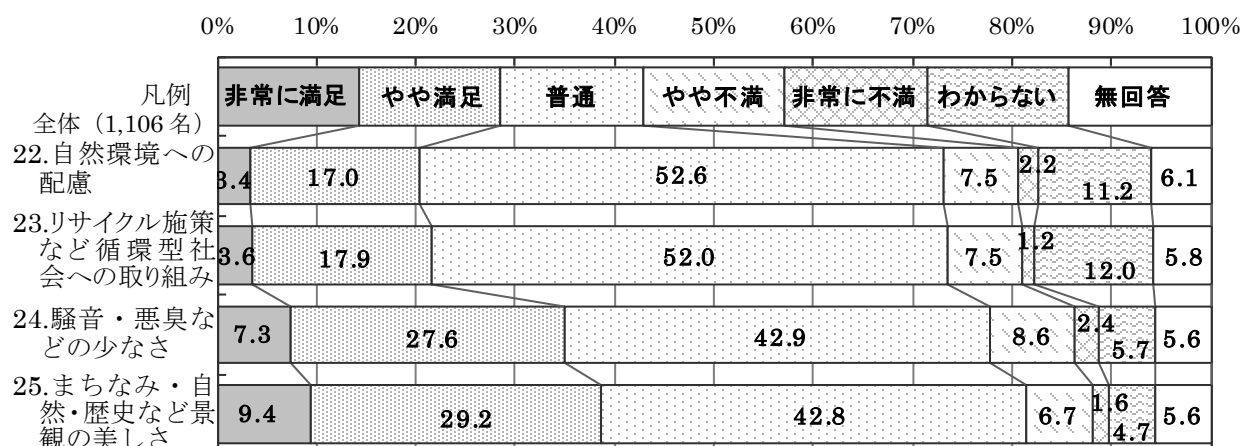
《地域別》



地域別にみると、『満足』については、“人権の尊重と平和意識の高揚”と“国際交流や多文化共生社会の推進”は西地域（それぞれ10.9%、11.9%）が、“男女共同参画の推進”は千代田地域と西地域（ともに7.6%）が最も多くなっている。

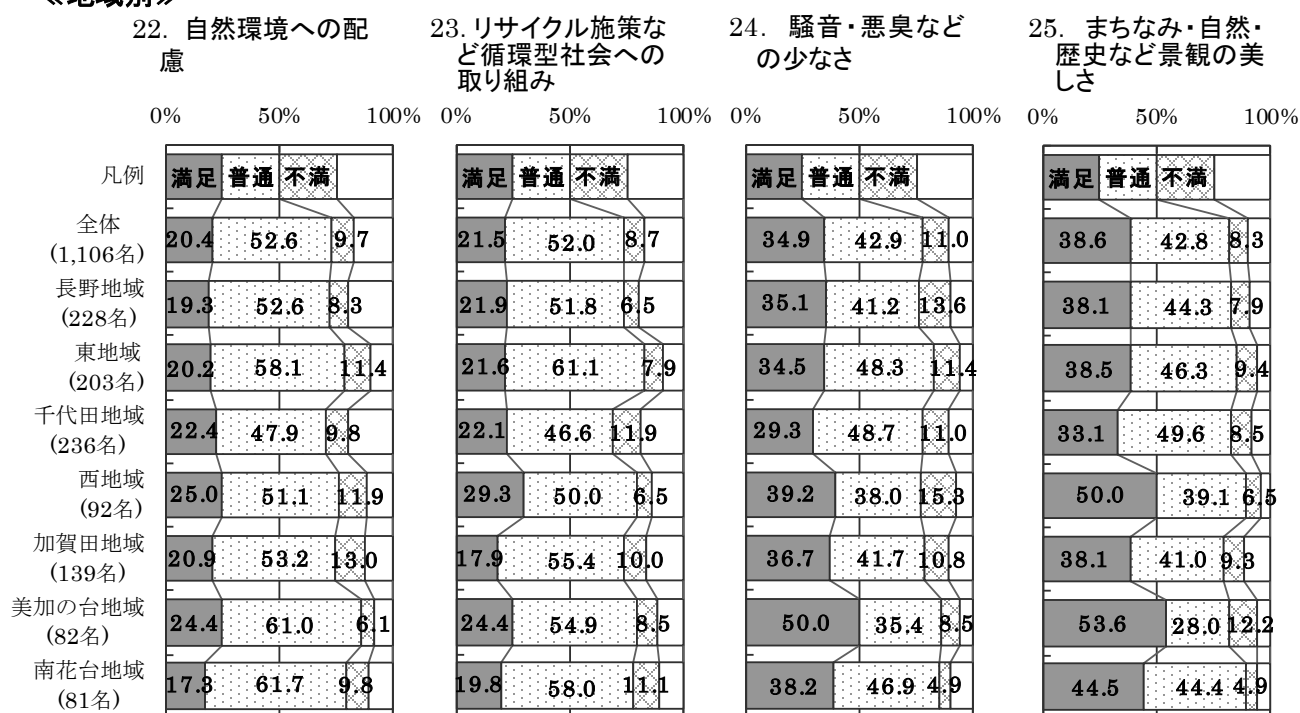
一方、『不満』は、“人権の尊重と平和意識の高揚”は加賀田地域と南花台地域（ともに8.6%）が、“男女共同参画の推進”は南花台地域（9.9%）が、“国際交流や多文化共生社会の推進”は加賀田地域（12.3%）と、他の地域に比べて多くなっている。

【環境】



【環境】の分野については、『満足』は“まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ”が38.6%と最も多く、『不満』は“騒音・悪臭などの少なさ”が11.0%と他の項目に比べて多くなっている。

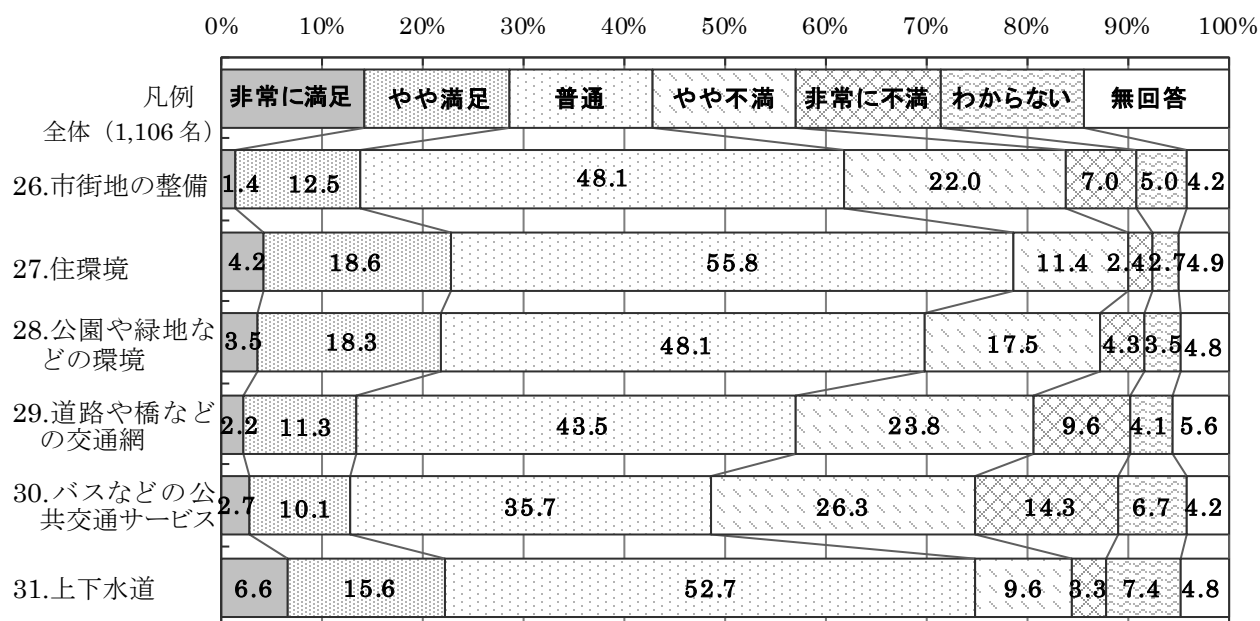
《地域別》



地域別にみると、『満足』については、西地域が“自然環境への配慮”（25.0%）と“リサイクル施策など循環型社会への取り組み”（29.3%）が他の地域に比べて多くなっている。また、美加の台地域は、“騒音・悪臭などの少なさ”（50.0%）と“まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ”（53.6%）が他の地域に比べて多くなっている。

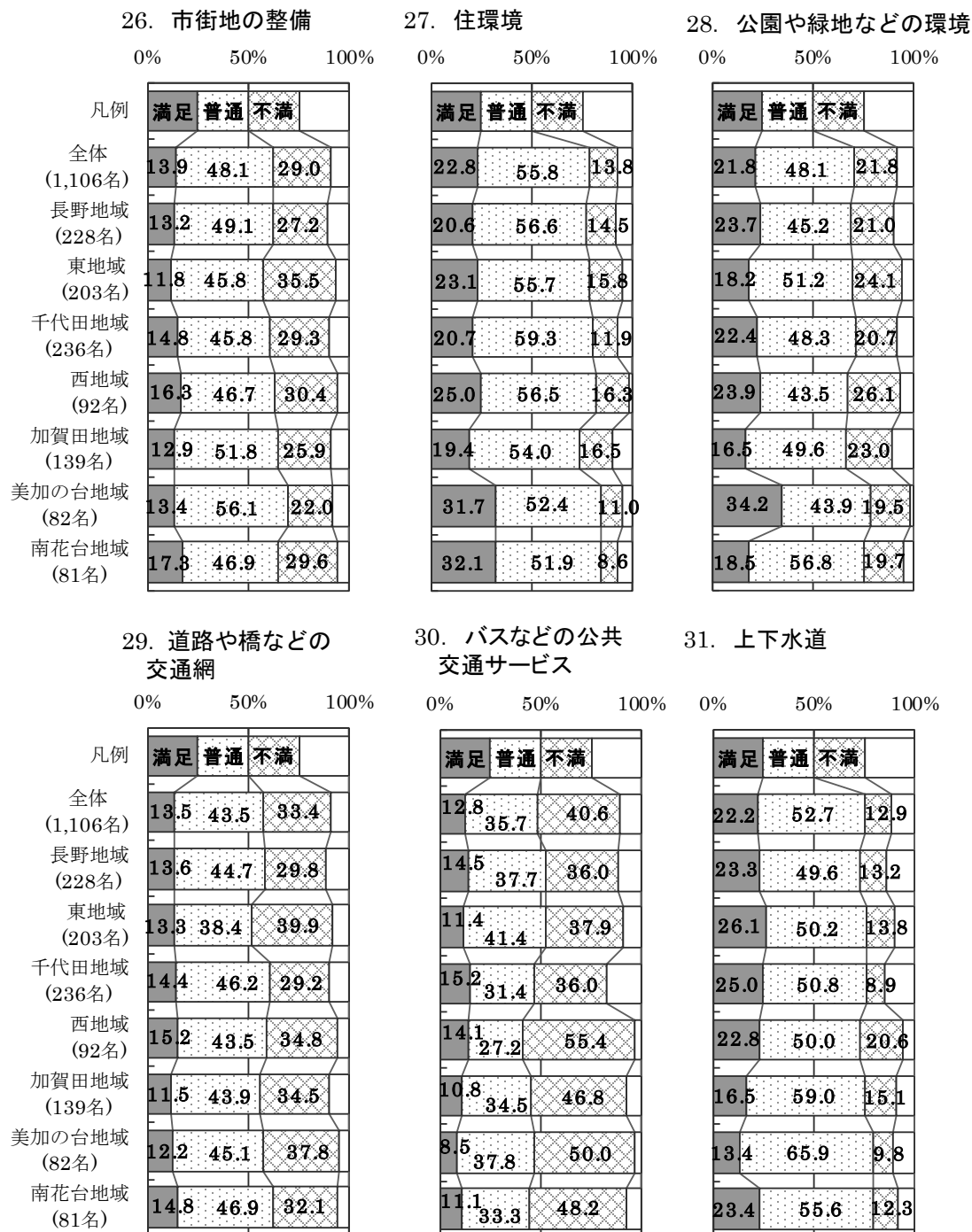
一方、『不満』は、“自然環境への配慮”は加賀田地域（13.0%）が、“リサイクル施策など循環型社会への取り組み”は千代田地域（11.9%）が、“騒音・悪臭などの少なさ”は西地域（15.3%）が、“まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ”は美加の台地域（12.2%）が、他の地域よりも多くなっている。

【都市基盤】



【都市基盤】の分野については、『満足』は“住環境”が22.8%と最も多く、『不満』は“バスなどの公共交通サービス”が40.6%と他の項目に比べて多くなっている。

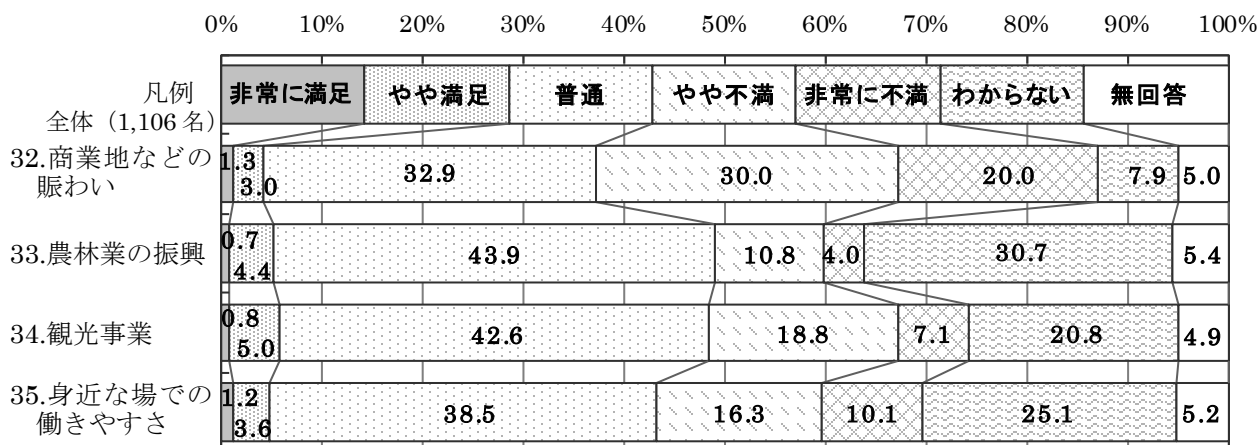
《地域別》



地域別にみると、『満足』については、“市街地の整備”と“住環境”は南花台地域（それぞれ17.3%、32.1%）が、“公園や緑地などの環境”は美加の台地域（34.2%）が、“道路や橋などの交通網”は西地域（15.2%）が、“バスなどの公共交通サービス”は千代田地域（15.2%）が、“上下水道”は東地域（26.1%）が、最も多くなっている。

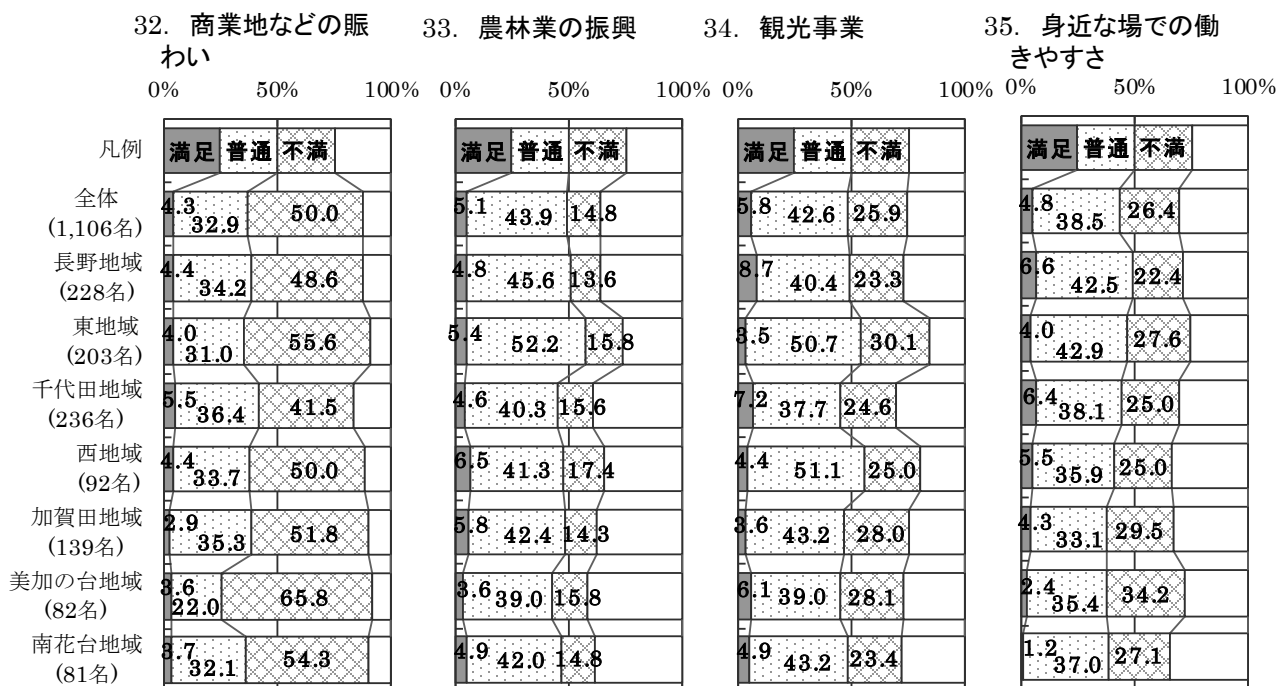
一方、『不満』は、“市街地の整備”と“道路や橋などの交通網”は東地域（それぞれ35.5%、39.9%）が、“住環境”は加賀田地域が16.5%で多くなっている。また、西地域は、“公園や緑地などの環境”（26.1%）、“バスなどの公共交通サービス”（55.4%）、“上下水道”（20.6%）で他の地域に比べて多くなっている。

【産業】



【産業】の分野については、『満足』は“観光事業”が5.8%と最も多く、『不満』は、“商業地などの賑わい”が50.0%となっている。

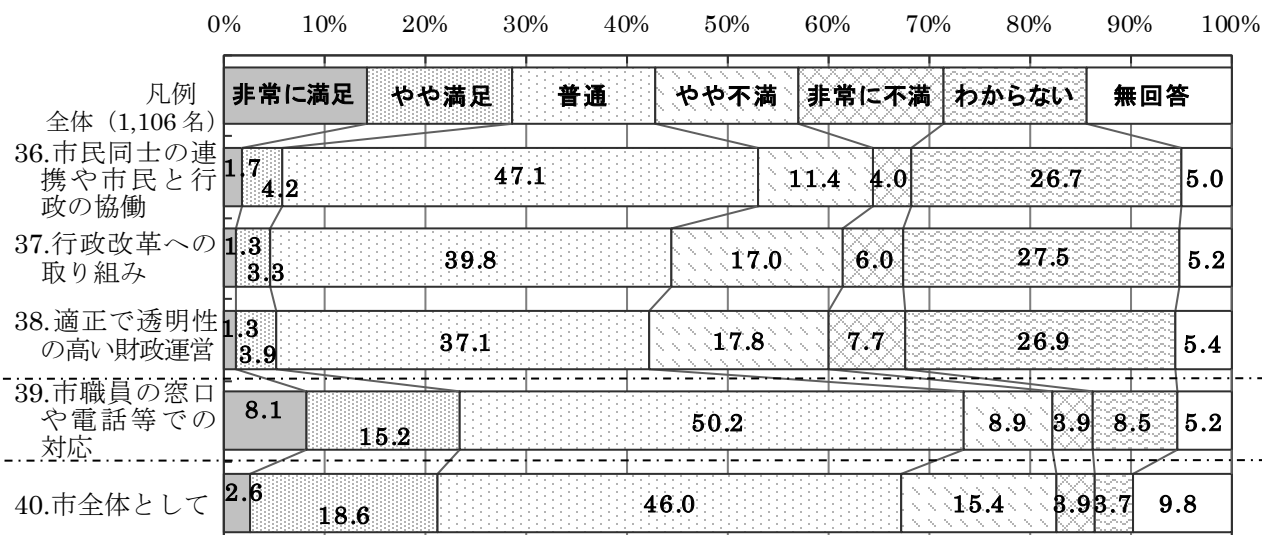
《地域別》



地域別にみると、『満足』については、“商業地などの賑わい”は千代田地域（5.5%）が、“農林業の振興”は西地域（6.5%）、“観光事業”と“身近な場での働きやすさ”は長野地域（それぞれ8.7%、6.6%）が、他の地域に比べて多くなっている。

一方、『不満』は、“商業地などの賑わい”と“身近な場での働きやすさ”は美加の台地域（それぞれ65.8%、34.2%）が、“農林業の振興”は西地域（17.4%）が、“観光事業”は東地域（30.1%）が、他の地域に比べて多くなっている。

【協働・行財政】【人事】・市全体として



【協働・行財政】の分野については、『満足』は“市民同士の連携や市民と行政との協働”が5.9%と最も多く、『不満』は“適正で透明性の高い財政運営”が25.5%と他の項目に比べて多くなっている。

【人事】の分野である“市職員の窓口や電話等での対応”は、『満足』が23.3%、『不満』が12.8%となっている。

“市全体として”は、『満足』が21.2%、『不満』が19.3%となっている。

<<地域別>>

【協働・行財政】

36. 市民同士の連携や
市民と行政の協働

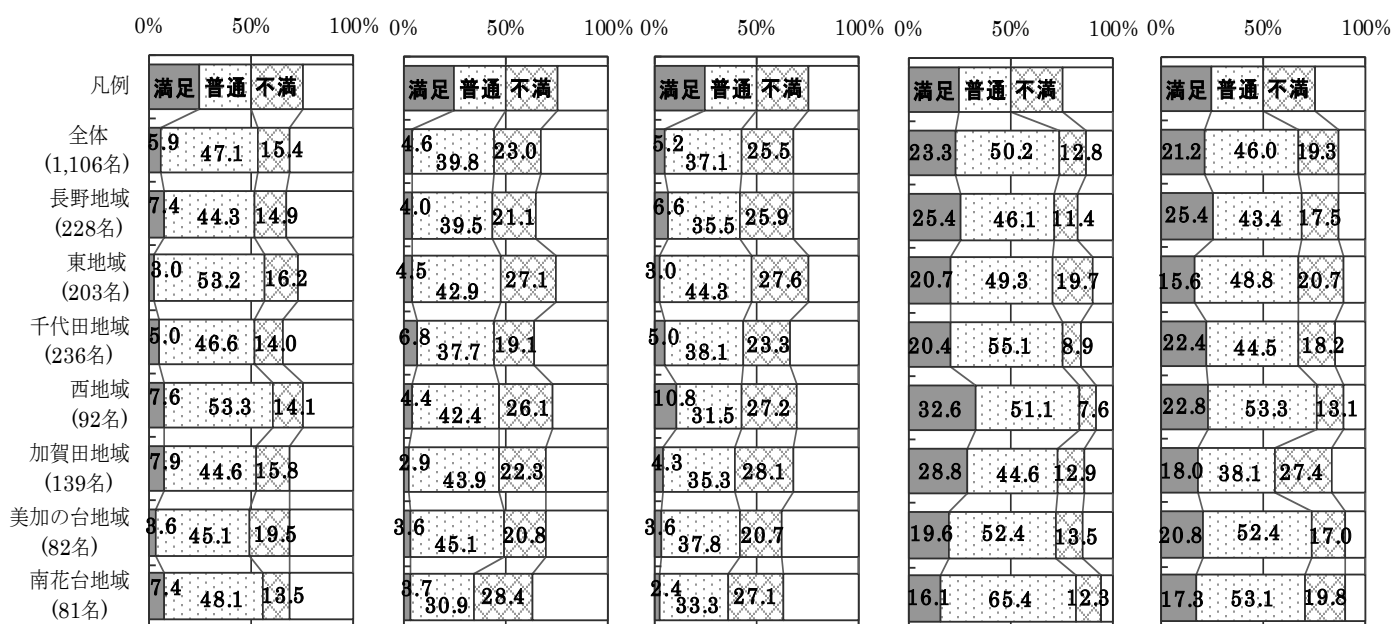
37. 行政改革への
取り組み

38. 適正で透明性の
高い財政運営

【人事】

39. 市職員の窓口や
電話等での対応

40. 市全体として



【協働・行財政】の分野について、地域別にみると、『満足』については、“市民同士の連携や市民と行政の協働”は加賀田地域（7.9%）が、“行政改革への取り組み”は千代田地域（6.8%）、“適正で透明性の高い財政運営”は西地域（10.8%）が、他の地域に比べて多くなっている。

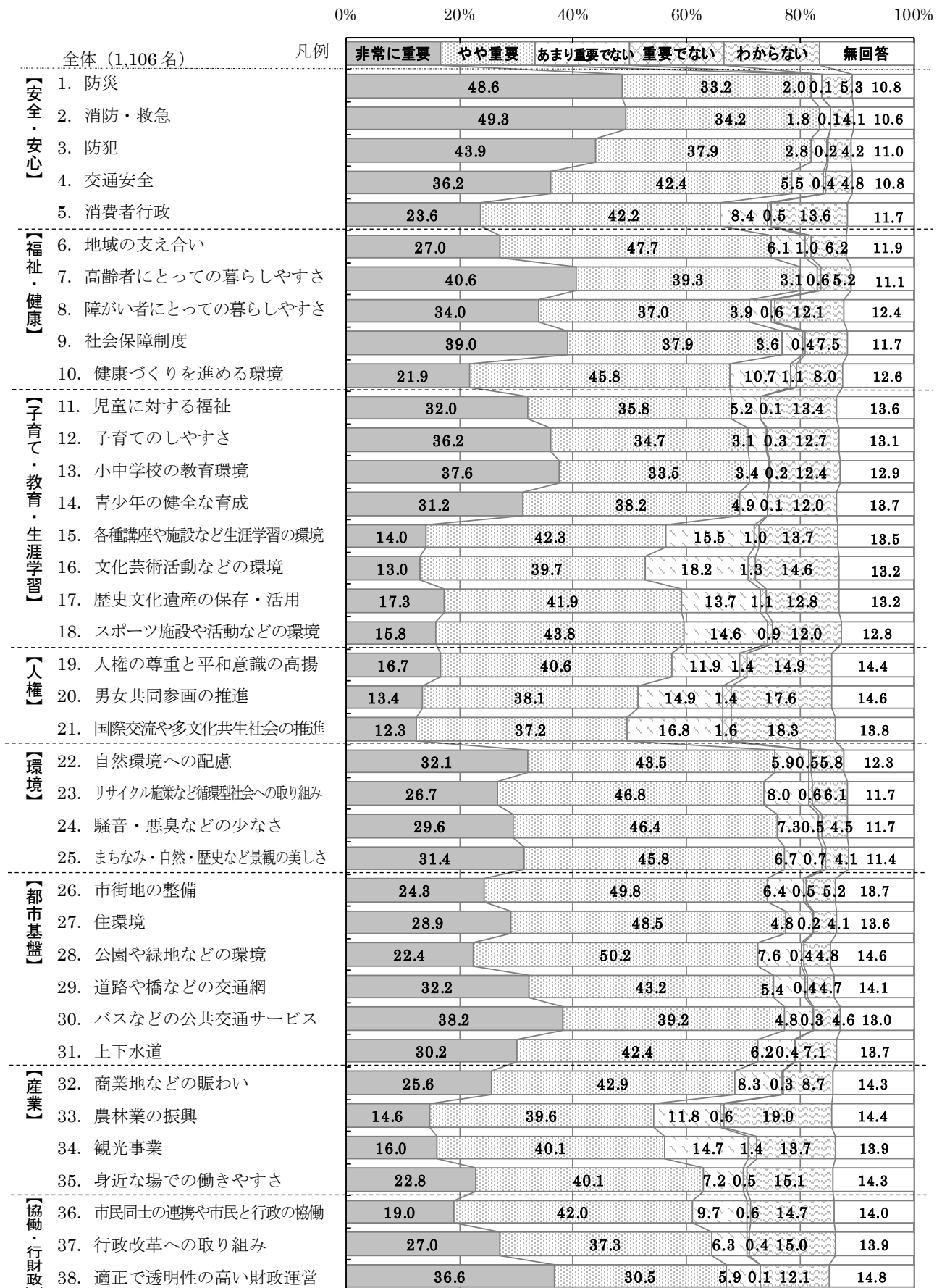
一方、『不満』は、“市民同士の連携や市民と行政の協働”は美加の台地域（19.5%）が、“行政改革への取り組み”は南花台地域（28.4%）、“適正で透明性の高い財政運営”は加賀田地域（28.1%）が多くなっている。

【人事】の分野である“市職員の窓口や電話等での対応”は、『満足』は西地域（32.6%）が、『不満』は東地域（19.7%）が他の地域に比べて多くなっている。

“市全体として”は、『満足』は長野地域（25.4%）が、『不満』は加賀田地域（27.4%）が最も多くなっている。

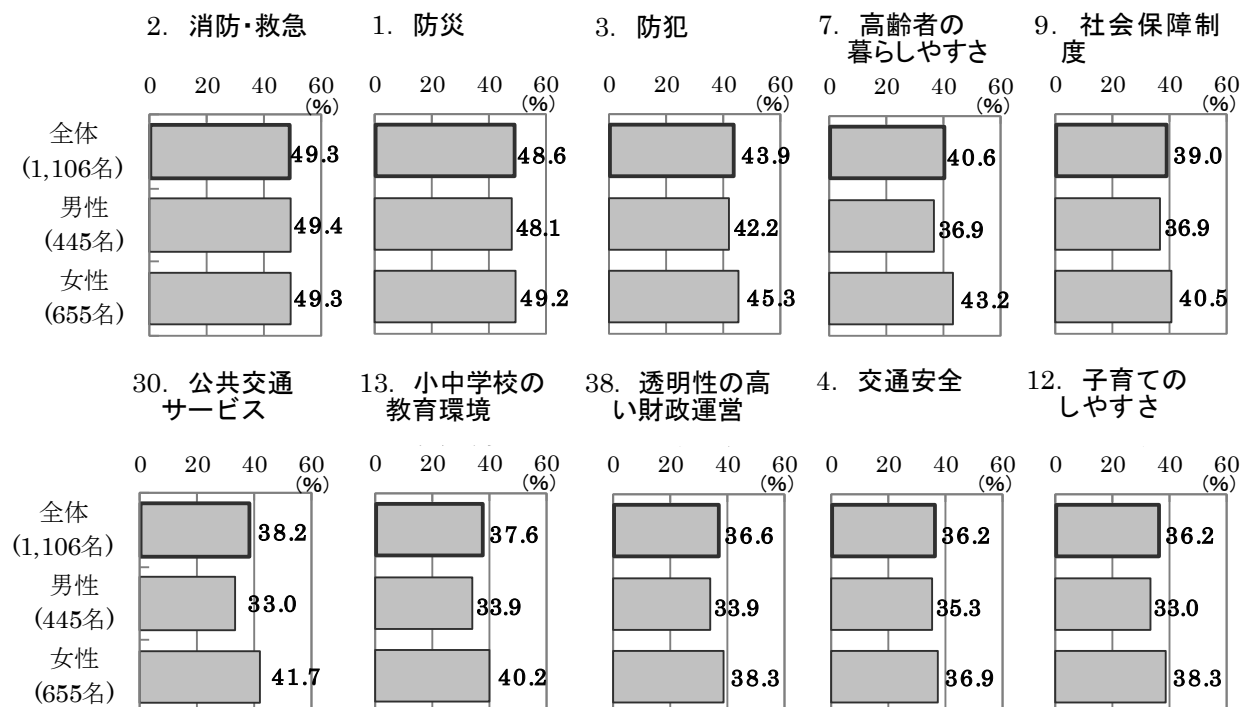
(2) 今後の重要度

問 10 あなたは、現在の河内長野市の生活環境等について、どの程度重要だと思いますか。



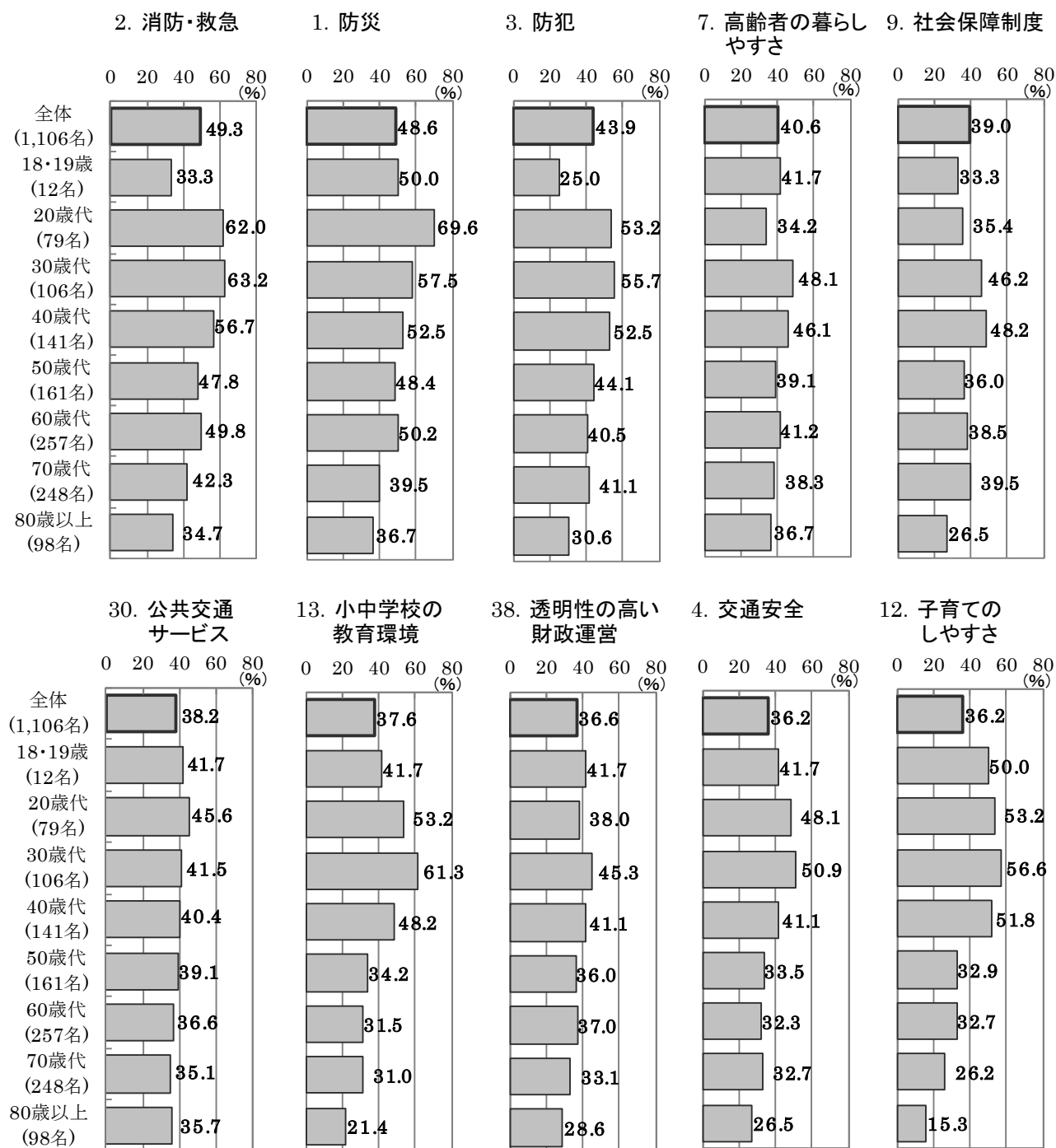
市の政策の重要度については、「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』について、“国際交流や多文化共生社会の推進”（49.5%）を除いて、すべての項目で半数を超えている。特に、“消防・救急”は83.5%、“防災”と“防犯”が81.8%となっている。

【「非常に重要」上位 10 位 性別】



重要度に関する 5 段階評価のうち、「非常に重要」の回答のみを抽出し、上位 10 項目を性別で見ると、“消防・救急”は男性がわずかながら多く、“防災”や“防犯”などは女性が多くなっている。

【「非常に重要」上位 10 位 年齢別】

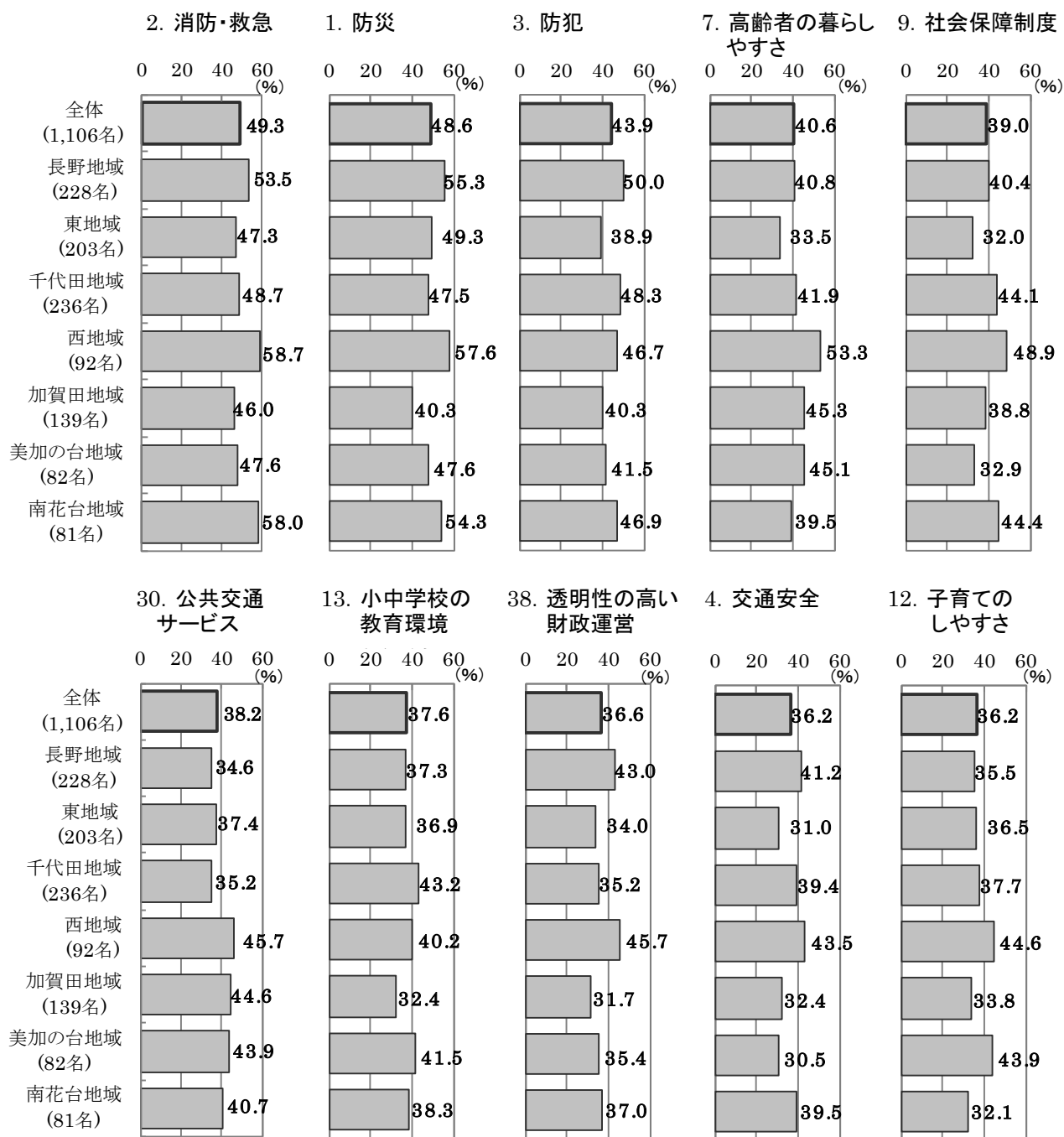


「非常に重要」の上位 10 項目を年齢別でみると、20 歳代と 50 歳代、60 歳代は“防災”がそれぞれ 69.6%、48.4%、50.2%と最も多くなっている。

30 歳代と 40 歳代、70 歳代は“消防・救急”がそれぞれ 63.2%、56.7%、42.3%と最も多くなっている。

80 歳以上は“防災”と“高齢者の暮らしやすさ”がともに 36.7%となっている。

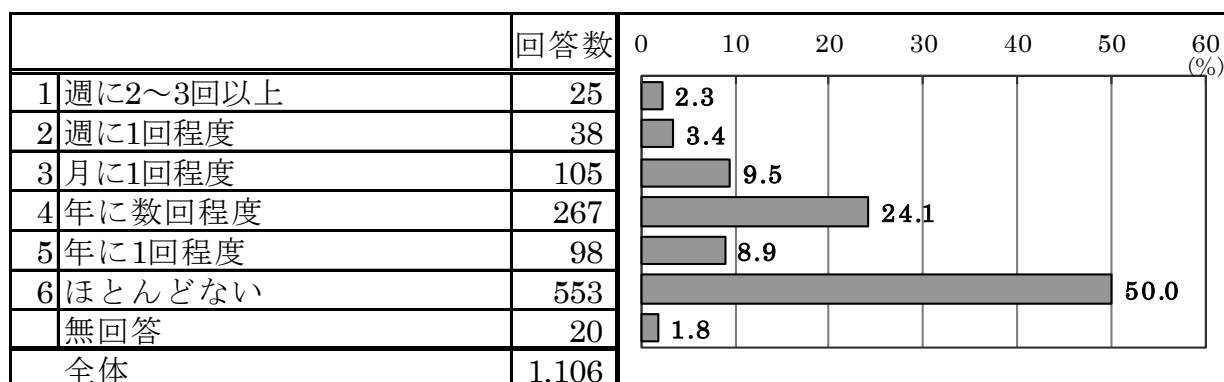
【「非常に重要」上位 10 位 地域別】



「非常に重要」の上位 10 項目を地域別でみると、「消防・救急」が、千代田地域（48.7%）、西地域（58.7%）、加賀田地域（46.0%）、南花台地域（58.0%）で、最も多くなっている。「防災」は、長野地域（55.3%）、東地域（49.3%）で最も多くなっている。また、美加の台地域は「消防・救急」と「防災」がともに 47.6%と最も多くなっている。

(3) 地域のまちづくり活動への参加

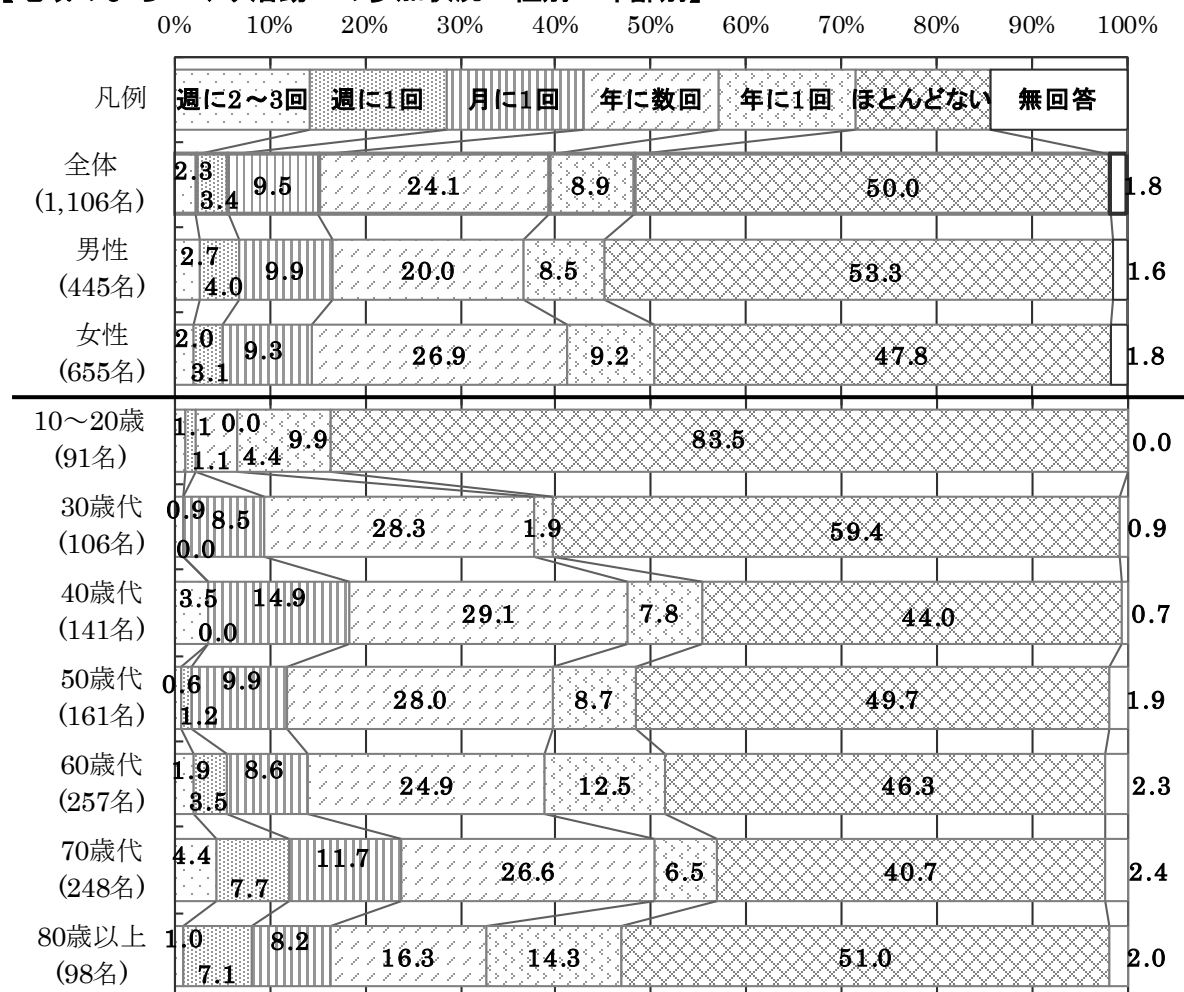
問 11 あなたはこの1年で、地域のまちづくり活動にどの程度参加されましたか。



地域のまちづくり活動への参加は、「ほとんどない」が 50.0%と最も多く、次いで「年に数回程度」が 24.1%、「月に1回程度」が 9.5%となっている。

「週に2～3回以上」と「週に1回程度」と「月に1回程度」を合わせた『月1回以上』は、15.2%となっている。

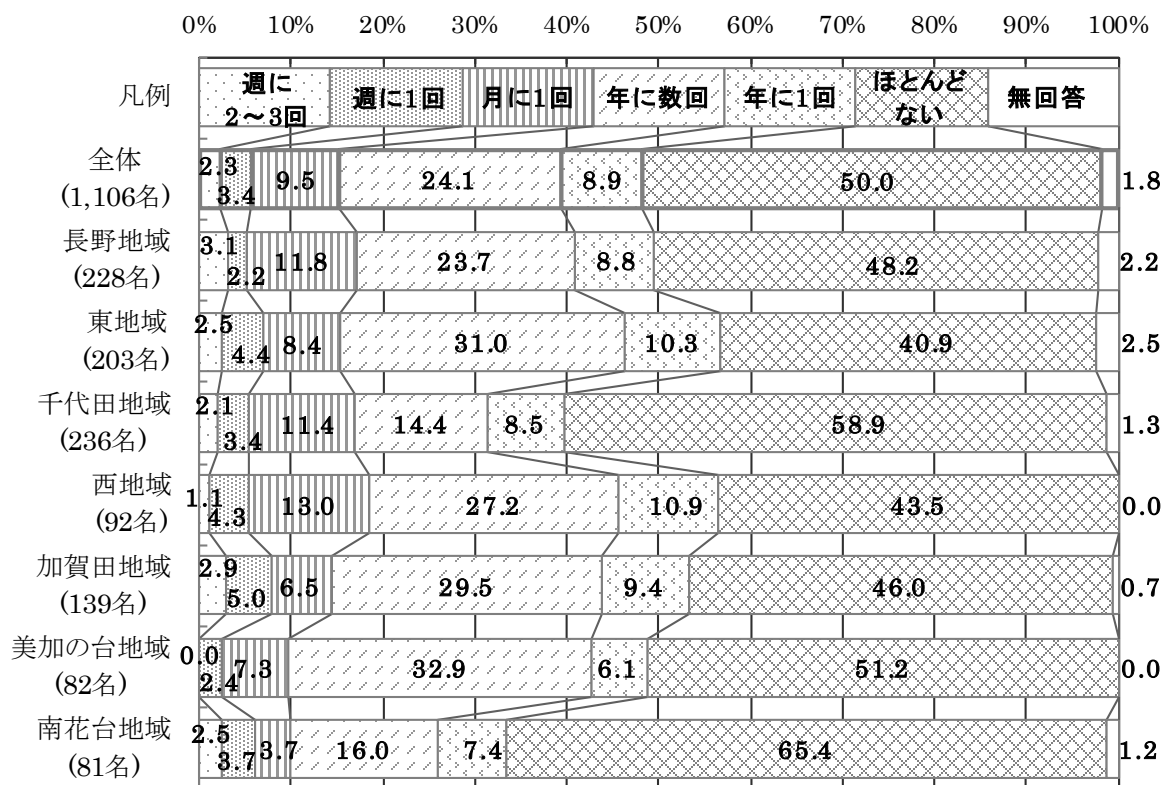
【地域のまちづくり活動への参加状況 性別・年齢別】



性別にみると、男性は「ほとんどない」が 53.3%と半数を超えており、女性は 47.8%となっている。また、『月1回以上』は、男性が 16.6%であり、女性は 14.4%となっている。

年齢別にみると、「ほとんどない」は10～20歳代が83.5%と最も多く、次いで30歳代が59.4%、80歳以上が51.0%となっている。また、『月1回以上』は、70歳代が23.8%と最も多く、次いで40歳代が18.4%、80歳以上が16.3%となっている。

【地域のまちづくり活動への参加状況 地域別】



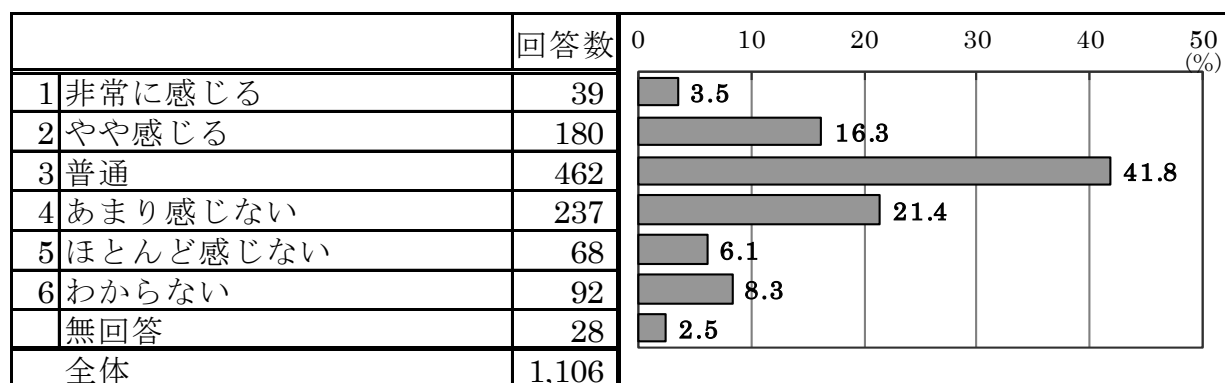
地域別にみると、「ほとんどない」は、南花台地域が65.4%と最も多く、千代田地域が58.9%、美加の台地域が51.2%となっている。

また、『月1回以上』は、西地域が18.4%、長野地域が17.1%、千代田地域が16.9%、東地域が15.3%、加賀田地域が14.4%、南花台地域が9.9%、美加の台地域が9.7%となっている。

(4)「地域のまちづくり活動が充実していると感じる」ことについて

問 12 あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。

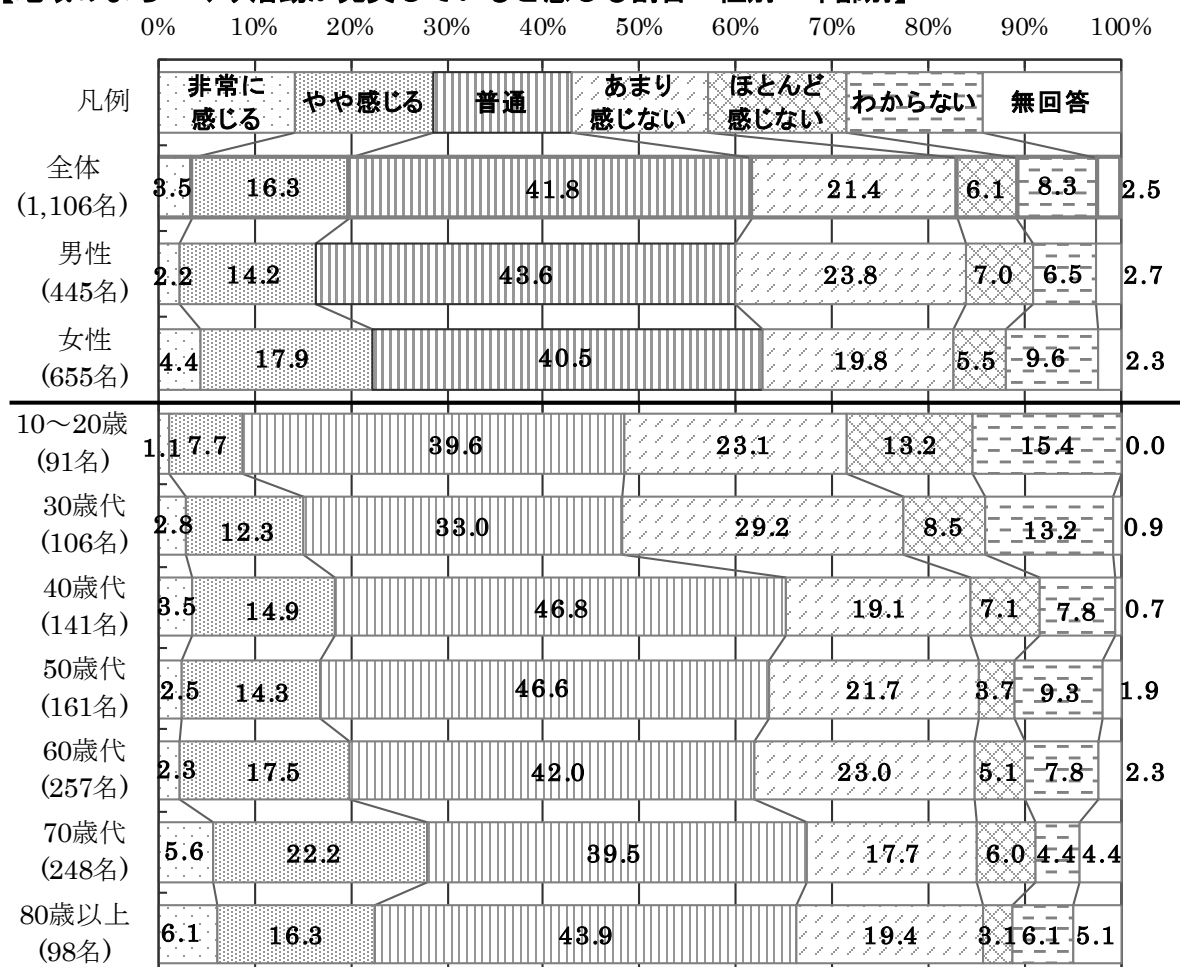
「1. 地域のまちづくり活動が充実していると感じている」



“地域のまちづくり活動が充実していると感じている”ことについては、「普通」が 41.8%と最も多く、次いで「あまり感じない」が 21.4%、「やや感じる」が 16.3%となっている。

「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じている』は、19.8%となっている。

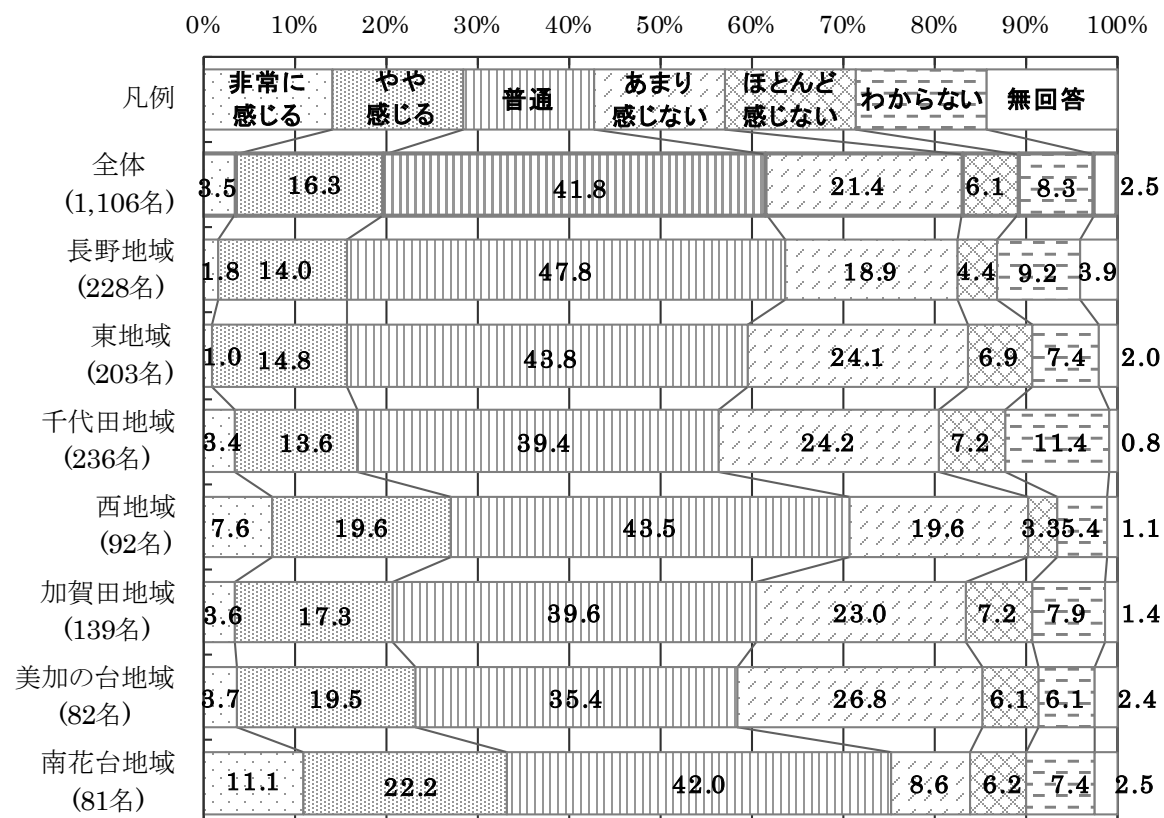
【地域のまちづくり活動が充実していると感じる割合 性別・年齢別】



性別にみると、『感じている』は、男性が 16.4%、女性が 22.3%となっている。

年齢別にみると、『感じている』は、70歳代が 27.8%と多く、次いで 80歳以上が 22.4%、60歳代が 19.8%となっている。

【地域のまちづくり活動が充実していると感じる割合 地域別】

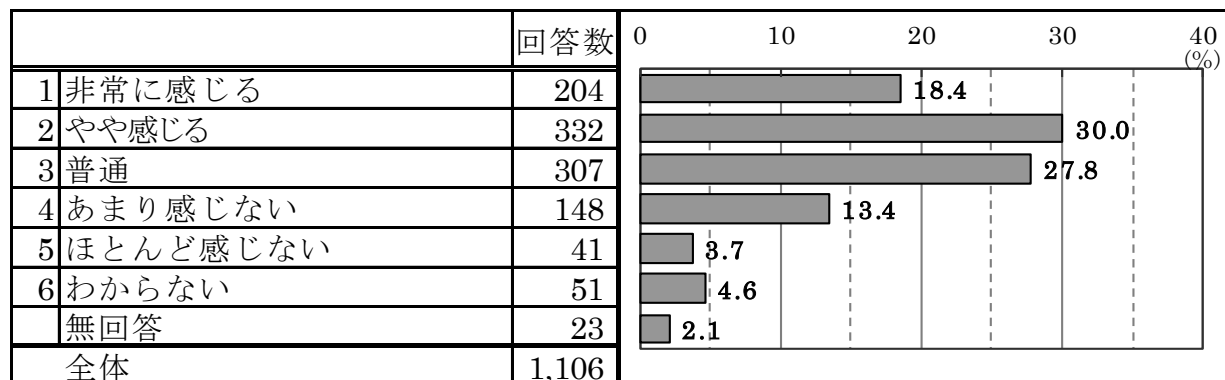


地域別にみると、『感じている』は、南花台地域が 33.3%と多く、次いで西地域が 27.2%、美加の台地域が 23.2%となっている。

(5)「河内長野市に住み続けたい」ことについて

問 12 あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。

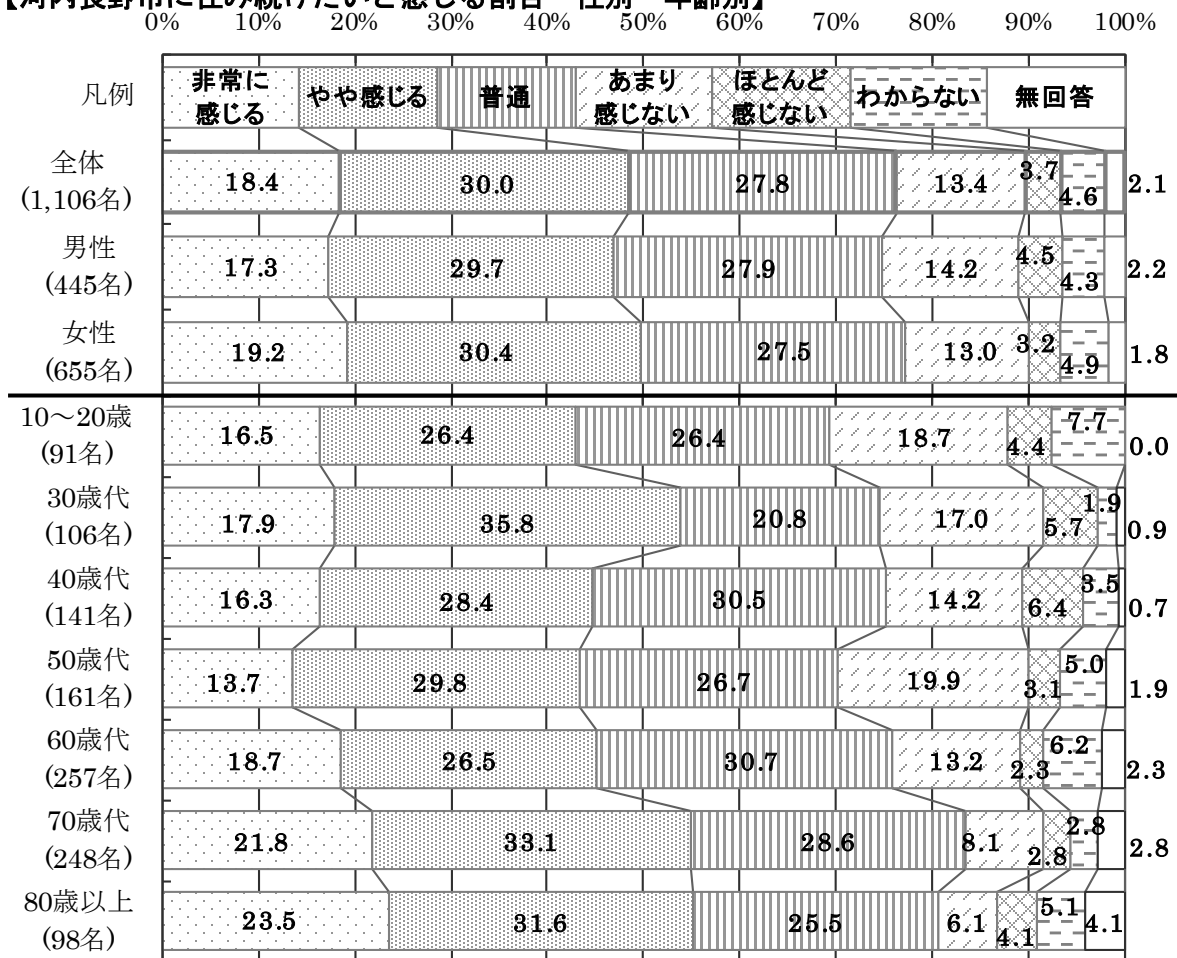
「2. 河内長野市に住み続けたいと感じている」



“河内長野市に住み続けたいと感じている” ことについては、「やや感じる」が 30.0%と最も多く、次いで「普通」が 27.8%、「非常に感じる」が 18.4%となっている。

「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じている』は、48.4%となっている。

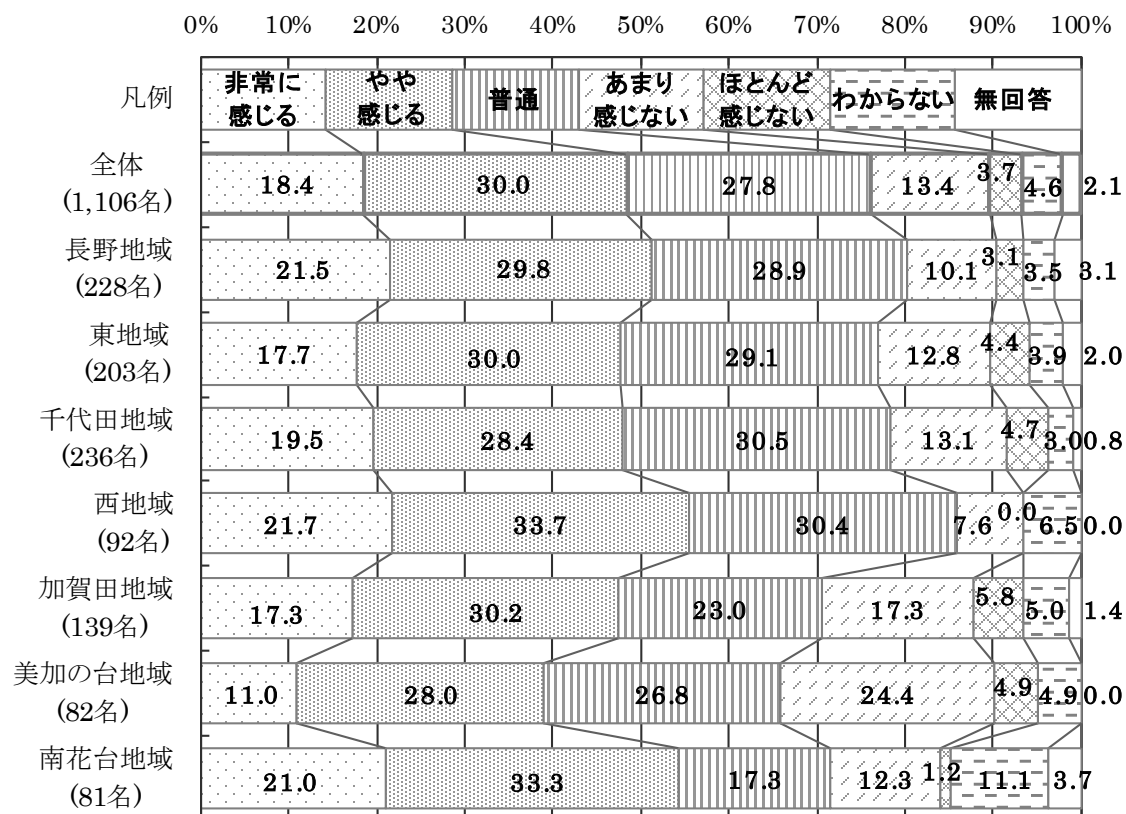
【河内長野市に住み続けたいと感じる割合 性別・年齢別】



性別にみると、『感じている』は、男性が 47.0%、女性が 49.6%となっている。

年齢別にみると、『感じている』は、80歳以上が 55.1%と多く、次いで 70歳代が 54.9%、30歳代が 53.7%となっている。

【河内長野市に住み続けたいと感じる割合 地域別】

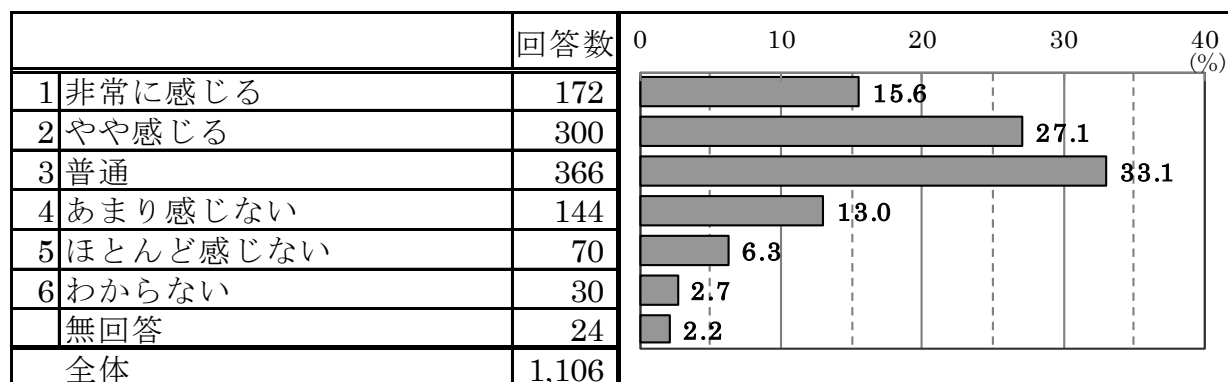


地域別にみると、『感じている』は、西地域が 55.4%と多く、次いで南花台地域が 54.3%、長野地域が 51.3%となっている。

(6)「河内長野市に愛着と誇りを感じている」ことについて

問 12 あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。

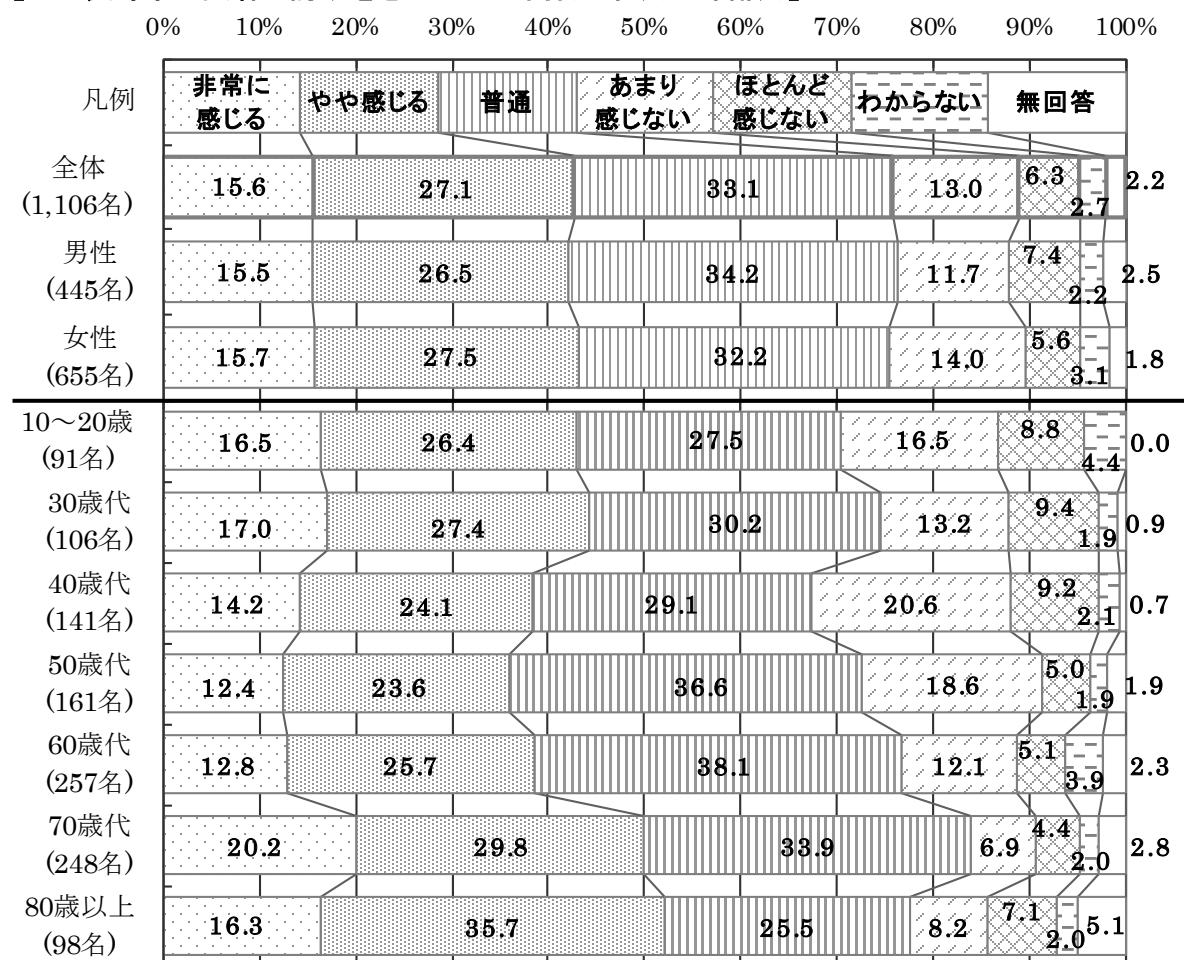
「3. 河内長野市に愛着と誇りを感じている」



“河内長野市に愛着と誇りを感じている”ことについては、「普通」が 33.1%と最も多く、次いで「やや感じる」が 27.1%、「非常に感じる」が 15.6%となっている。

「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じている』は、42.7%となっている。

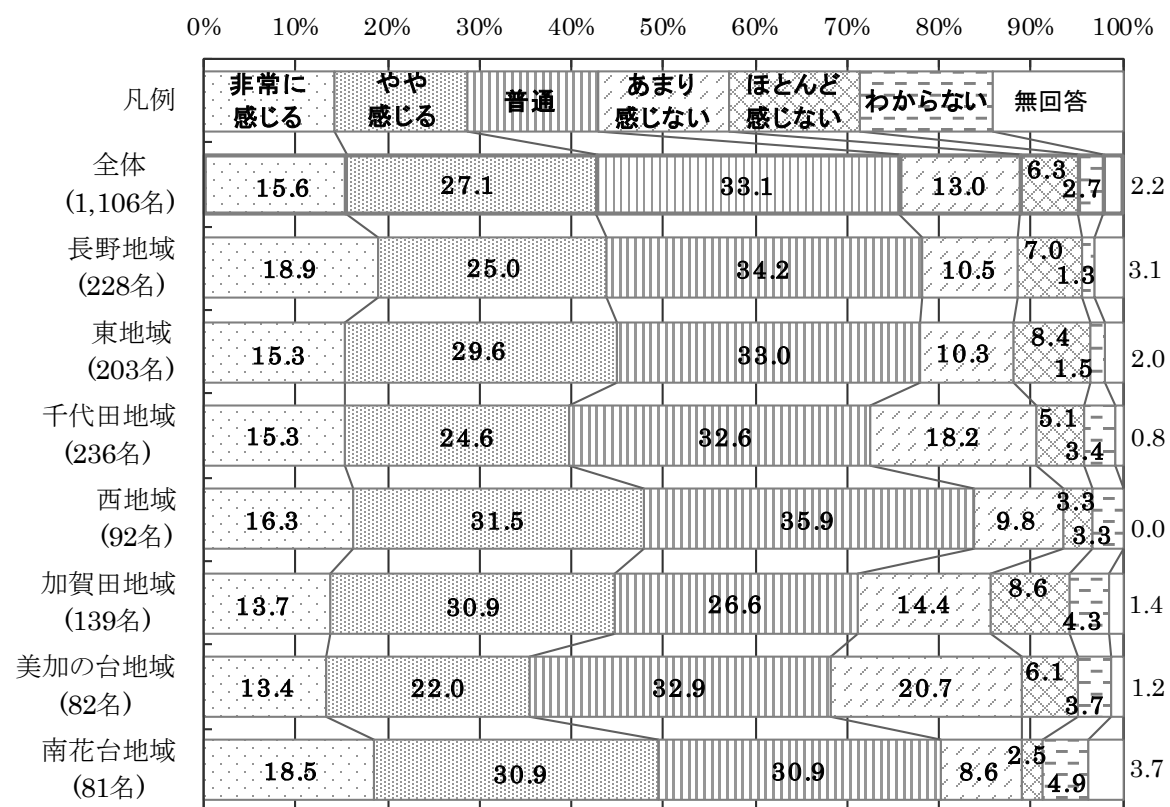
【河内長野市に愛着と誇りを感じている割合 性別・年齢別】



性別にみると、『感じている』は、男性が 42.0%、女性が 43.2%となっている。

年齢別にみると、『感じている』は、80歳以上が 52.0%と多く、次いで 70歳代が 50.0%、30歳代が 44.4%となっている。

【河内長野市に愛着と誇りを感じている割合 地域別】



地域別にみると、『感じる』は、南花台地域が 49.4%と多く、次いで西地域が 47.8%、東地域が 44.9%となっている。

IV. まとめ

1. 子育てしやすいまちづくりについて

<関心のある、気になっている「子育て」に関する問題や課題>

『子育て』に関して、関心のある・気になっている問題や課題は、61.7%が「不登校・いじめ問題」であり、56.3%が「児童虐待」、37.4%が「子どもの貧困」をあげている。

<地域で子育て世帯を支えることの重要性>

子育て世帯を地域で支えることは、「とても重要だと思う」「やや重要だと思う」とを合わせた『重要だと思う』は 81.6%となっている。

<地域が子育て世帯を支えるために重要だと思うこと>

子育て世帯を地域が支えるために重要なことは、68.9%が「防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」、56.8%が「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」、46.4%が「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」をあげている。

<子育て世帯を支えるために参加・協力できること>

子育て世帯を地域で支えるために、参加・協力できる活動としては、19.0%が「防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」、15.0%が「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」、11.0%が「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」をあげている。なお、無回答が 59.3%となっている。

<地域が子育て世帯を支えるために最も重要だと思うこと>

子育て世帯を地域で支えるために最も重要だと思うことは、20.0%が「防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」をあげており、17.8%が「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」、7.6%が「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」をあげている。

<子ども連れの家族へのサポート>

子ども連れの家族に対してサポートしたことがあるのは、73.3%が「エレベーターなどのドアを開けて押さえたことがある」をあげており、54.6%が「子どもが落としたおもちゃや靴などを拾ったことがある」、45.5%が「電車やバスなどで子ども連れの方に席を譲ったことがある」をあげている。

<「あいっく」の事業の認知度>

『あいっく』の事業で知っていることは、30.4%が「わくわく広場」をあげており、14.0%が「育児相談」、12.9%が「子育てサークル支援」をあげている。なお、無回答が 61.5%となっているが、30 歳代の認知度は 67.0%、40 歳代の認知度は 55.3%であり、子育て世代の認知度は高くなっている。

＜「あいっく」の事業の利用経験＞

利用したことがある『あいっく』の事業は、わずかであり、9.1%が「わくわく広場」をあげており、次いで「こんにちは赤ちゃん訪問」が3.5%、『キラキラねっと』『キラキラめーる』の配信が3.3%となっている。なお、無回答が87.3%となっている。

＜市による子育て支援の取り組みを充実する必要性＞

河内長野市で子育て支援の取り組みを充実していくことについては、「必要だと思う」が48.8%と最も多く、次いで「大いに必要だと思う」が38.3%、「わからない」が8.2%となっており、「大いに必要だと思う」と「必要だと思う」を合わせた『必要である』は87.1%となっている。

＜若い世代や子育て世帯を増加させるために必要と思うこと＞

若い世代の人や子育て世帯を増加させるために必要と思うこと（複数回答）は、「経済的な負担を軽減すること」が56.5%と最も多く、次いで「医療機関を充実すること」が53.4%、「子育て支援制度を充実すること」が53.0%となっている。

＜子育てしやすいまちになるために必要だと思うこと＞

『子育てしやすいまちになるために必要だと思うこと』を自由に記述してもらったところ、保育所や幼稚園の充実や子育て支援制度などの【子育て支援施策】に関すること、安心して遊べる公園・遊び場等の充実や公共交通機関の充実などの【安全・安心の取り組み】、減免や子ども医療費の18歳までの無料化など【経済的な支援】などがあげられている。

2. 市政全般について

市の生活環境の満足度は、「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」や「騒音・悪臭などの少なさ」などの【環境】分野、「消防・救急」などの【安全・安心】分野、「市職員の窓口や電話等での対応」の【人事】分野では高くなっている。また、【産業】や【協働・行財政】などの分野では満足度は低い傾向となっている。

一方、市の政策としての重要度は、「消防・救急」「防災」「防犯」「交通安全」といった【安全・安心】の分野が最も高く、他にも「高齢者にとっての暮らしやすさ」「社会保障制度」「障がい者にとっての暮らしやすさ」などの【福祉・健康】分野や、「小中学校の教育環境」「子育てのしやすさ」「青少年の健全な育成」「児童に対する福祉」などの【子育て・教育】分野が高くなっている。

地域のまちづくり活動への参加状況は、24.1%が「年に数回程度」参加しており、「週に2～3回以上」と「週に1回程度」「月に1回程度」を合わせた15.2%が『月1回以上』となっている。なお、「ほとんどない」が50.0%となっている。

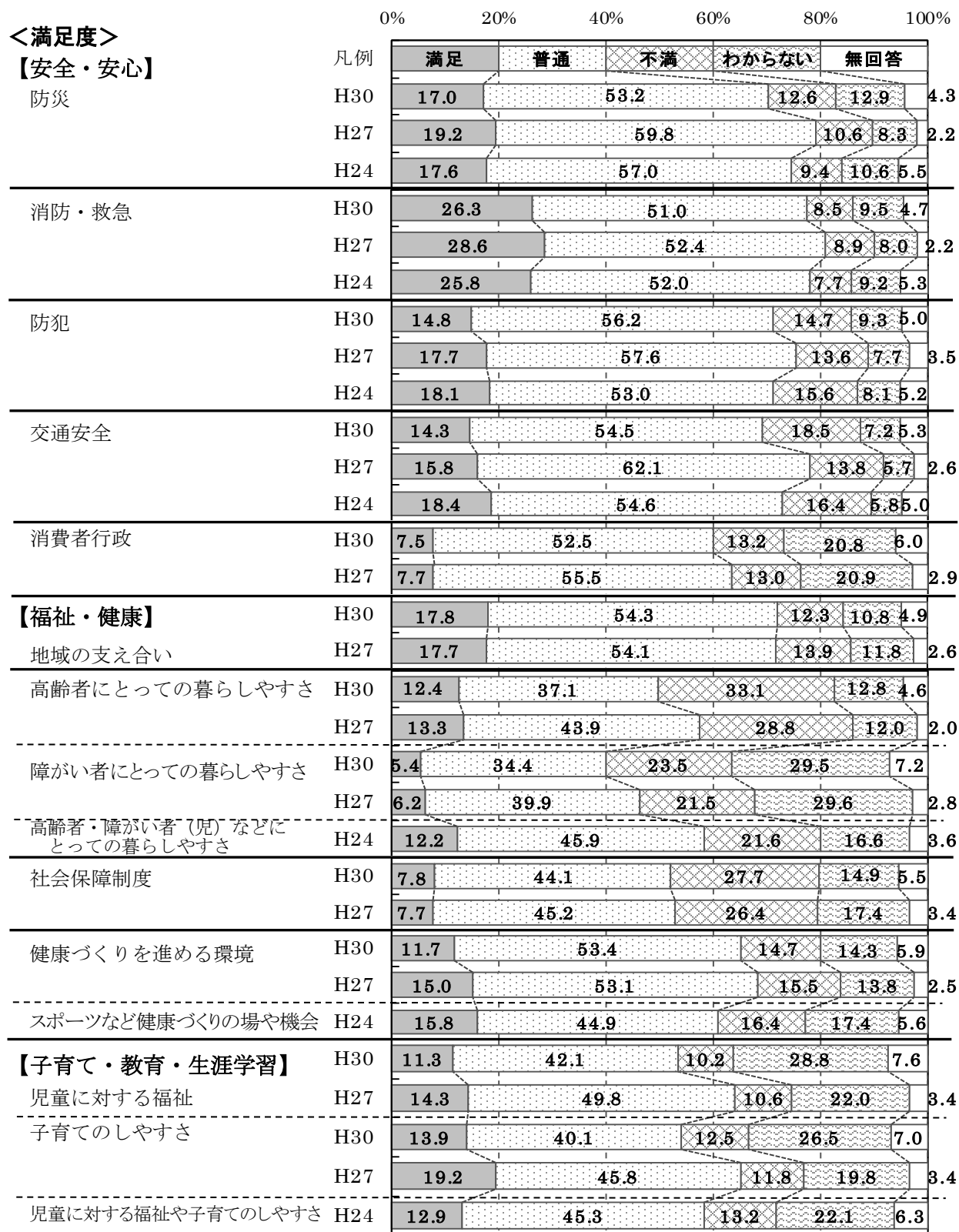
「地域のまちづくり活動が充実していると感じている」は19.8%であり、年齢別にみると、70歳代が27.8%と多くなっている。地域別にみると、南花台地域が33.3%と最も多く、次いで西地域が27.2%となっている。

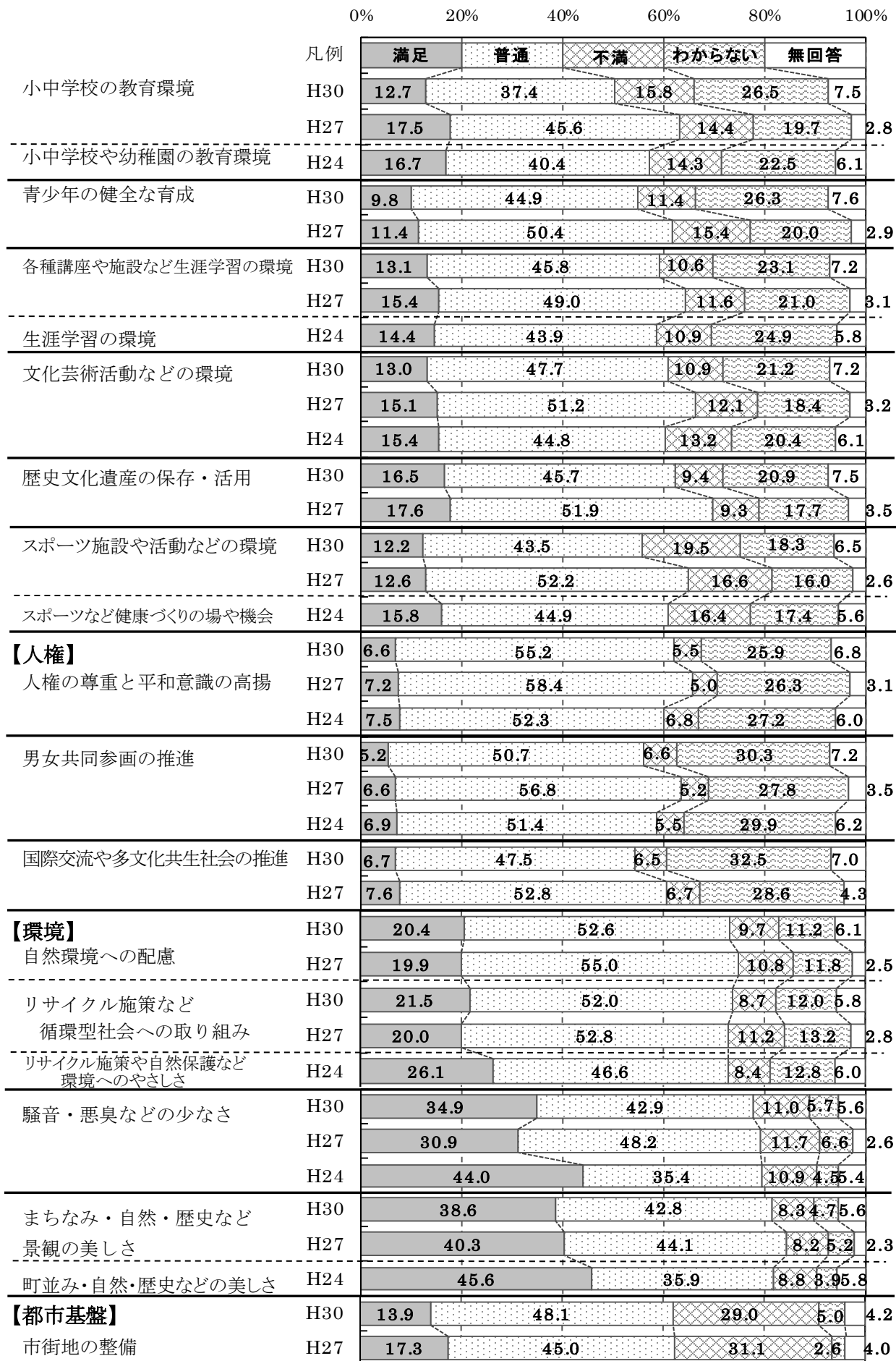
「河内長野市に住み続けたいと感じている」は、48.4%と半数近くとなっており、年齢別にみると、80歳以上が55.1%と最も多く、70歳代が54.9%、30歳代が53.7%と半数を超えている。地域別にみると、西地域が55.4%と最も多く、南花台地域が54.3%、長野地域が51.3%と半数を超えている。

「河内長野市に愛着と誇りを感じている」は、42.7%であり、年齢別にみると、80歳以上が52.0%、70歳代が50.0%と半数を超えている。地域別にみると、南花台地域が49.4%と最も多く、西地域が47.8%、東地域が44.9%となっている。

3. 経年比較

河内長野市の生活環境の満足度・重要度を問う設問は、平成 27 年度の調査から内容を変更しているため、過去調査とは質問項目が異なる。

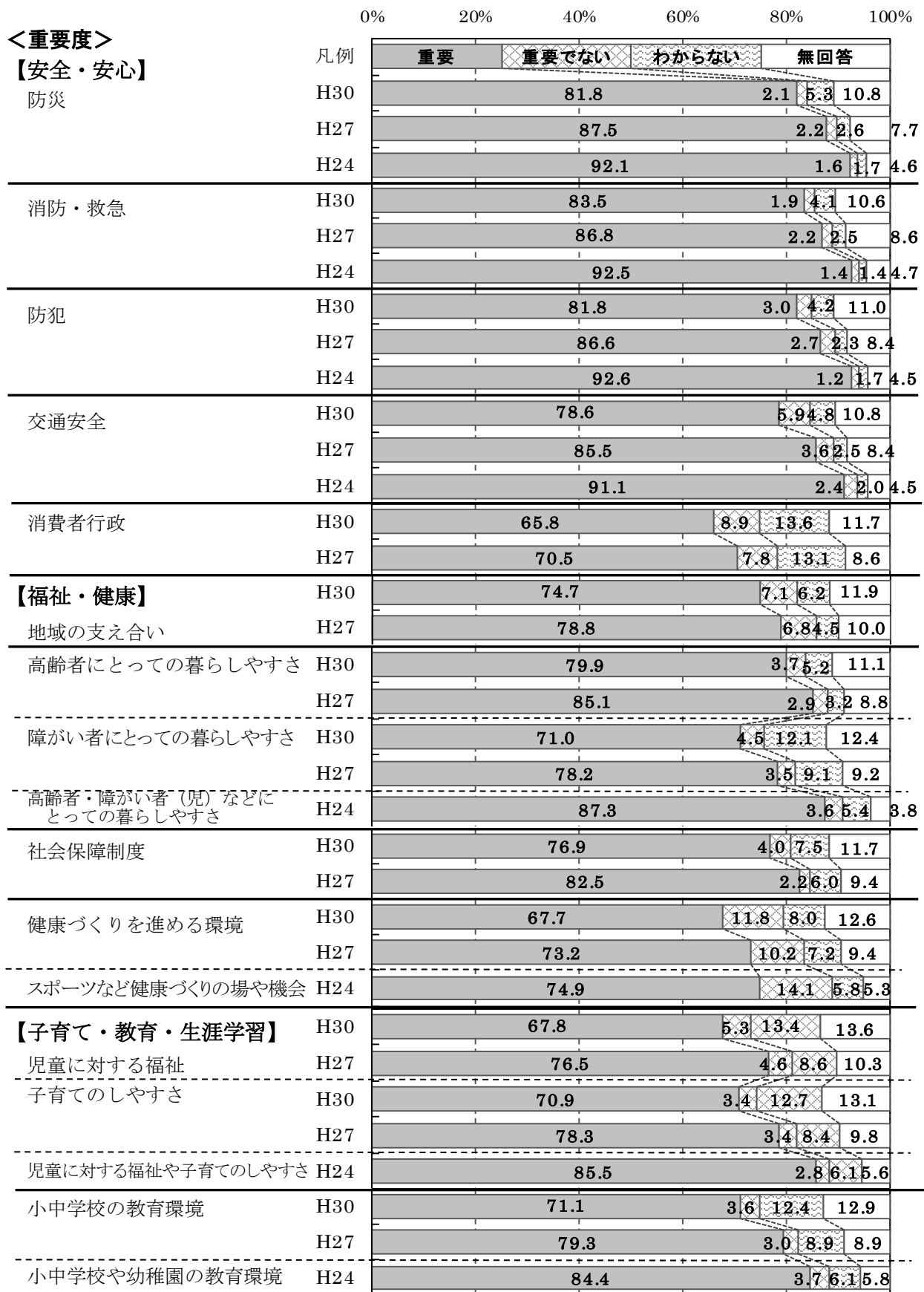


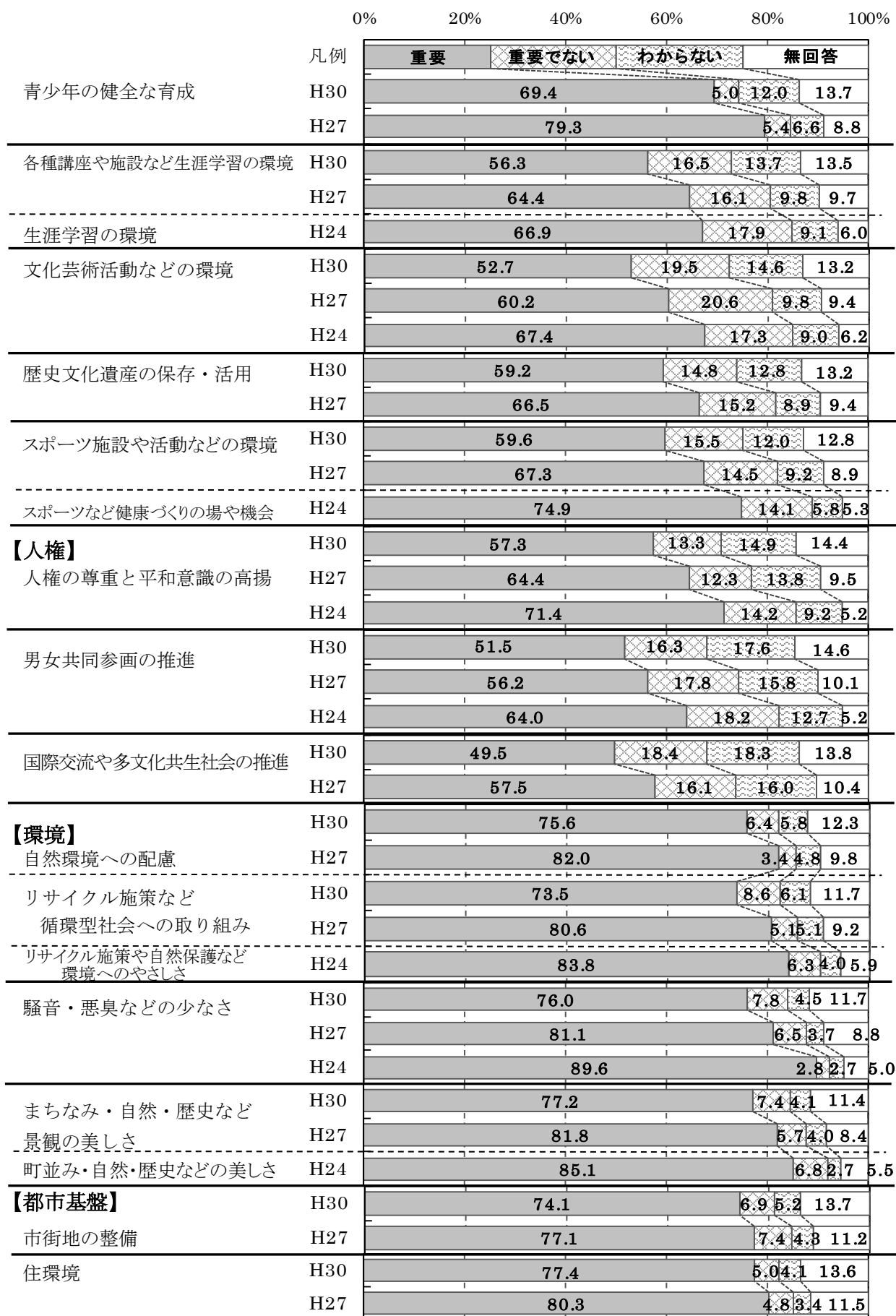


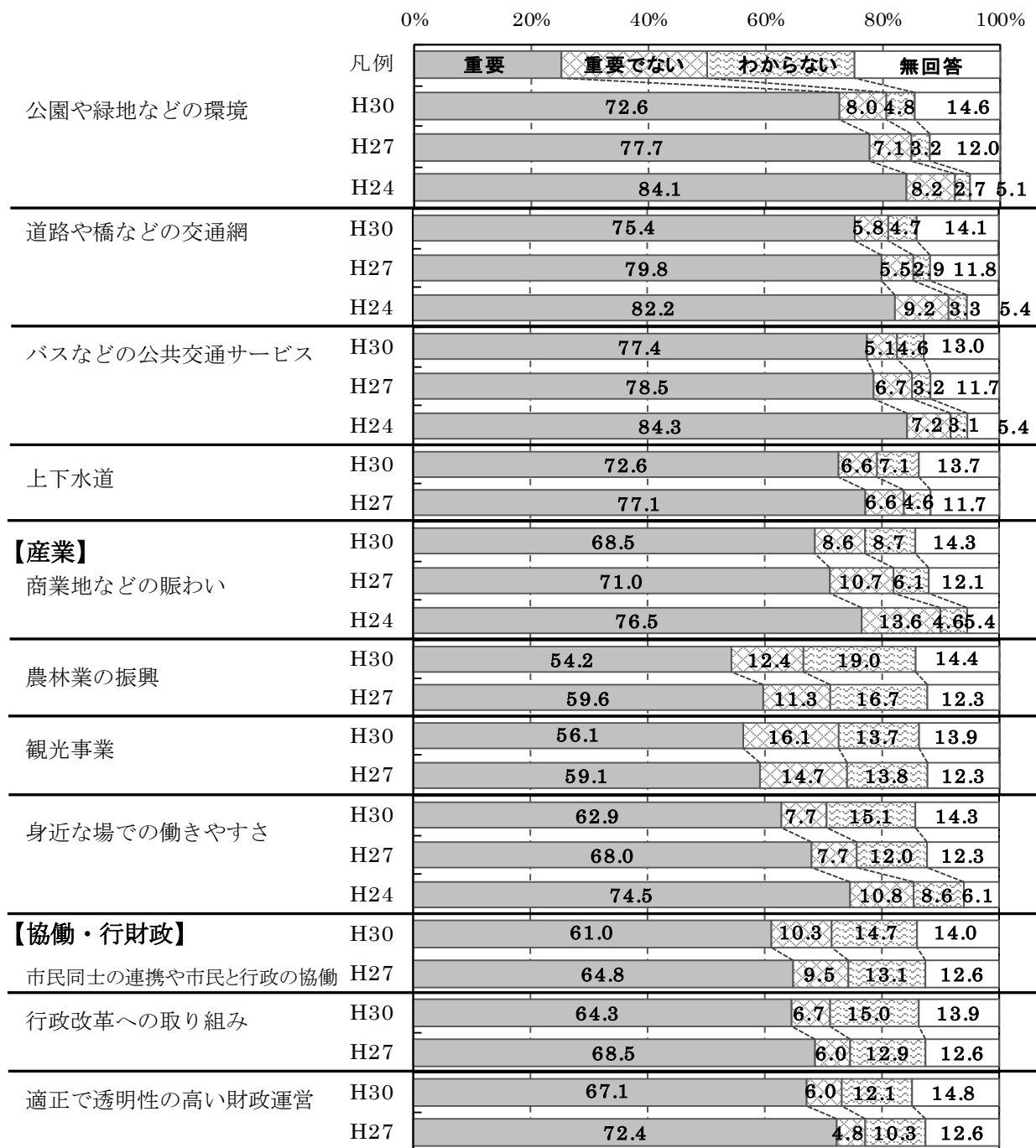


比較可能な項目について、満足度について経年比較すると、【環境】【産業】の分野は、3年前に比べてわずかながら「満足」が増えている。一方、【福祉・健康】の分野、“高齢者にとっての暮らしやすさ”は「不満」が増えている。

【市全体として】は「満足」が増えている。







重要度について経年比較すると、総じて3年前と比べて、わずかであるが「わからない」や「重要でない」が増え、「重要」が減っている。

V. 資料（調査票）

あなたの声を市政に

第 45 回 河内長野市民意識調査

市政アンケート調査のお願い

市民のみなさんには、日頃から市政に対し、何かご理解とご協力をたまわりありがとうございます。

さて、今年も「市民の声」を市政に反映するため、18 歳以上の市民のみなさんの中から 2,000 人の方々を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

本市における今後の施策及びテーマについて、市民のみなさんの率直なご意見をお聴きすることで、各施策をすすめるうえでの今後の参考資料にしたいと考えております。

アンケートの回答については、すべて統計的に処理し、報告書として市のホームページ、情報センターや図書館で閲覧していただくことができます。（報告書の公開は来年 2 月頃の予定です。）また、この調査の目的以外には使用いたしません。

ご多忙の折とは存じますが、**8 月 27 日（月）**までにご回答くださるよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

※市政モニターを募集していますので、別紙もご覧ください。

平成 30 年 8 月

河内長野市長



ご記入にあたってのお願い

- このアンケート調査は、平成 30 年 6 月 30 日現在の住民基本台帳から無作為に抽出した個人を対象としていますので、本人による記入が困難な場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。
- 回答は問 1 から順に、質問ごとに用意してある答えの中から、あなたのお考えにあてはまる番号、または項目に○をつけてください。また「その他」に○をつけた場合は、（...）内に具体的にご記入ください。
- 記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、**名前を書かず**に郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。（市政モニターに申し込みをされる方は、別紙用紙も同封してください。）
- このアンケート調査についてのお問い合わせなどがありましたら、下記までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

河内長野市役所 （代表電話番号）0721-53-1111

・テーマ「子育てしやすいまちづくり」

設問 13～24 子ども・子育て総合センター 0721-50-4664

上記以外の設問 総合政策部 広報広聴課（内線 578）

1. あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別についてお答えください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢についてお答えください。(Qは1つ)

1. 18・19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳
4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳
7. 45～49歳 8. 50～54歳 9. 55～59歳
10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70～74歳
13. 75～79歳 14. 80～84歳 15. 85歳以上

問3 あなたの家族構成についてお答えください。(Qは1つ)

1. 単身（ひとり暮らし） 2. 夫婦のみ世帯
3. 親子2世代世帯 4. 親子孫3世代世帯
5. その他（具体的に：.....）

問4 あなたのご家族（同居・別居ともに）に、次の方はおられますか。(Qはいくつでも)

1. 0歳～未就学児 2. 小学生 3. 中学生
4. 高校生 5. 18歳未満の子どもはいない

問5 あなたは、現在、結婚されていますか。(Qは1つ)

1. はい（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含む）
2. いいえ

問6 あなたのご職業についてお答えください。(Qは1つ)

1. 勤め人（常勤） 2. 勤め人（非常勤・パートタイム・アルバイトなど）
3. 商工・サービス業などの自営業・自由業 4. 農林漁業
5. 家事専従 6. 学生
7. その他（具体的に：.....）
8. 無職

問7 あなたが河内長野市にお住まいになって通算で何年になりますか。(Qは1つ)

1. 5年未満 2. 5～10年未満
3. 10～20年未満 4. 20～30年未満
5. 30～50年未満 6. 50年以上

問8 現在地にお住まいになれる前は、どちらにお住まいでしたか。(Qは1つ)

1. 生まれてからずっと現在地に住んでいる
2. 現在地以外の河内長野市
3. 河内長野市以外の南河内地域（富田林市・大阪狭山市・羽曳野市・藤井寺市・松原市・河内町・太子町・千早赤阪村）
4. 堺市
5. 大阪市
6. その他の大阪府（具体的に：.....）
7. 大阪府以外の都道府県または海外（具体的な都道府県名・国名：.....）

問9 住んでおられる地区は、次のどれに該当しますか。記入例を参考に地区名を1つ選び、右側の囲み内のあてはまる町名に○をつけてください。

〔記入例〕

地区名	町名
⑨ 千代田地区	市町、木戸町、 木戸東町 、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町
地区名	町名
1 天野地区	天野町、下里町、緑ヶ丘北・中・南町
2 天見地区	天見、岩瀬、清水、流谷
3 小田地区	小田町、莊園町、千代田台町
4 加賀田地区	大矢船北・中・南・西町、加賀田、唐久谷、南ヶ丘
5 石仏地区	石仏、北・南青葉台
6 川上地区	石見川、太井、神ガ丘、河合寺、清見台1～5丁目、小深、寺元、鳴原、大師町、日東町
7 楠地区	あかしあ台1・2丁目、北・南葛望ヶ丘、楠ヶ丘、楠町東・西、自由ヶ丘、松ヶ丘東・中・西町、木戸西町1～3丁目
8 高向地区	旭ヶ丘、滝畑、高向、日野
9 千代田地区	市町、木戸町、木戸東町、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町
10 長野地区	上原町、上原西町、箱水町、寿町、栄町、昭栄町、末広町、長野町、錦町、西代町、西之山町、野作町、原町、原町1～6丁目、古野町、本多町、本町
11 南花台地区	南花台1～8丁目
12 美加の台地区	美加の台1～7丁目
13 三田市地区	上田町、小塩町、中・西・東片瀬町、喜多町、楠ヶ丘、三田市町

II. 市政全般に関連した内容についておたずねします。

問 10 あなたは、現在の河内長野市の生活環境等についてどの程度満足されていますか。また、どの程度重要だと思いますか。次の項目についてあなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。(○は①②③それぞれ1つ)

	① 現在の満足度				② 今後の重要度			
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	非常に重要	やや重要	あまり重要でない
安全・安心	1. 防災	1	2	3	4	5	6	1
	2. 消防・救急	1	2	3	4	5	6	1
	3. 防犯	1	2	3	4	5	6	1
	4. 交通安全	1	2	3	4	5	6	1
	5. 消費者行政	1	2	3	4	5	6	1
	6. 地域の支え合い	1	2	3	4	5	6	1
福祉・健康	7. 高齢者にとつての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6	1
	8. 障がい者にとつての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6	1
	9. 社会保障制度*	1	2	3	4	5	6	1
	10. 健康づくりを進める環境	1	2	3	4	5	6	1
子育て、教育・生涯学習	11. 児童に対する福祉	1	2	3	4	5	6	1
	12. 子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	6	1
	13. 小中学校の教育環境	1	2	3	4	5	6	1
	14. 青少年の健全な育成	1	2	3	4	5	6	1
	15. 各種講座や施設など生涯学習の環境	1	2	3	4	5	6	1
	16. 文化芸術活動などの環境	1	2	3	4	5	6	1
人権	17. 歴史文化遺産の保存・活用	1	2	3	4	5	6	1
	18. スポーツ施設や活動などの環境	1	2	3	4	5	6	1
	19. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	6	1
	20. 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	6	1
	21. 国際交流や多文化共生社会*の推進	1	2	3	4	5	6	1
	22. 自然環境への配慮	1	2	3	4	5	6	1
環境	23. リサイクル資源など循環型社会への取り組み	1	2	3	4	5	6	1
	24. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5	6	1
	25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	1	2	3	4	5	6	1

※社会保障制度：国民健康保険や国民年金などの社会保障や、生活保護制度等の公的扶助など、国民の生存権を確保することを目的とする制度のこと
 ※多文化共生社会：国籍や民族の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていくことができる社会のこと。

	① 現在の満足度				② 今後の重要度			
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	非常に重要	やや重要	あまり重要でない
都市基盤	26. 市街地の整備	1	2	3	4	5	6	1
	27. 住環境	1	2	3	4	5	6	1
	28. 公園や緑地などの環境	1	2	3	4	5	6	1
	29. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5	6	1
	30. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5	6	1
	31. 上下水道	1	2	3	4	5	6	1
産業	32. 商業地などの賑わい	1	2	3	4	5	6	1
	33. 農林業の振興	1	2	3	4	5	6	1
	34. 観光事業	1	2	3	4	5	6	1
	35. 身近な場での働きやすさ	1	2	3	4	5	6	1
協働・行政・議会	36. 市民同士の連携や市民と行政の協働*	1	2	3	4	5	6	1
	37. 行政改革への取り組み	1	2	3	4	5	6	1
	38. 適正で透明性の高い財政運営	1	2	3	4	5	6	1
	39. 市議員の窓口や電話等での対応	1	2	3	4	5	6	1
	40. 市全体として	1	2	3	4	5	6	1

※協働：市民・行政・事業者などが、お互いの立場を理解し、尊重し合いながら、対等な関係で、共通の目的を持って、まちづくりを進めること。

問 11 あなたはこの1年で、地域のまちづくり活動*にどの程度参加されましたか。(○は1つ)

1. 週に2～3回以上	2. 週に1回程度
3. 月に1回程度	4. 年に数回程度
5. 年に1回程度	6. ほとんどない

※地域のまちづくり活動：自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをさしています。

問 12 あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	① 現在の満足度				② 今後の重要度			
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	非常に重要	やや重要	あまり重要でない
1. 地域のまちづくり活動が充実していると感じている	1	2	3	4	5	6	1	2
2. 河内長野市に住み続けたいと感じている	1	2	3	4	5	6	1	2
3. 河内長野市に愛着と誇りを感じている	1	2	3	4	5	6	1	2

Ⅲ. 子育てしやすいまちづくりについておたすねします。

問 13 あなたは、現在、「子育て」に関心がありますか。(○は1つ)

1. 関心がある
2. やや関心がある
3. あまり関心がない
4. まったく関心はない
5. わからない、どちらともいえない

問 14 あなたは、「学校教育」に関心がありますか。(○は1つ)

1. 関心がある
2. やや関心がある
3. あまり関心がない
4. まったく関心はない
5. わからない、どちらともいえない

問 15 あなたは、「家庭教育(しつけや生活習慣)」に関心がありますか。(○は1つ)

1. 関心がある
2. やや関心がある
3. あまり関心がない
4. まったく関心はない
5. わからない、どちらともいえない

問 16 「子育て」に関する次のような問題や課題で、あなたが関心がある、気になっているものはどれですか。(○はいくつでも)

1. 子どもの貧困…経済的な問題だけでなく、様々な要因により「人とのつながり」「教育や体験の機会」など、一人だけ他の子どもと違う状況に置かれていることなどのこと
2. 児童虐待…子どもに対する心理的または身体的虐待や性的虐待、育児放棄などのこと
3. 養育能力の低下…子どもが健全に育つために必要な関わりができないこと
4. 核家族化…夫婦と未婚の子どもから成る世帯のことで、夫婦のみ世帯や一人暮らしも含まれ、子育てなどをサポートする人が少ないこと
5. 子育て情報の氾濫…育児や子育てなどに関する、正しい情報や誤った情報があふれており、必要な情報を得るのに苦労すること
6. 待機児童対策…子育て世帯が希望し申請しているものの、認可保育所に入所できず、やむなく無認可保育園などに通わせている状態
7. 不登校・いじめ問題…学校などで体罰(身体的暴力)やいじめ(精神的な暴力)などが原因で、子どもが不登校や自殺などにいたること

問 17 あなたは、地域で子育て世帯を支えることが重要だと思いますか。(○は1つ)

1. とても重要だと思う
2. やや重要だと思う
3. あまり重要だと思わない
4. まったく重要ではないと思う
5. わからない

問 18 あなたは、地域が子育て世帯を支えるために何が重要だと思いますか。また、あなたが参加・協力できる活動はどれですか。(○はいくつでも)

参加できる活動	重要だと思うこと
1. 防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること	1
2. 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること	1
3. 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの場があること	1
4. 子どもと大人が一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること	1
5. 子育てに関する情報提供をする人や場があること	1
6. 子どもと一緒に遊ぶ人や場があること	1
7. 不慮の外出や親の滞りが続くなど時に子どもを預かる人や場があること	1
8. 地域の伝統文化を子どもにも伝える人や場があること	1
9. 子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること	1
10. 子どもに自然体験などを教える人や場があること	1
11. 小中学校(または、幼稚園等)の校外学習や行事をサポートする人がいること	1
12. 子育て家庭の家事を支援する人や場があること	1
13. 子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること	1
14. 子どもに勉強や補習などを行う人や場があること	1
15. わからない、思いつかない	1
16. 特になし	1

問 19 問 18 で最も重要だと思うことは何ですか。問 18 の番号を 1 つだけご記入ください。

最も重要だと思うこと(……) ← 問 18 の 1. ～16. の番号

問 20 あなたは、駅やスーパーなどで子ども連れの家族に対して、次のようなことをしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. エレベーターなどのドアを開けて押さえたことがある
2. 電車やバスなどで子ども連れの席を譲ったことがある
3. 子どもが寝たお母ちゃんや靴などを拾ったことがある
4. 階段などでベビーカーや荷物を代わり(一瞬)に持ってあげたことがある
5. 子どもやその保護者にはげましの笑顔を向けたことがある
6. 道などで困っている家族に話しかけたことがある
7. 泣いたり、ぐずっている子どもをあやしたことがある
8. その他(具体的に: ……………)
9. 特になし
10. わからない

問 21 あなたは、河内長野駅前 ノパティながの北館5階にある「子ども・子育て総合センター あいっく」で次のような事業を行っていることをご存じですか。また、利用したことはありますか。(○はいくつでも)

	知っている	利用したことがある
1. わくわく広場……赤ちゃんから就学前児童と保護者が自由に遊び、子育ての相談ができる場	1	2
2. 育児講座……おもちゃやづくり、プラレール大好き子あつまれ など	1	2
3. 子育て世帯交流会……同居や双子、実家が遠い、育児休業中などテーマ別やベビータイムなど子どもの年齢別の子育て世帯の交流	1	2
4. 子育てサークル支援……サークル交流会の開催、運営の相談など	1	2
5. 育児相談……電話や来所による相談と、家庭訪問	1	2
6. 地域事業の開催と紹介……公園での「おでかけわくわく広場」、地域の自治会館での「ともだちあつまれ」など	1	2
7. 子育てサロン運営支援……地域のサロン運営などに関する相談や案内	1	2
8. こんには赤ちゃん訪問……4か月未満の子ともと母親を訪問	1	2
9. 『あいっくボランティア』の登録……「物づくり」「保育補助」「講座講師」など「お楽しみタイム」の4つのボランティアを登録	1	2
10. いのちのちがくむ交流授業……赤ちゃんや小学生と小中学生とのふれあい授業	1	2
11. 子育て利用支援事業『そだてこっこ』……妊娠中及び子育て中の保護者への子どもの子育てに関する相談や情報提供	1	2
12. 一時預かり事業『ベビースペース』……6か月から小学校入学までの子ども（1時間単位で最長4時間まで（1時間500円））の一時預かり	1	2
13. かわちながのファミリー・サポート・センター……子育ての援助を受けたい人（2か月から小学校6年生までの子）と、子育ての援助を行いたい人が会員になり、地域で助け合う相互援助活動	1	2
14. 子育て応援ボランティア講座……子どもを安全に預かるために必要な子育てに関する講習会の開催	1	2
15. 祖父母手帳作成ワークショップ……祖父母向け孫育てワークショップの開催	1	2
16. 幼児健全発達相談……0歳から小学校入学までの子どもの発達に関する相談	1	2
17. いち・に・のジャンプ！教室……1歳7か月健診後のフォロー教室	1	2
18. 園訪問相談支援……幼稚園・認定こども園・保育園への巡回相談	1	2
19. サポートブック『はーと』……発達支援を必要とする子どもの家族や本人による育ちの記録、支援の内容や保護者の思い、支援者の思いをつなぐためのファイル	1	2
20. ペアレントトレーニング……子どもの行動を理解し、行動療法に基づいた効果的な対応を学び、より良い親子関係と子どもの適応行動を増やすための学習	1	2
21. 家庭児童相談事業……0歳から18歳までの子どもや家庭に関する問題や悩みなどの相談	1	2
22. 子ども交流ホール管理運営事業……子どもや親子向けの講座やイベントの開催、大人のみの講座での利用も可（有料）	1	2
23. 子育て情報サイト『キラキラねっと』『キラキラめーる』の配信	1	2
24. LINE@による情報発信	1	2
25. 子育て家庭優待制度『あいっくーぽん』……協賛店舗の集約	1	2
26. 『防災サバイバル手帳』の配布……子どもが住んでいる家庭のための防災ハンドブック	1	2

育児支援

相談・発達支援

貸室

情報発信

問 22 あなたは、河内長野市で子育て支援の取り組みを充実していくことが必要だと思いますか。(○はいくつ)

1. 大いに必要だと思う
2. 必要だと思う
3. あまり必要だと思わない
4. 必要ではないと思う
5. わからない

問 23 あなたは、河内長野市に若い世代の人や子育て世帯を増加させるために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 子育て補助金や市税の減免など、経済的な負担を軽減すること
2. 保育所入所や育児・子育て相談など、子育て支援制度を充実すること
3. 防犯や防災対策など、安心・安全な環境を充実すること
4. 救急病院や診療所など、医療機関を充実すること
5. 保育所や幼稚園、認定こども園など、保育・幼児教育施設を充実すること
6. 放課後や長期休み中の子ども居場所づくり、子どもクラブを充実すること
7. 施設やカリキュラムなど、学校教育を充実すること
8. 公園や緑地、山林など自然環境を整備・充実すること
9. 家賃の一部負担や住宅あっせんなど、住宅取得を援助すること
10. 見守りや世代間交流など、地域コミュニティが子育て支援すること
11. 子育てや生活、教育などに関する、様々な情報発信ツールを充実すること
12. その他（具体的に：.....）
13. わからない、思いつかない

問 24 最後に、「河内長野市が子育てしやすいまち」となるためには、あなたは、どのようなことが必要だと思いますか。率直なご意見をご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

◆ お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございます。◆
同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに名前も書かずに8月27日（月）までに郵便ポストへ投函してください。

平成 30 年度
第 45 回 河内長野市民意識調査
＜子育てしやすいまちづくり＞について

発行 河内長野市
発行年月 平成 31 年 2 月